

# 科学技術に関する国民意識調査 ーSDGs についてー

2022 年 7 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

細坪護拳 加納圭 須藤憲司

本 DISCUSSION PAPER は、所内での討論に用いるとともに、関係の方々からの御意見を頂くことを目的に作成したものである。

また、本 DISCUSSION PAPER の内容は、執筆者の見解に基づいてまとめられたものであり、必ずしも機関の公式の見解を示すものではないことに留意されたい。

The DISCUSSION PAPER series are published for discussion within the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) as well as receiving comments from the community.

It should be noticed that the opinions in this DISCUSSION PAPER are the sole responsibility of the author(s) and do not necessarily reflect the official views of NISTEP.

#### 【調査研究体制】

細坪護挙	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官
加納 圭	科学技術・学術政策研究所 客員研究官 滋賀大学教育学部教授
須藤憲司	科学技術・学術政策研究所 総務研究官 併 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 総括上席研究官

#### 【Contributors】

HOSOTSUBO Moritaka Senior Research Fellow,  
1st Policy-Oriented Research Group,  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

KANO Kei Affiliated Fellow, NISTEP, MEXT.  
Professor, Department of Education, Shiga University.

SUDO Kenji Deputy Director, NISTEP, MEXT.  
Concurrent post, Director, 1st Policy-Oriented Research Group,  
NISTEP, MEXT.

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。  
Please specify reference as the following example when citing this paper.

細坪護挙, 加納圭, 須藤憲司, 「科学技術に関する国民意識調査－SDGs について－」, *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.211, 文部科学省科学技術・学術政策研究所.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp211>

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and SUDO Kenji, “Public Attitudes to Science and Technology – About SDGs –” *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.211, National Institute of Science and Technology Policy, Tokyo.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp211>

## 科学技術に関する国民意識調査－SDGs について－

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

細坪護孝 加納圭 須藤憲司

### 要旨

SDGs への認知について伺ったところ、性別では男性(内容を(ある程度)知っている 58%)の方が女性(内容を(ある程度)知っている 54%)よりも高い一方、年代別では若い世代(24 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で高いことが判明した。

SDGs をどんな場面で聞いたことがあるか訊いたところ、性別では男性はインターネットや新聞などが高く、女性はテレビや家族や友人、知人、職場の人で多くなっている。

「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、科学技術・イノベーションの貢献が重要であると思うSDGsの課題はどれですかについて訊いたところ、「世界全体」では女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは貧困、食糧問題(ともに 73%)、次いで気候変動・地球温暖化、平和(ともに 70%)などである。

## Public Attitudes to Science and Technology - About SDGs -

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and SUDO Kenji

1st Policy-Oriented Research Group, National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

### ABSTRACT

When we asked about awareness of the SDGs, males (58% who know the content (to some extent)) were higher than females (54% who know the content (to some extent)) by gender. It turned out to be high in younger generation (24 years old and under) and senior generation (60 years old and over).

When we asked where they had heard of the SDGs, males were more likely to be on the Internet and newspapers, and females were more likely to be on TV, family, friends, acquaintances, and people at work.

When we asked about the issues of SDGs that the contribution of science and technology / innovation is important when considering the three scales of "the whole world", "in Japan", and "living close to us", in "the whole world", females outnumbered males in all items, and they were more conscious of the contribution of science and technology and innovation than males. Poverty, food problems (both 73%) particularly were high, followed by climate change / global warming and peace (both 70%).

## 目次

概要	i ~ x ix
1. はじめに	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間及び調査方法	1
(3) 調査時点	1
(4) 調査項目	1
3. 調査結果	
(1) SDGs に関する国民の意識 (SDGsに対する認知度、科学技術・イノベーションのSDGsへの 貢献の期待)に関する調査結果	1
(2) SDGs 以外の科学技術政策に関する意識	20
4. おわりに	41
5. 参考文献	41
質問票	43
インターネット調査質問票その1	45
インターネット調査質問票その2	73



# 概 要



## 【概要】

### (1)はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2022 年度調査(2022 年 6 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人にインターネットを使って調査したものである。

### (2)調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

#### 1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

#### 2)調査期間及び調査方法

2022 年 6 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=6,600 で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数(男性 3,300 名、女性 3,300 名)、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(11 の年齢層、1 年齢層当たり 600 名)とした。

#### 3)調査時点

2022 年 6 月 1 日から 6 月 8 日にかけて実施した。

#### 4)調査項目

今般の調査では特に SDGs に対する認知度、科学技術・イノベーションの SDGs への貢献の期待を把握することが目的である。

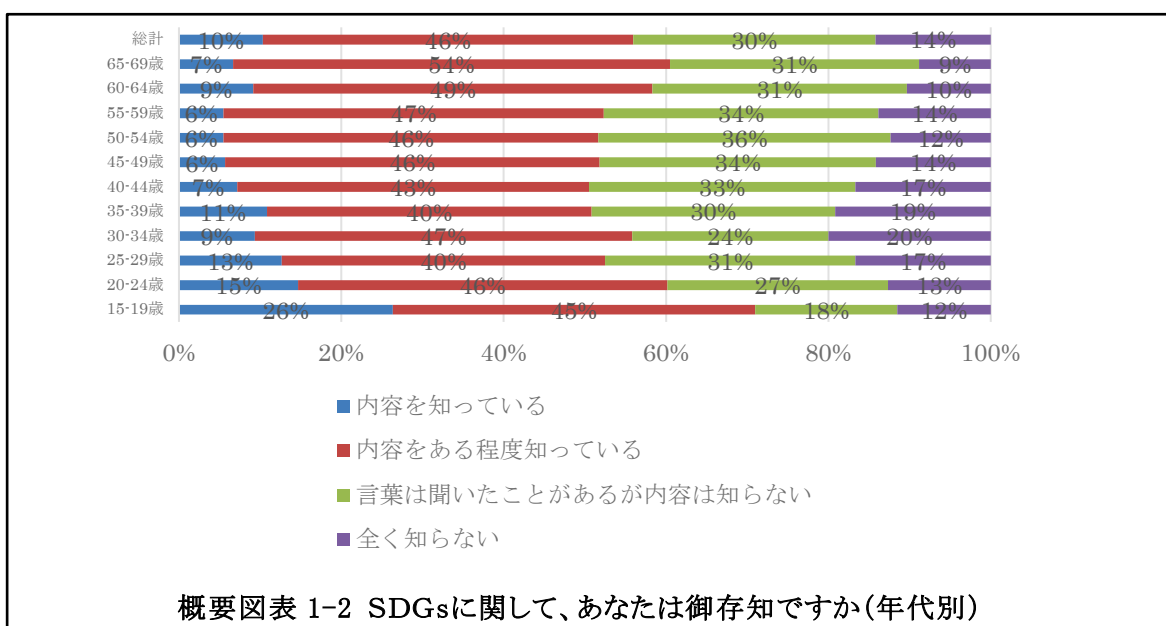
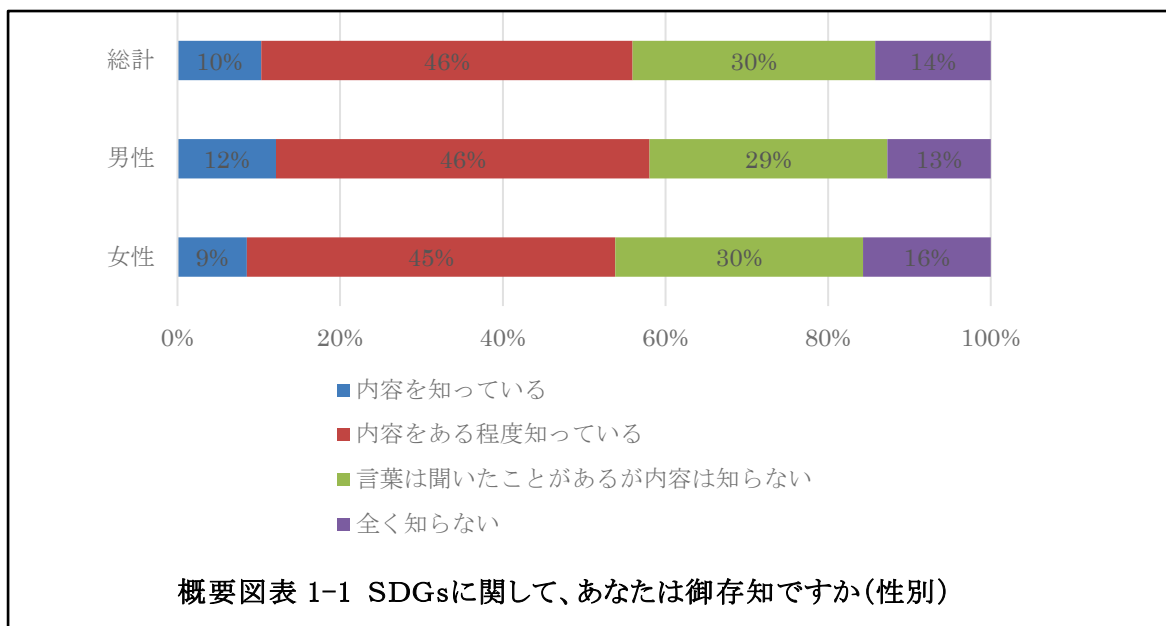
### (3)調査結果の概要

概要では、調査結果のうち、1)SDGs に関する国民の意識の主な結果について示すとともに、2)SDGs 以外の科学技術政策に関する意識についても紹介する。

## 1) SDGsに関する国民の意識

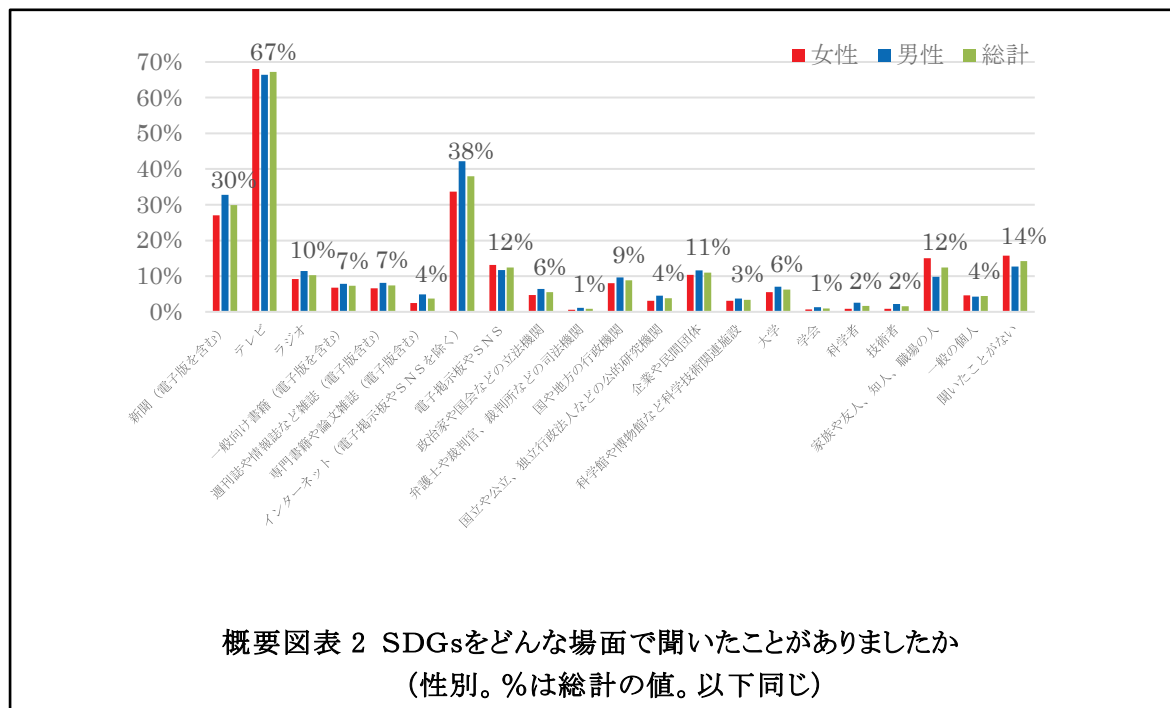
### ①SDGsに関する認知状況

SDGsへの認知について伺ったところ、「性別」(概要図表 1-1)では男性(内容を(ある程度)知っている 58%)の方が女性(内容を(ある程度)知っている 54%)よりも高い一方、「年代別」(概要図表 1-2)では若い世代(24 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で高いことが判明した。



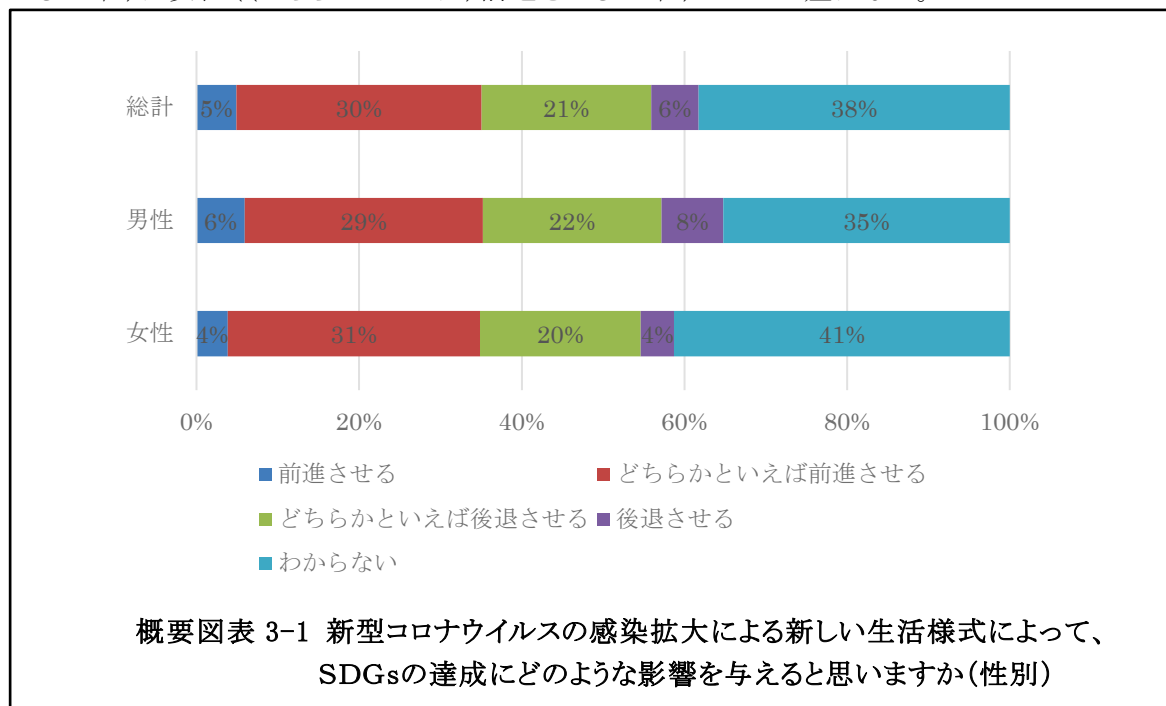
## ②SDGsの把握手段

SDGsをどんな場面で聞いたことがあるか訊いたところ、こちらも「性別」(概要図表 2)では男性はインターネットや新聞などが高く、女性はテレビや家族や友人、知人、職場の人で多くなっている。

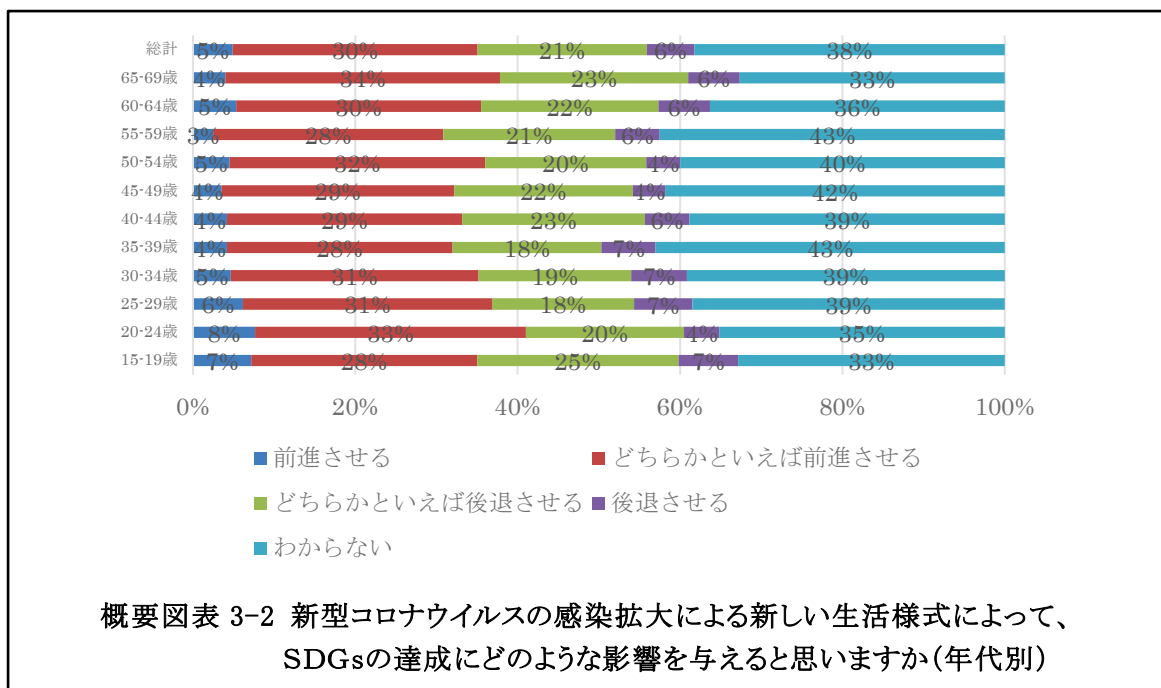


### ③新型コロナウイルス感染拡大がSDGsの達成に与える影響

新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式によって、SDGsの達成にどのような影響を与えると思うかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 3-1)では男性((どちらかといえば)前進させる 35%)は女性((どちらかといえば)前進させる 35%)と比べて差はない。

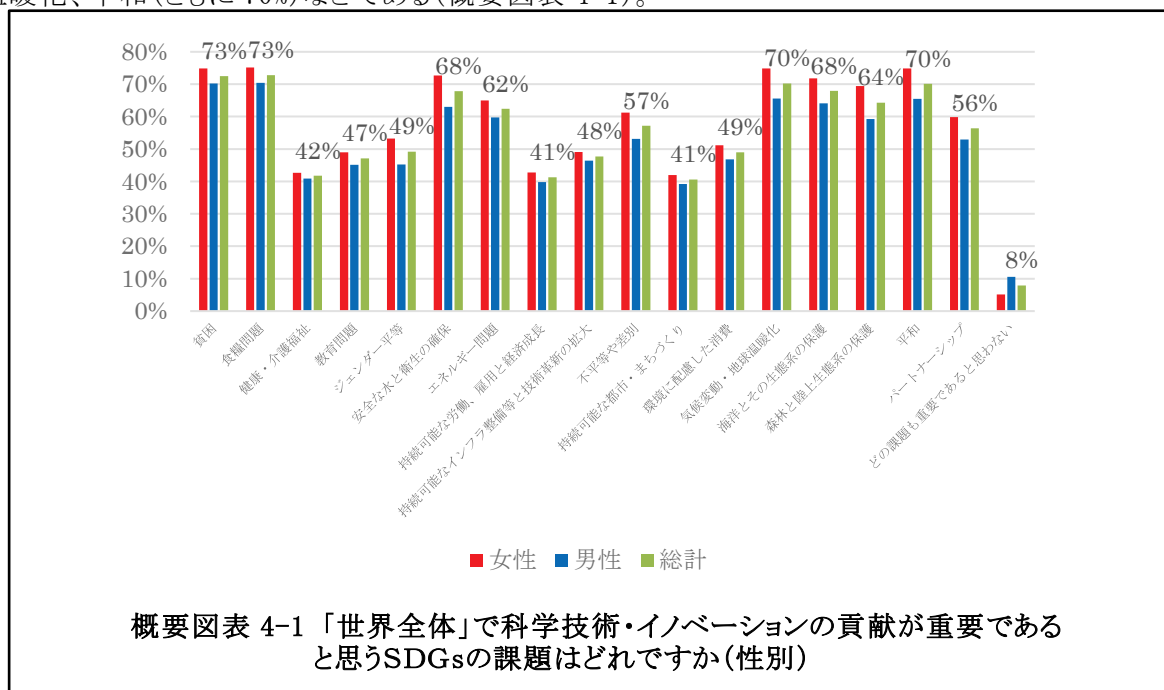


また、年代別に見ても(概要図表 3-2)特に構造に差は見られない。

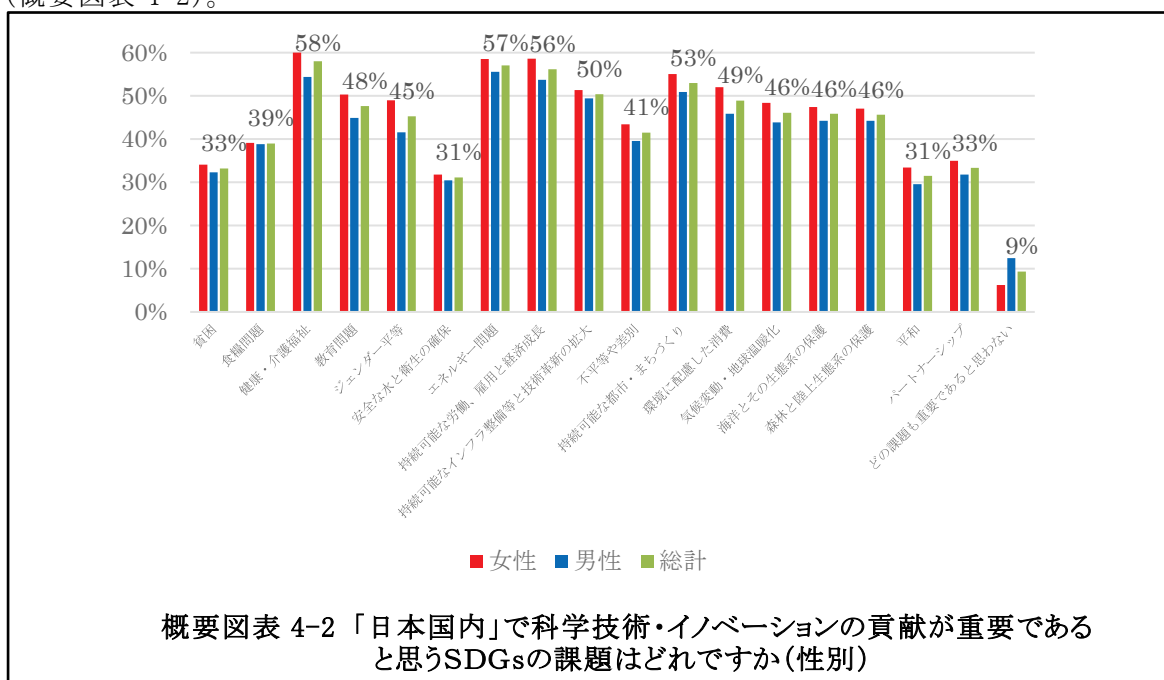


④「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールでの科学技術・イノベーションのSDGsへの貢献に関する意識

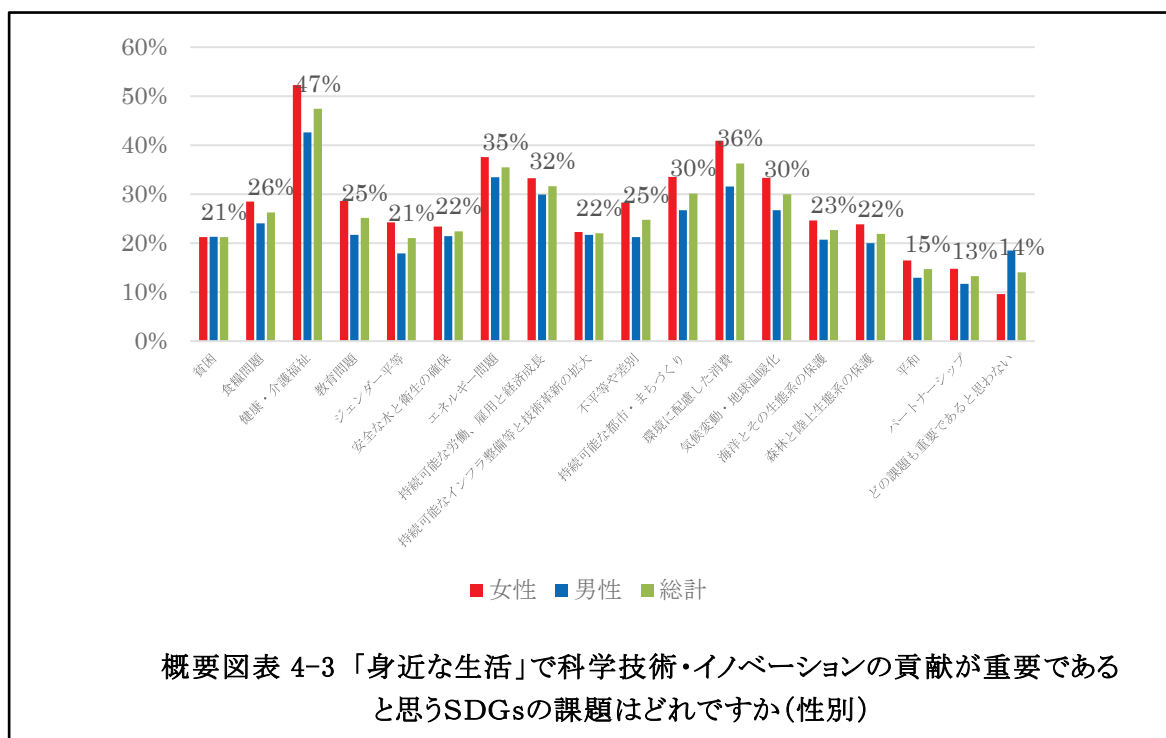
「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、「科学技術・イノベーションの貢献が重要であると思うSDGsの課題はどれですか」について訊いたところ、「性別」で見ると、「世界全体」では女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは貧困、食糧問題(ともに73%)、次いで気候変動・地球温暖化、平和(ともに70%)などである(概要図表 4-1)。



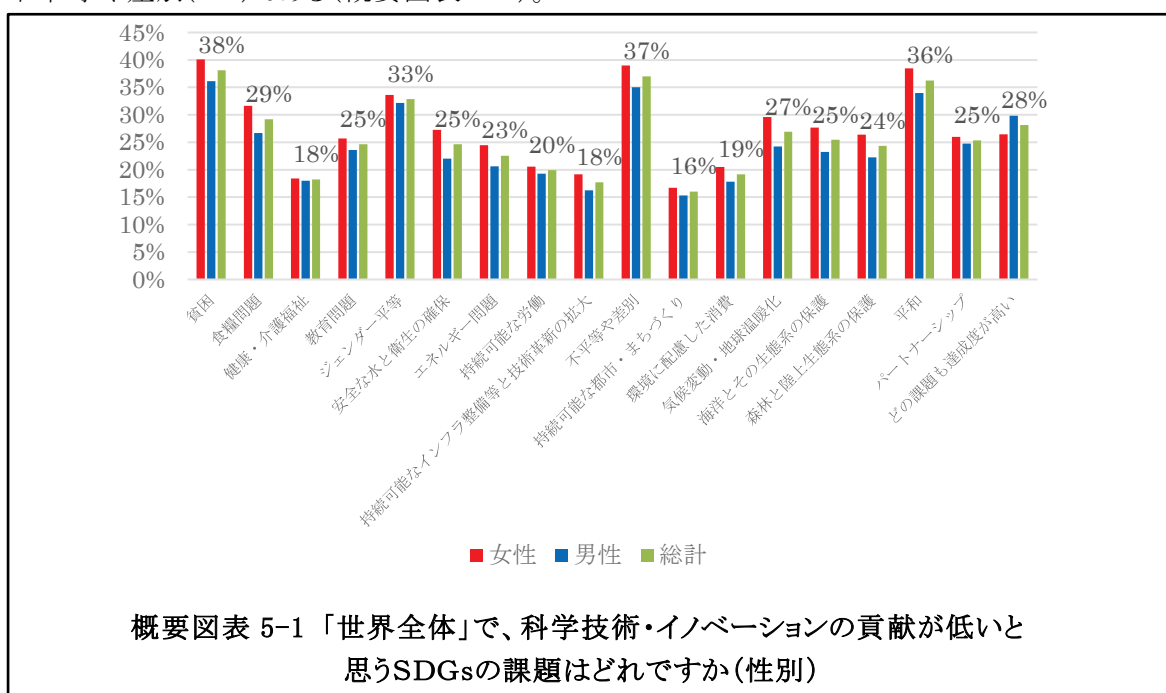
「日本国内」でも女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは健康・介護福祉(58%)、次いでエネルギー問題(57%)である(概要図表 4-2)。



「身近な生活」でも女性はある全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは健康・介護福祉(47%)、次いで環境に配慮した消費(36%)である(概要図表 4-3)。

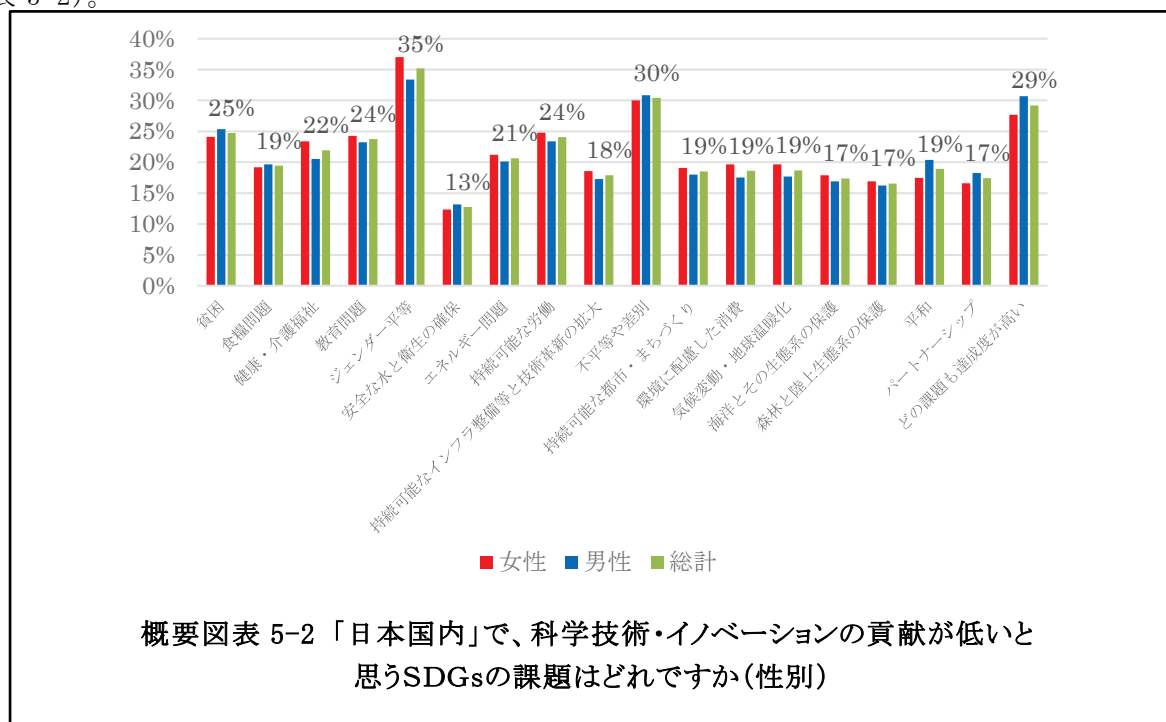


また、「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、「科学技術・イノベーションの貢献が低いと思うSDGsの課題はどれですか」について訊いたところ、「性別」で見ると、「世界全体」では女性はある全ての項目で男性を上回っている。特に高いのは貧困(38%)、次いで不平等や差別(37%)である(概要図表 5-1)。

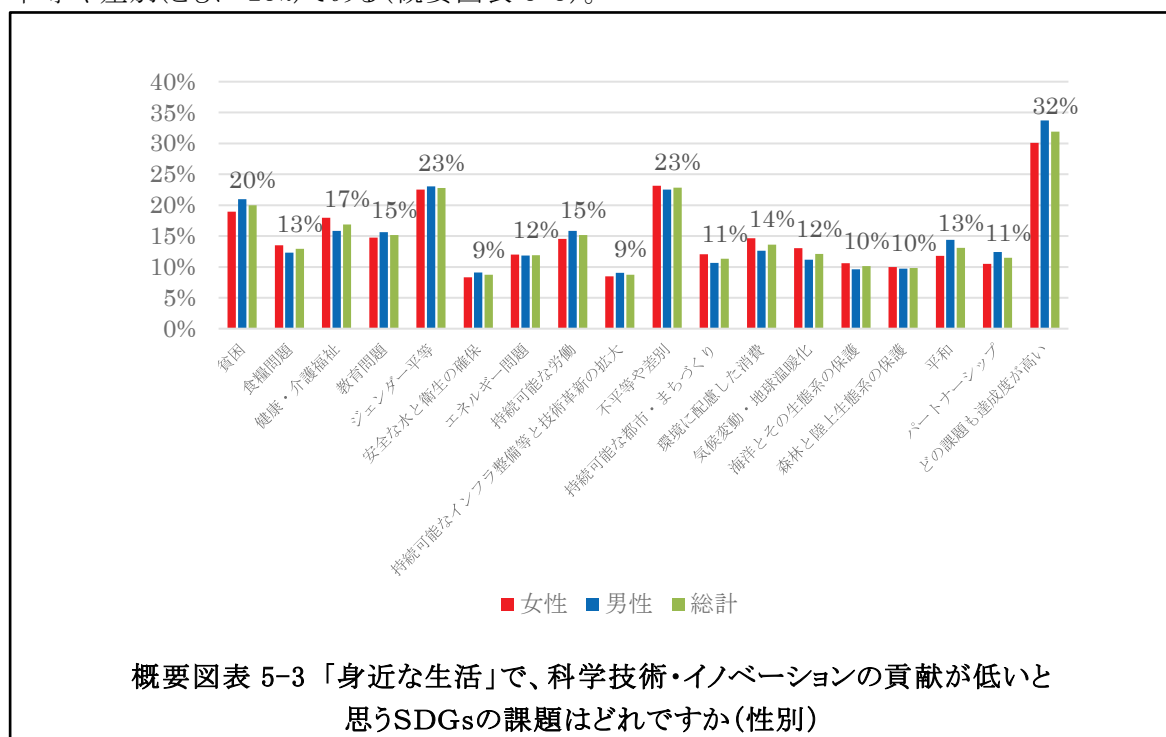




「日本国内」では特に高いのはジェンダー平等(35%)、次いで不平等や差別(30%)である(概要図表 5-2)。

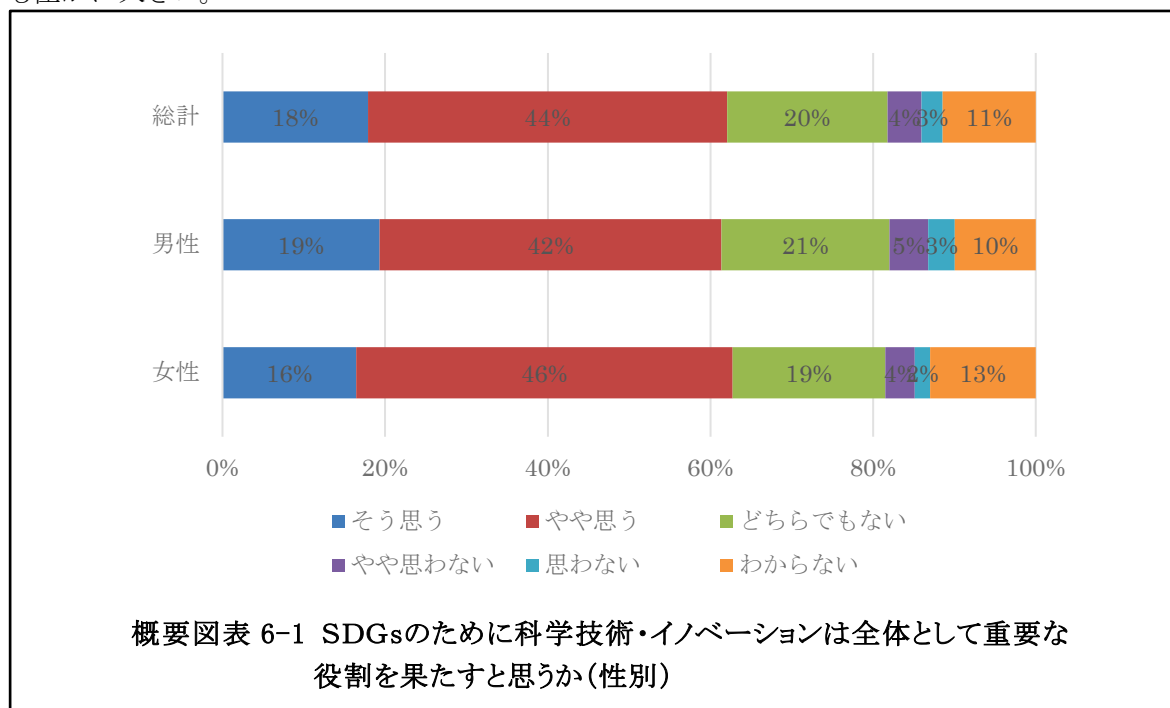


「身近な生活」では特に高いのはどの課題も達成度が高い(32%)、次いでジェンダー平等、不平等や差別(ともに 23%)である(概要図表 5-3)。

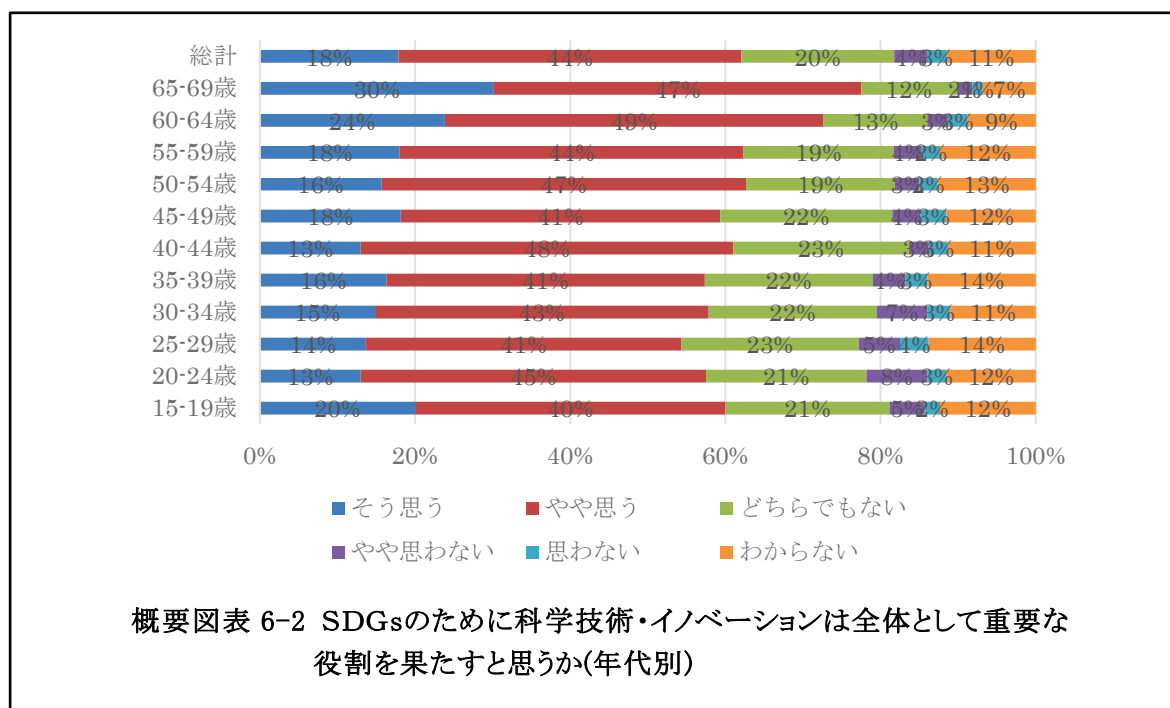


# ⑤SDGsにおける科学技術・イノベーションの役割に関する意識

「SDGsのために科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと思うか」について訊いたところ、性別では概要図表 6-1 となり、女性((やや)思う 62%)が男性((やや)思う 61%)よりも僅かに大きい。

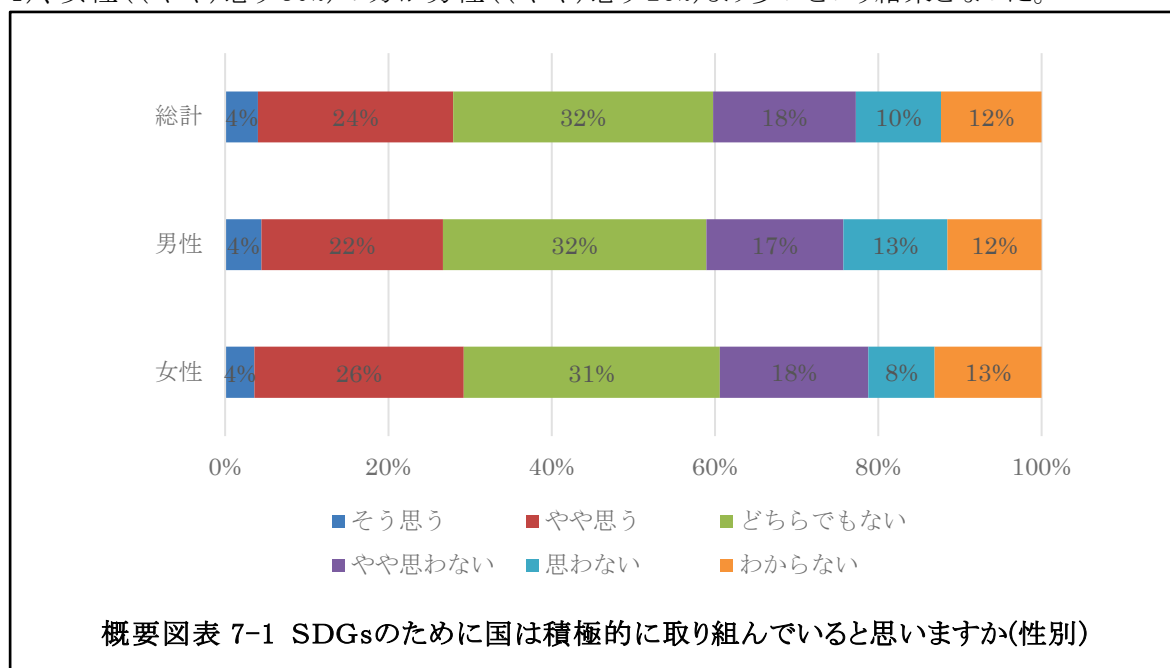


年代別で見る(概要図表 6-2)と 60 歳以上のシニア世代で科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと強く思われている。

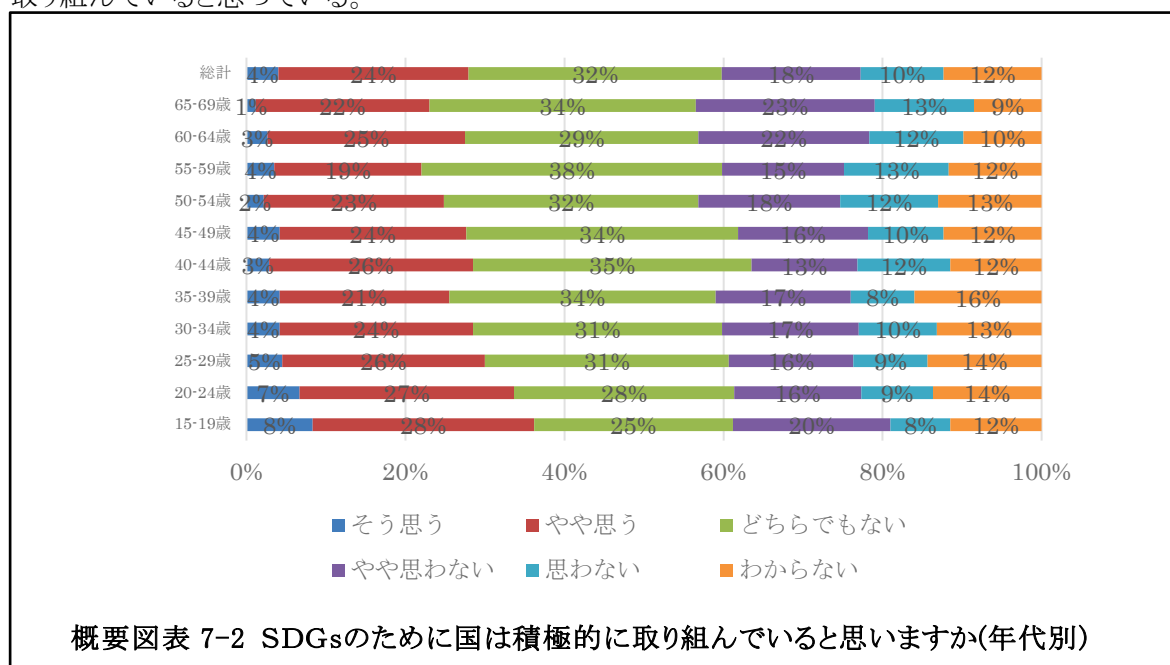


## ⑥SDGsへの国の取組に関する意識

加えて、「SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思うか」を聞いたところ(概要図表 7-1)、女性((やや)思う 30%)の方が男性((やや)思う 26%)より多いという結果となった。

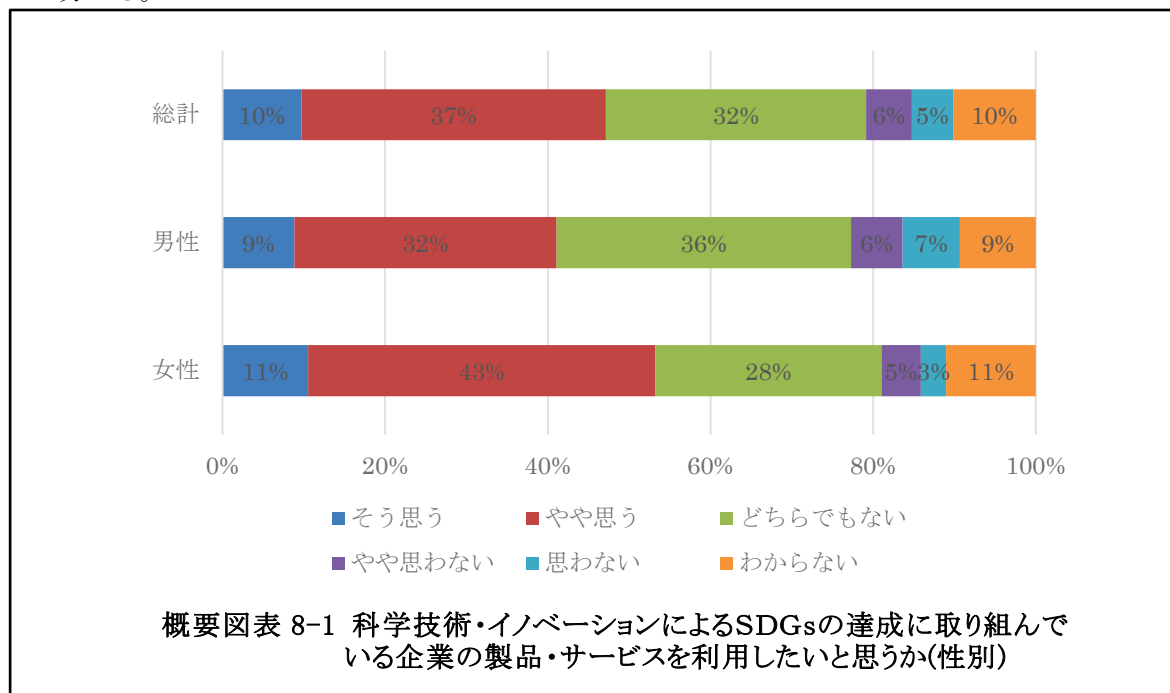


年代別に見ると概要図表 7-2 となり、24 歳以下の若い世代で、SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思っている。

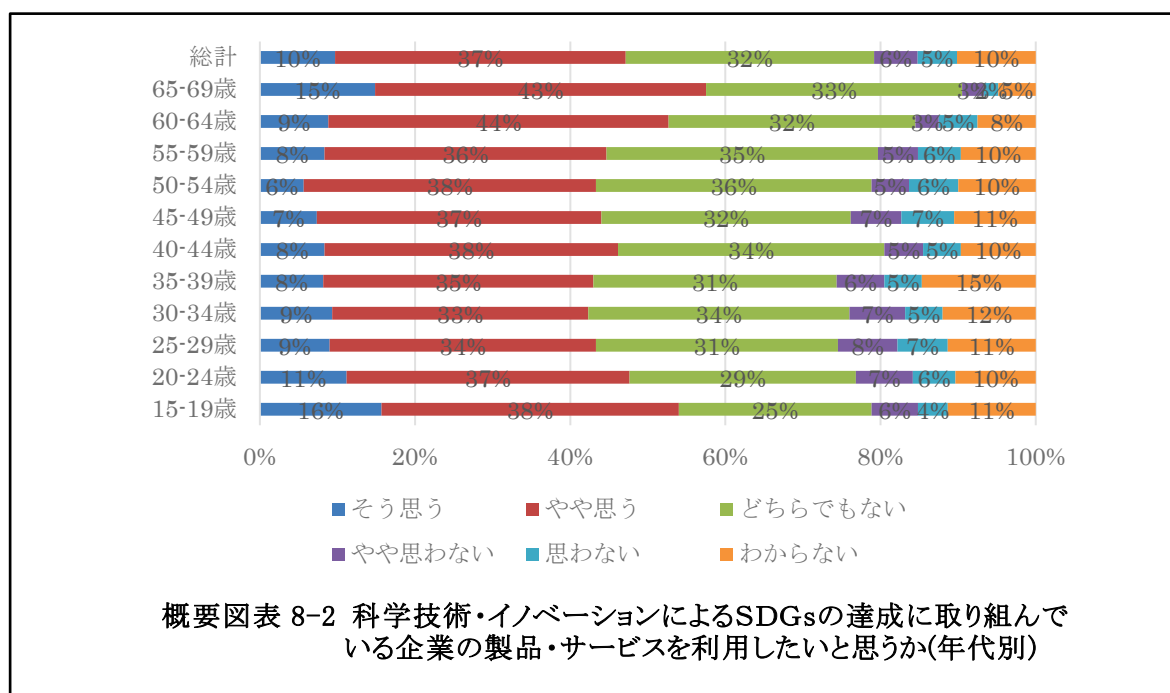


⑦科学技術・イノベーションによるSDGsの達成に取り組む企業の製品・サービスに対する意識

一方、「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成に取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思うかどうか」を聞いたところ、性別では概要図表 8-1 となり、女性((やや)思う 54%)は男性((やや)思う 41%)よりも遥かに高く、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

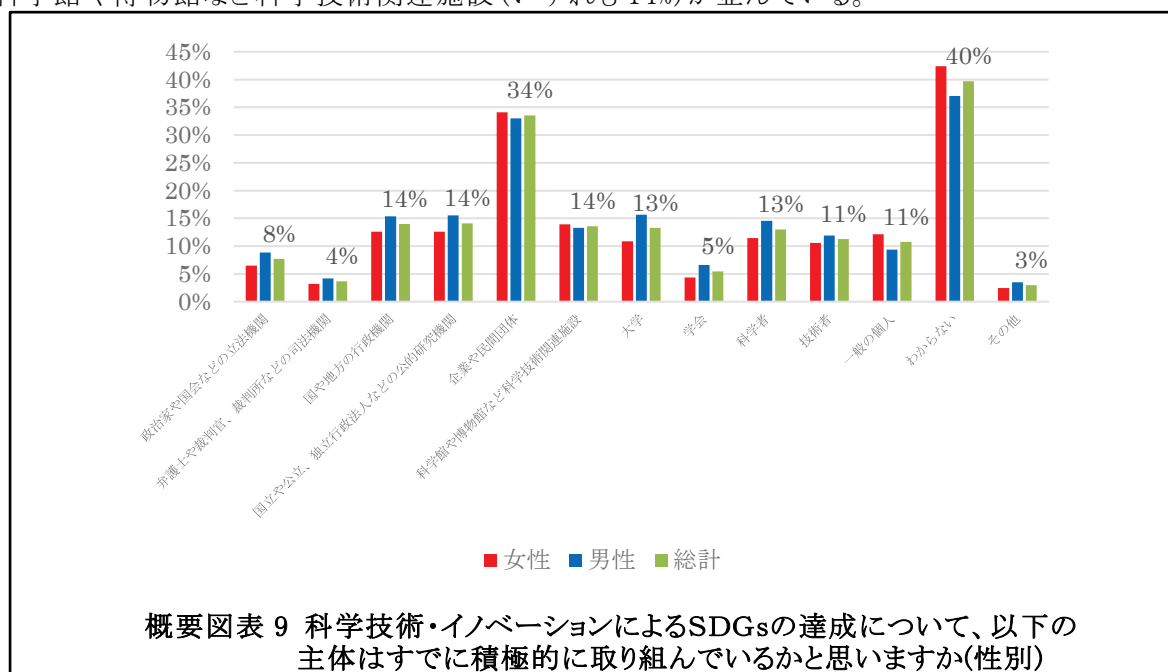


年代別に見ると概要図表 8-2 となり、24 歳以下の若年層、60 歳以上のシニア世代に加えて、40-44 歳の間層でも高くなっている。



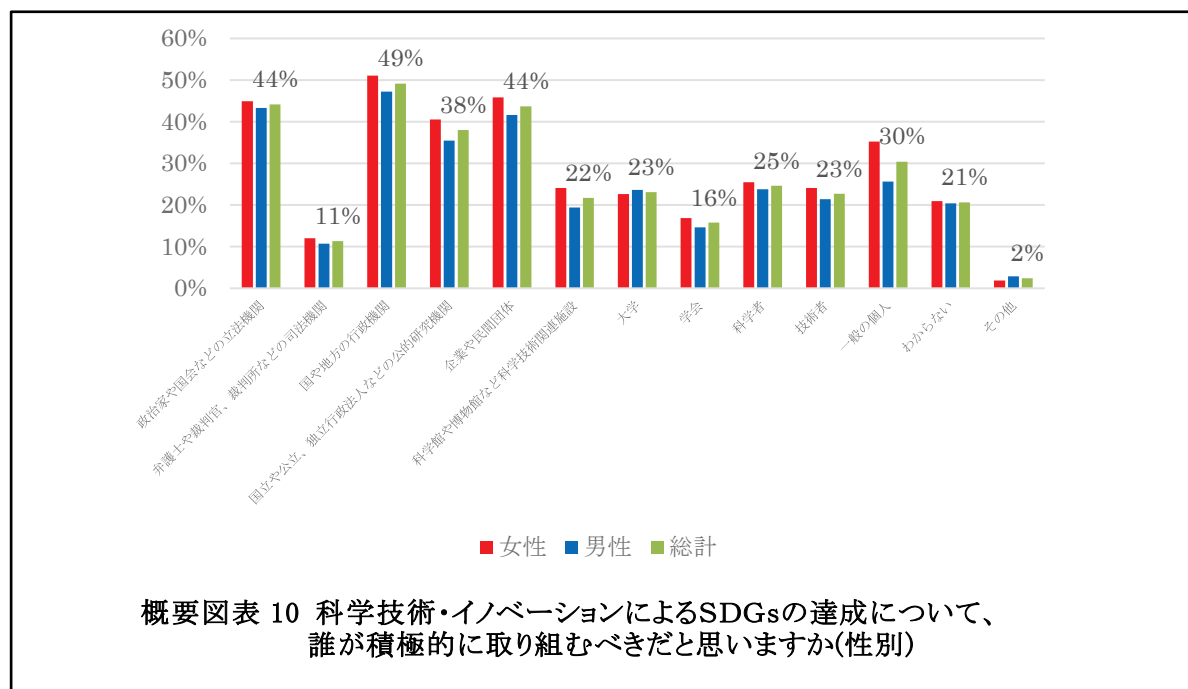
⑧主体別の科学技術・イノベーションによるSDGs達成への取組状況に対する意識

「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、以下の主体はすでに積極的に取り組んでいると思いますか」について訊いたところ、概要図表 9 となり、わからない(40%)が最多となってしまうが、次点で企業や民間団体(34%)となっており、企業等の活動が国民の眼に多く映っている。企業に次いで、国や地方の行政機関、国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関、科学館や博物館など科学技術関連施設(いずれも 14%)が並んでいる。



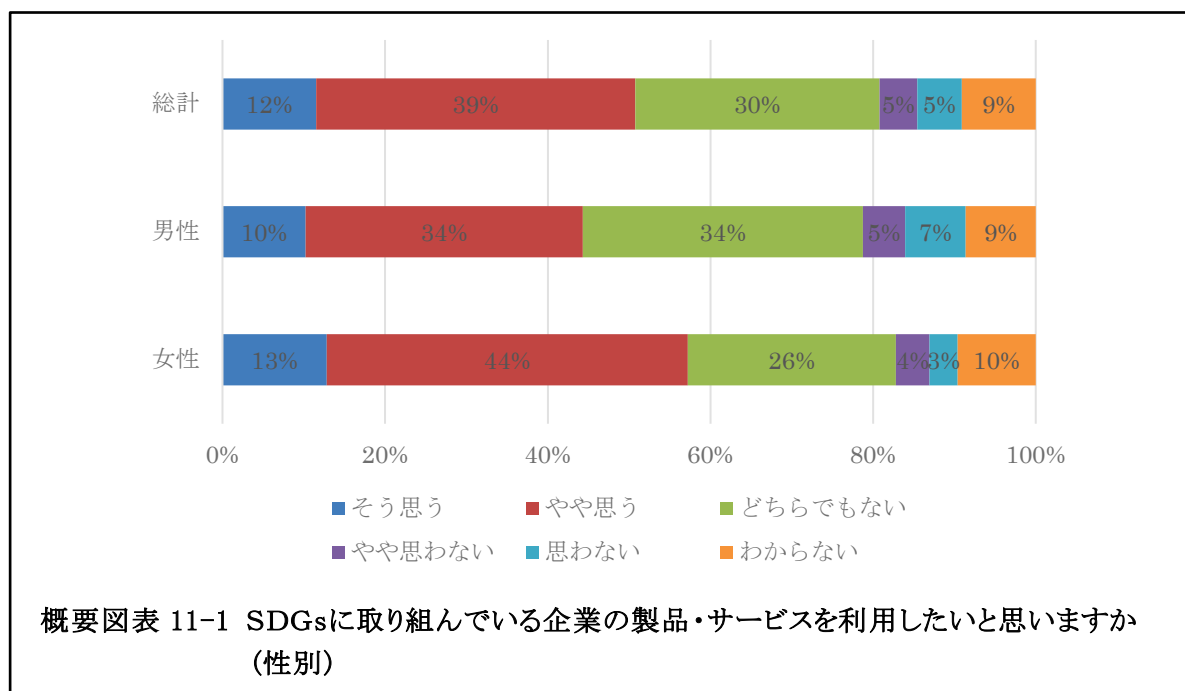
⑨科学技術・イノベーションによるSDGs達成に積極的に取り組むべき主体に対する意識

「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、誰が積極的に取り組むべきだと思いますか」について訊いたところ、性別では概要図表 10 となった。この結果、国や地方の行政機関が49%とトップとなり、次いで政治家や国会等の立法機関、企業や民間団体(ともに44%)などとなっている。

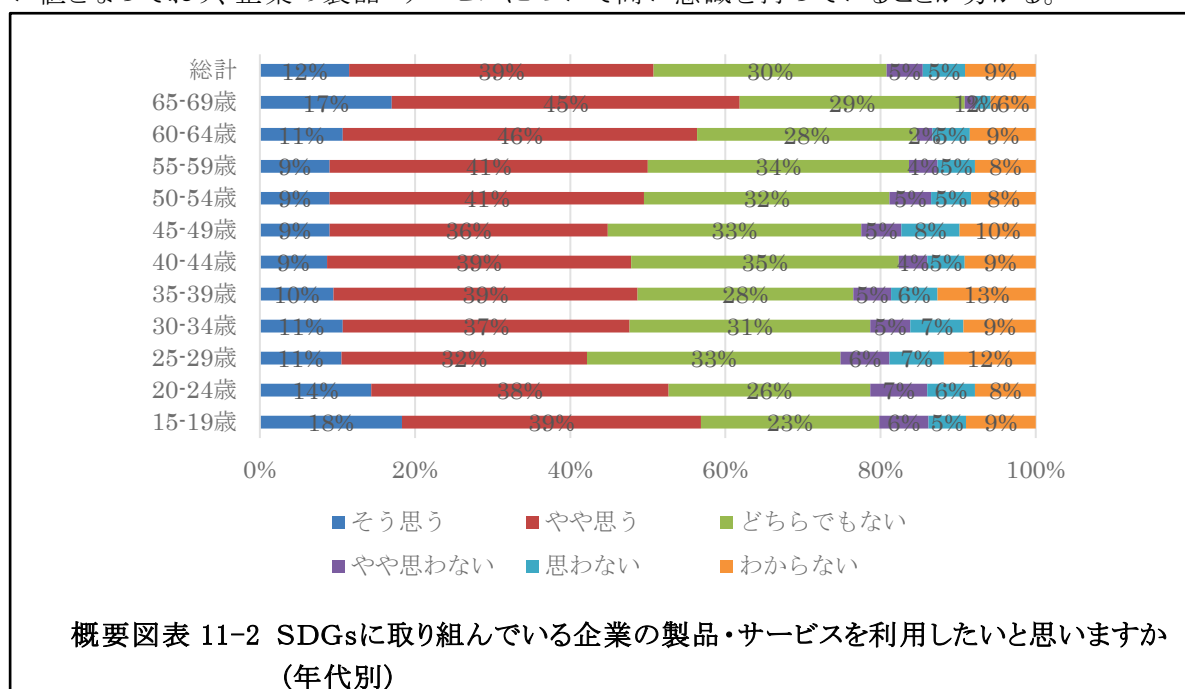


# ⑩SDGsに取り組む企業の製品・サービスに対する意識

「SDGsに取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか」を訊いたところ、性別では概要図表 11-1 となり、女性((やや)思う 57%)は男性((やや)思う 44%)よりも遥かに高く、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

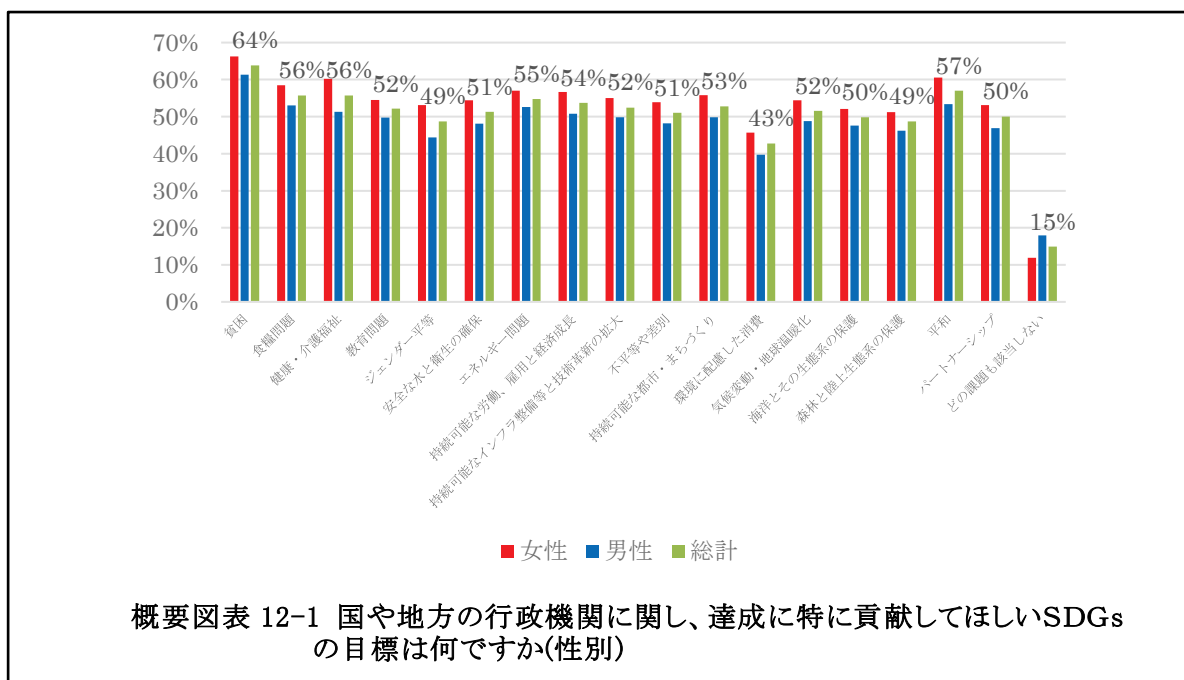


年代別に見ると概要図表 11-2 となり、24 歳以下の若年層、60 歳以上のシニア世代において高い値となっており、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

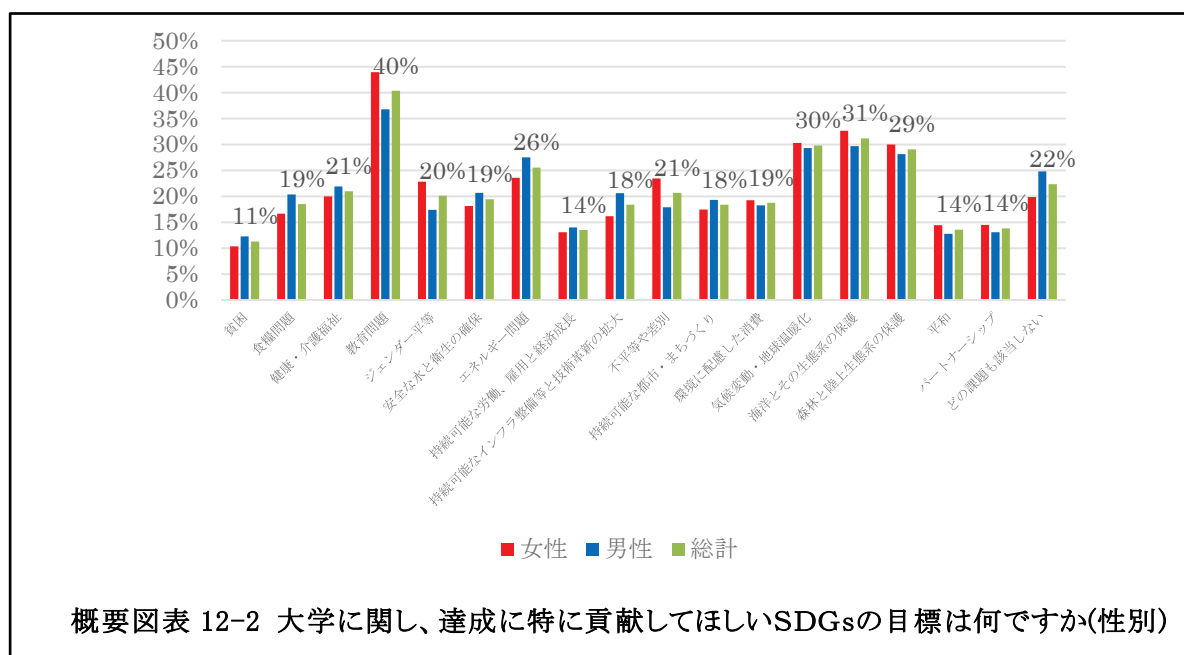


⑪各主体に関し、特に貢献してほしいSDGsの目標に対する意識

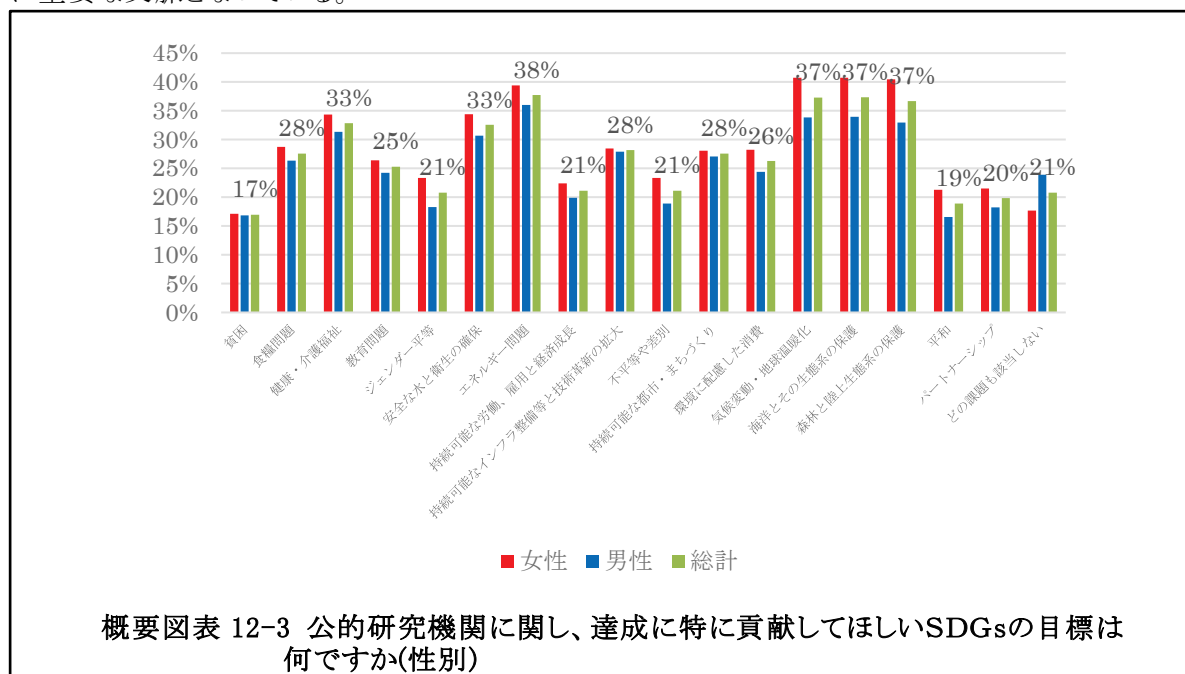
「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)」の4つの主体で考えたときに、「達成に特に貢献してほしいSDGsの目標は何ですか」について訊いたところ、国や地方の行政機関については概要図表 12-1 となり、貧困(64%)、次いで平和(57%)となっており、他の課題も多く上がっており、国や地方の行政機関への期待は大きく、全般的な支援が求められていると考えられる。



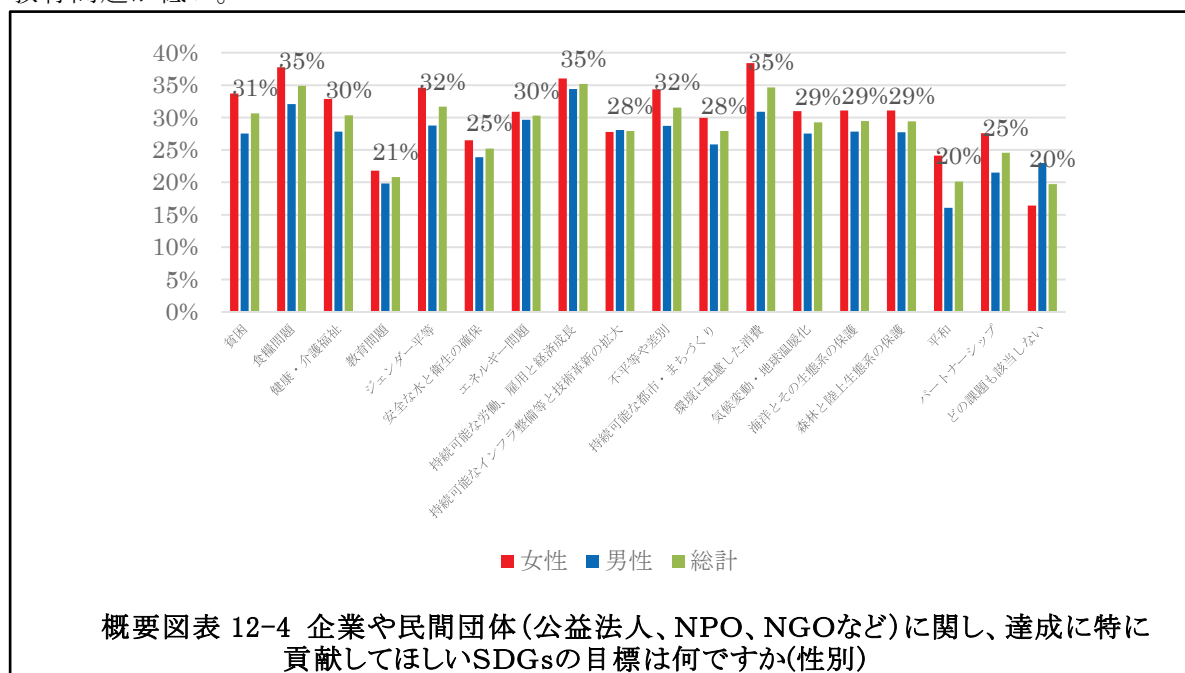
一方、大学については概要図表 12-2 となり、教育問題(40%)、次いで海洋とその生態系の保護(31%)などとなっている。中長期的な課題・視野についてSDGsの課題から出てきている。日本全体の研究者でSDGsの課題に取り組めそうである。



また、公的研究機関に関してはエネルギー問題(38%)に次いで、気候変動・地球温暖化、海洋とその生態系の保護、森林と陸上生態系の保護(ともに 37%)などとなっている。科学技術政策的に重要な文脈となっている。



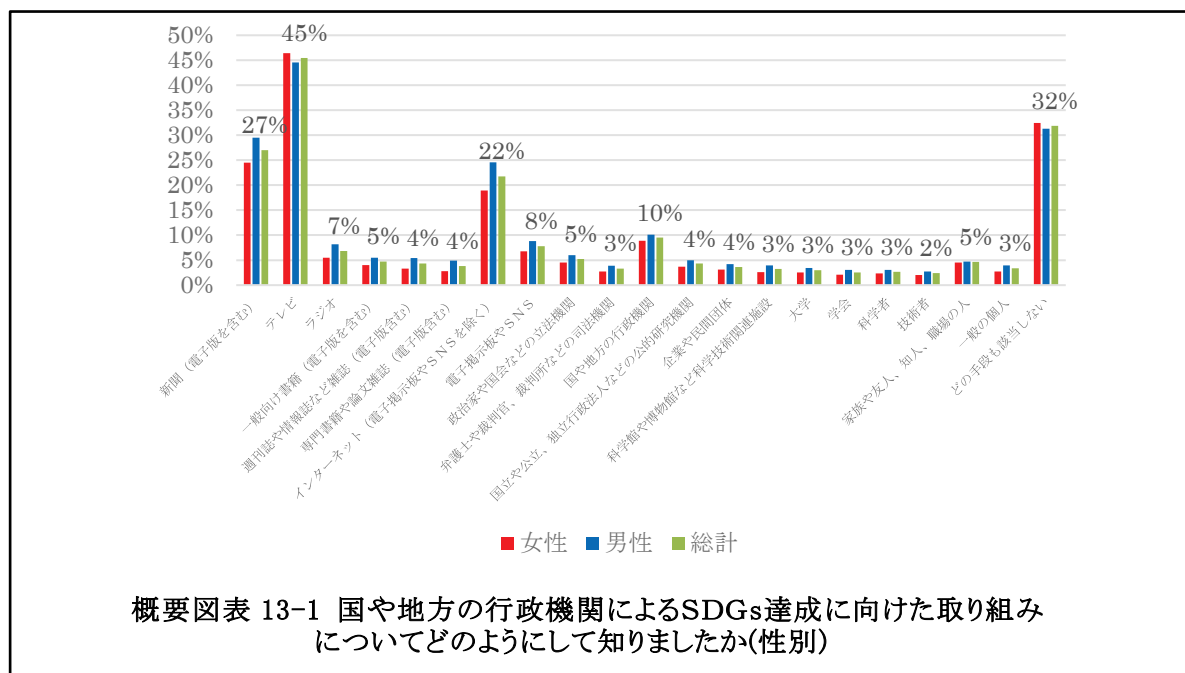
加えて、企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)に対しては、食糧問題、持続可能な労働、雇用と経済成長、環境に配慮した消費(ともに 35%)などとなっている。大学との対比において教育問題が低い。



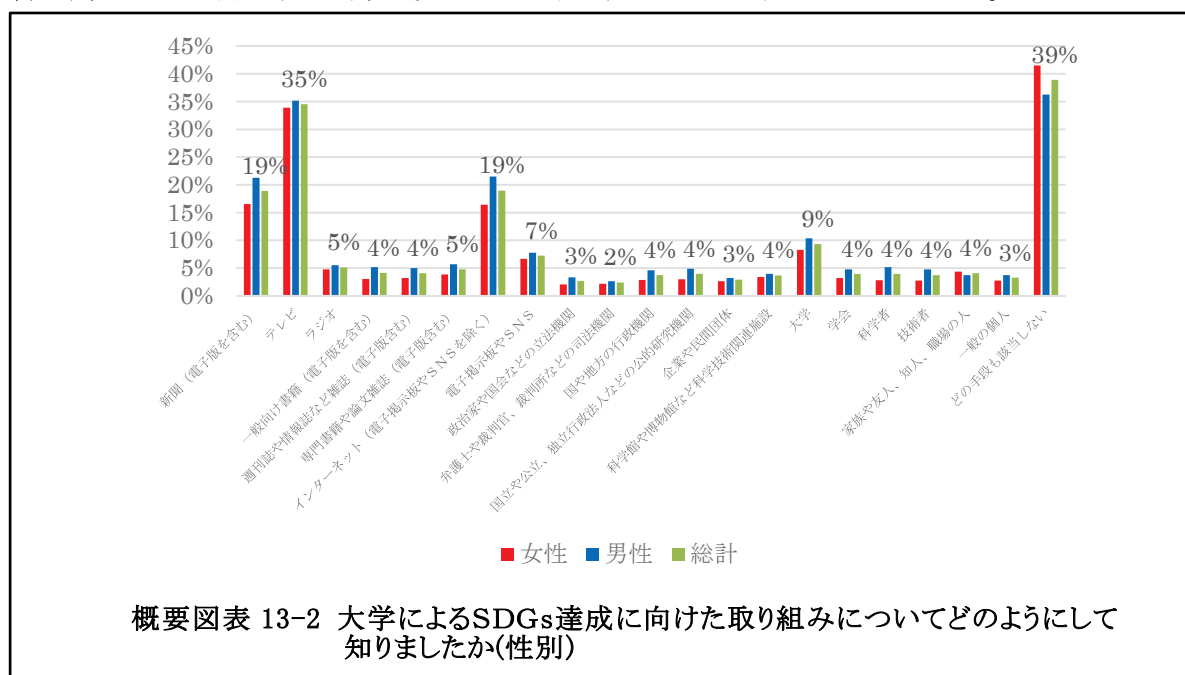


## ⑫各主体によるSDGs達成に向けた取組の把握手段

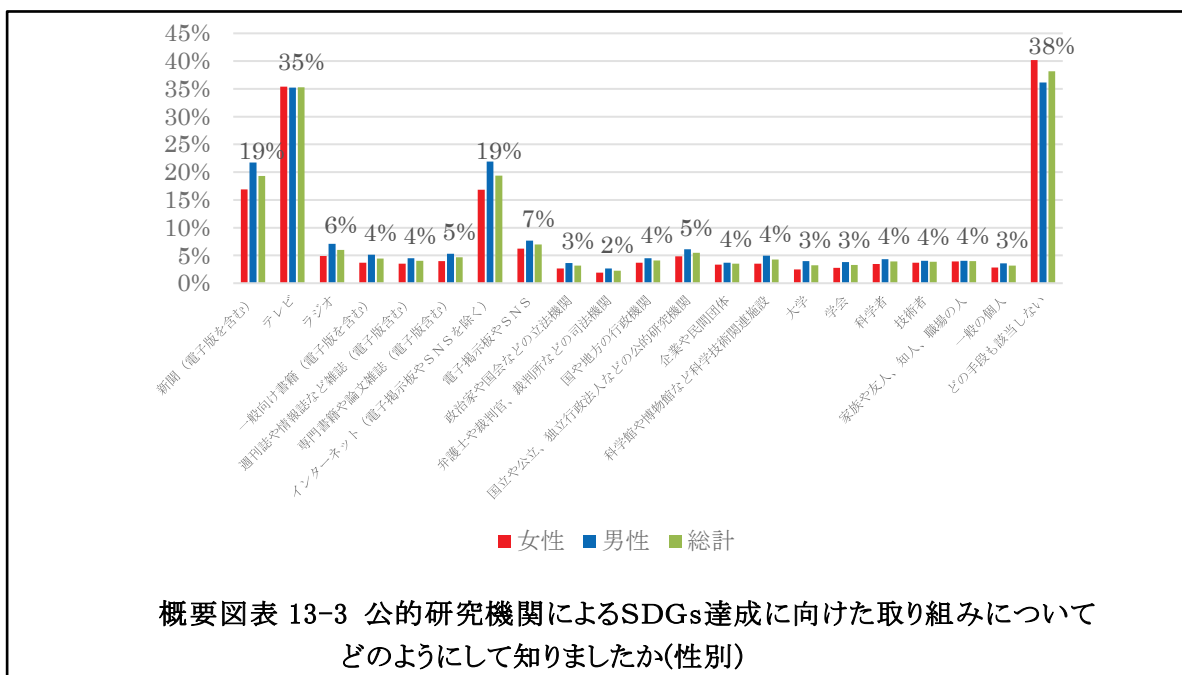
「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)」の4つの主体で考えたときに、それらによる「SDGs達成に向けた取り組みについてどのようにして知りましたか」について訊いたところ、国や地方の行政機関については概要図表 13-1 となりテレビが 45%となり圧倒的に高い一方、どの手段も該当しない(32%)がそれに次いで多くっており、次いで新聞(電子版を含む、27%)などとなっている。



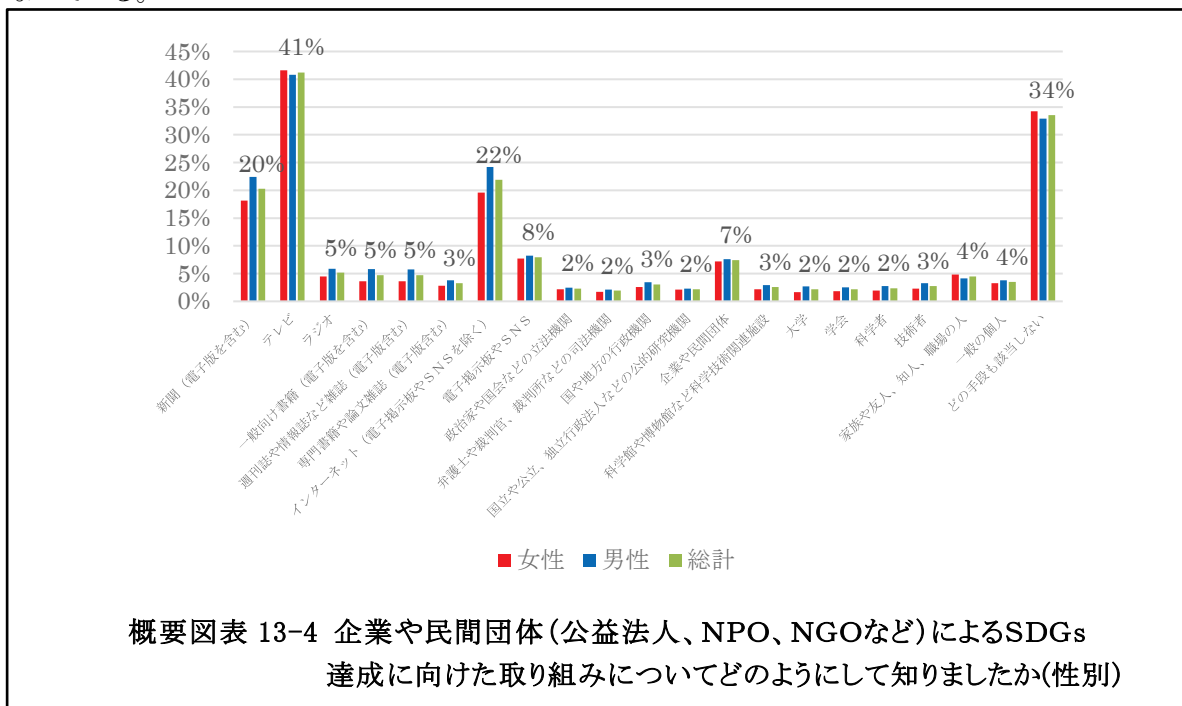
大学については、どの手段も該当しない(39%)と最も高く、次いでテレビが 35%、新聞(電子版を含む)、インターネット(電子掲示板や SNS を除く)でともに 19%などとなっている。



公的研究機関については、どの手段も該当しない(38%)と最も高く、次いでテレビが 35%、新聞(電子版を含む)、インターネット(電子掲示板や SNS を除く)でともに 19%などとなっている。



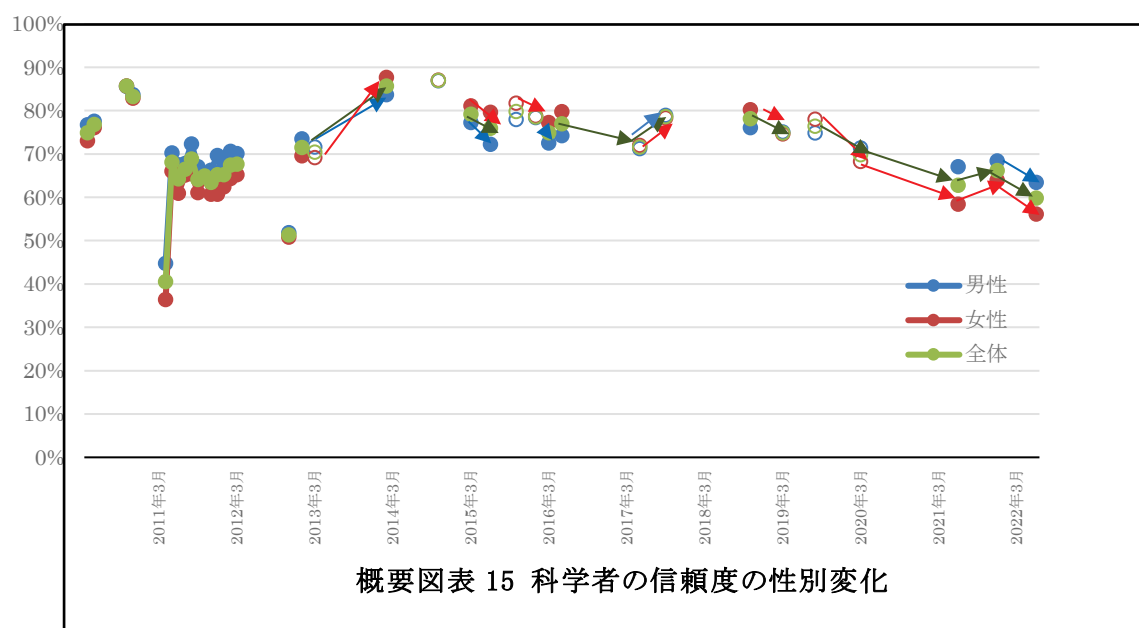
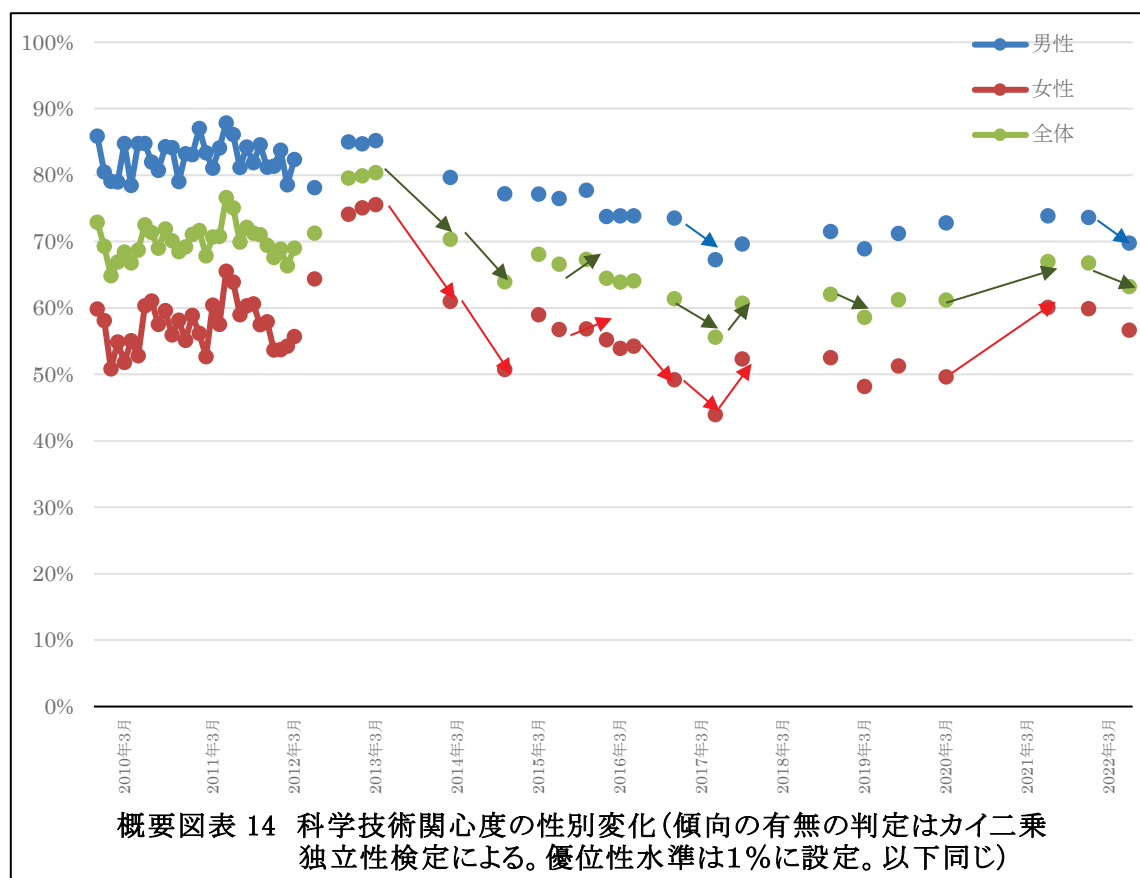
企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)によるSDGs達成に向けた取り組みについてはテレビが 41%と最多となっており、次いでインターネット(電子掲示板や SNS を除く)が 22%などとなっている。



## 2) SDGs以外の科学技術政策に関する国民の意識

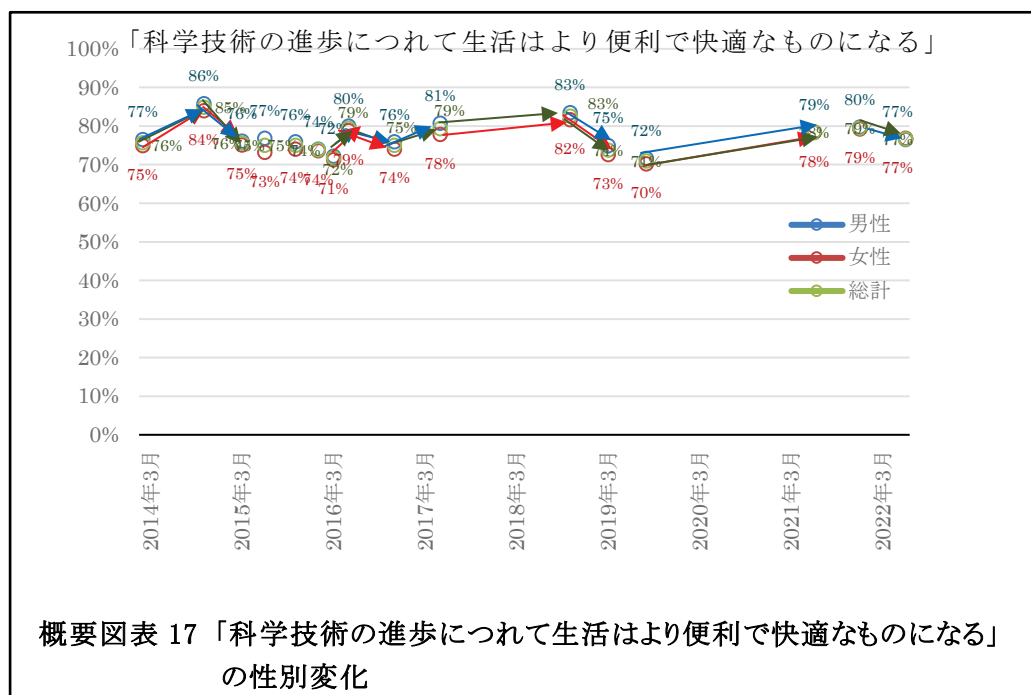
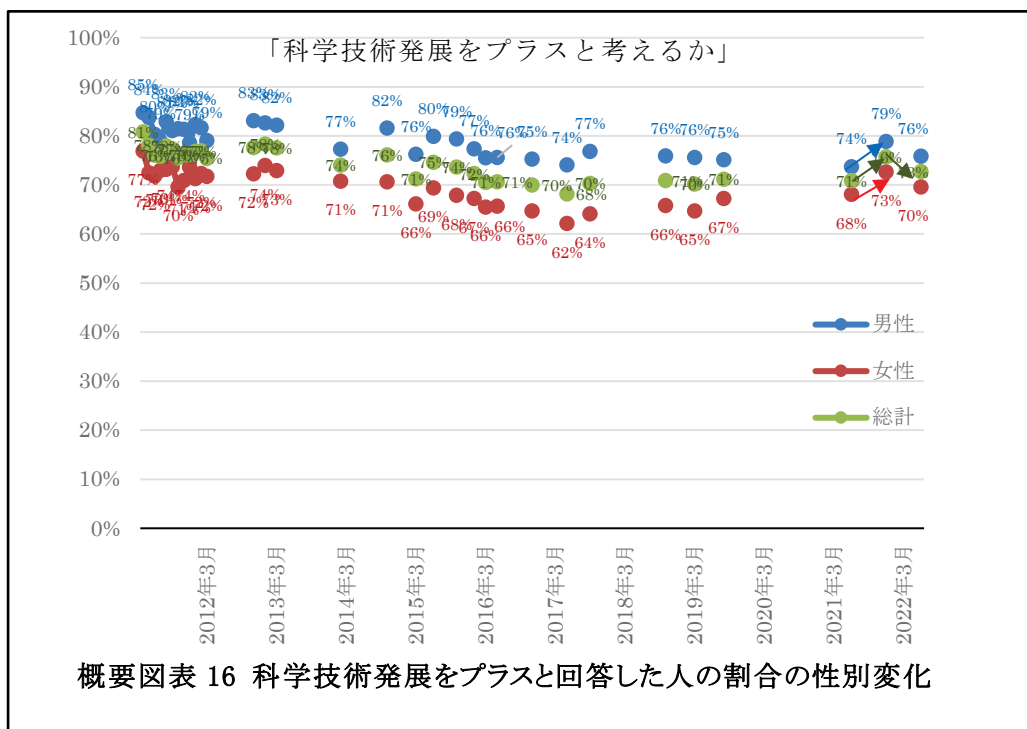
### ①科学技術に対する関心・科学者への信頼度

科学技術関心度(概要図表 14)、科学者の信頼度(概要図表 15)はともに低下傾向にある。



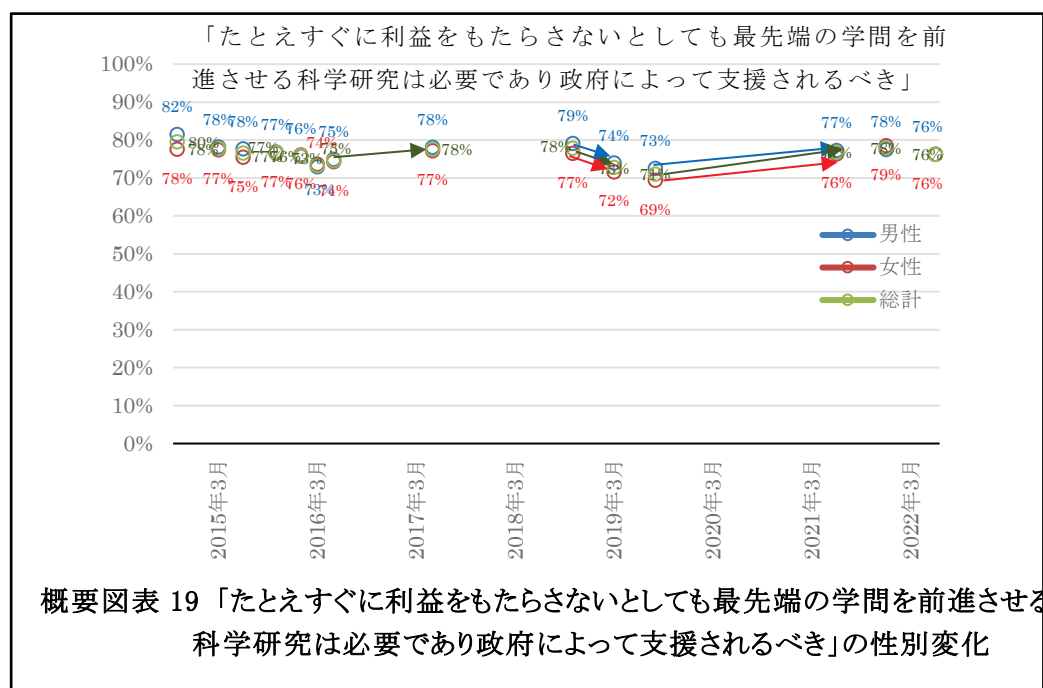
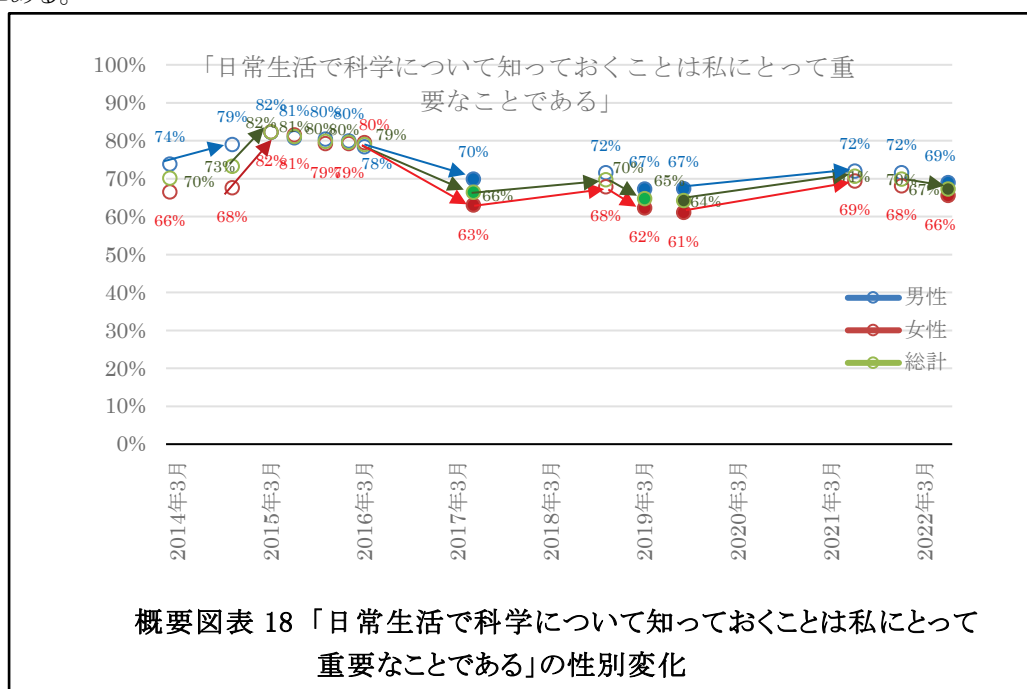
### ②科学技術に対する評価

科学技術発展をプラスと回答した人の割合(概要図表 16)、「科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる」(概要図表 17)では総計の減少傾向が見られる。



また、「日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである」(概要図表 18)で

は総計が減少しており、「たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき」(概要図表 19)では男女ともに変化は見られない傾向にある。



#### (4) おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。



本文





## 1. はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2022 年度調査(2022 年 6 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人にインターネットを使って調査したものである。

## 2. 調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

### (1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

### (2)調査期間及び調査方法

2022 年 6 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=6,600 で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数(男性 3,300 名、女性 3,300 名)、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(11 の年齢層、1 年齢層当たり 600 名)とした。

### (3)調査時点

2022 年 6 月 1 日から 6 月 8 日にかけて実施した。

### (4)調査項目

今般の調査では特に SDGs に対する認知度、科学技術・イノベーションの SDGs への貢献の期待を把握することが目的である。

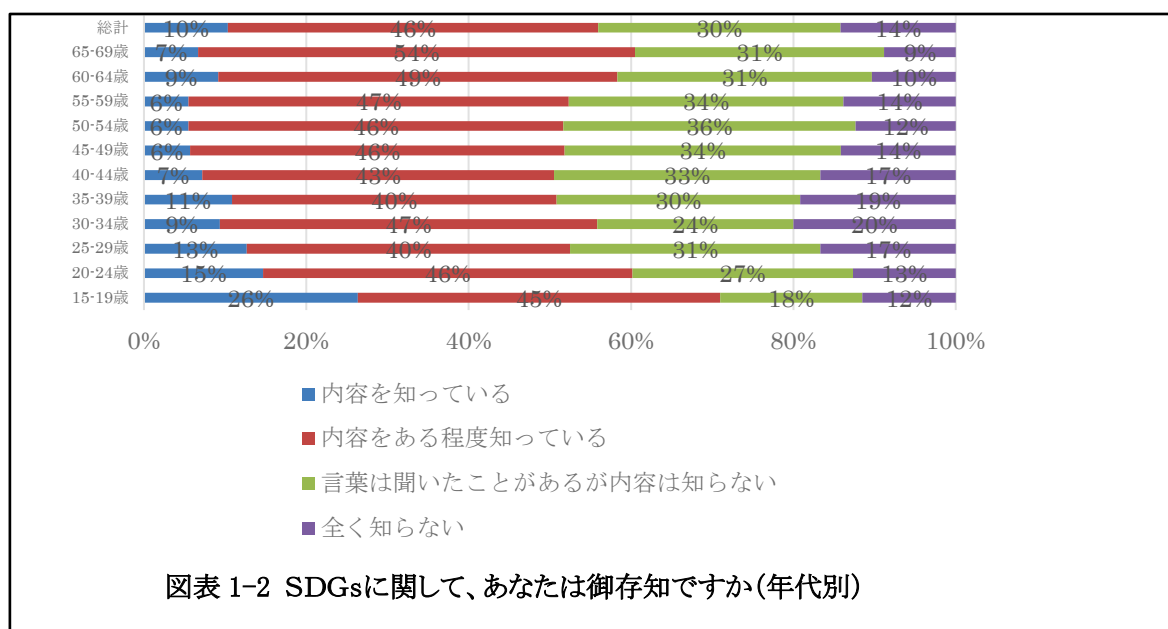
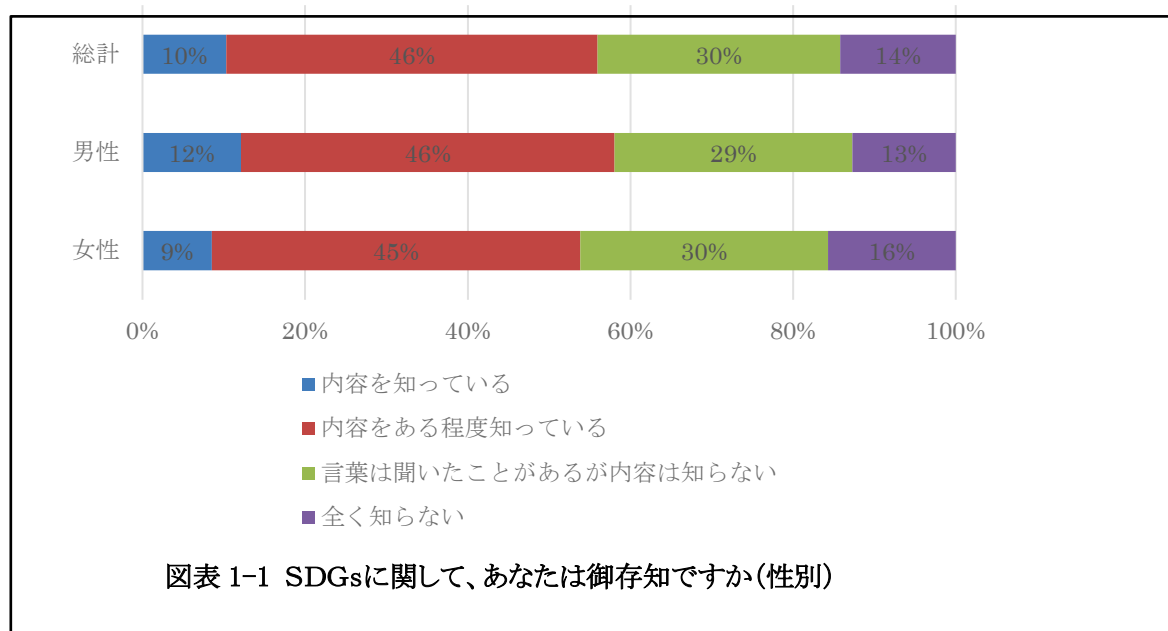
## 3. 調査結果

今般の主たる目的である、(1)SDGs に関する国民の意識(SDGs に対する認知度、科学技術・イノベーションの SDGs への貢献の期待)の調査結果を示すとともに、(2)SDGs 以外の科学技術政策に関する意識に関する調査結果を示す。

### (1)SDGs に関する国民の意識(SDGs に対する認知度、科学技術・イノベーションの SDGs への貢献の期待)に関する調査結果

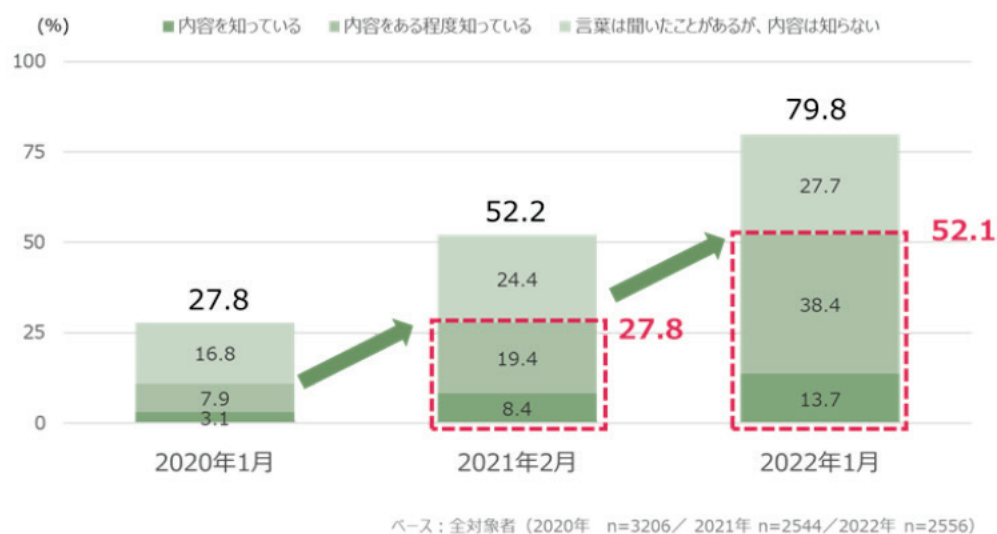
#### ①SDGs に関する認知状況

SDGs への認知について伺ったところ、「性別」(図表 1-1)では男性(内容を(ある程度)知っている 58%)の方が女性(内容を(ある程度)知っている 54%)よりも高い一方、「年代別」(図表 1-2)では若い世代(24 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で高いことが判明した。

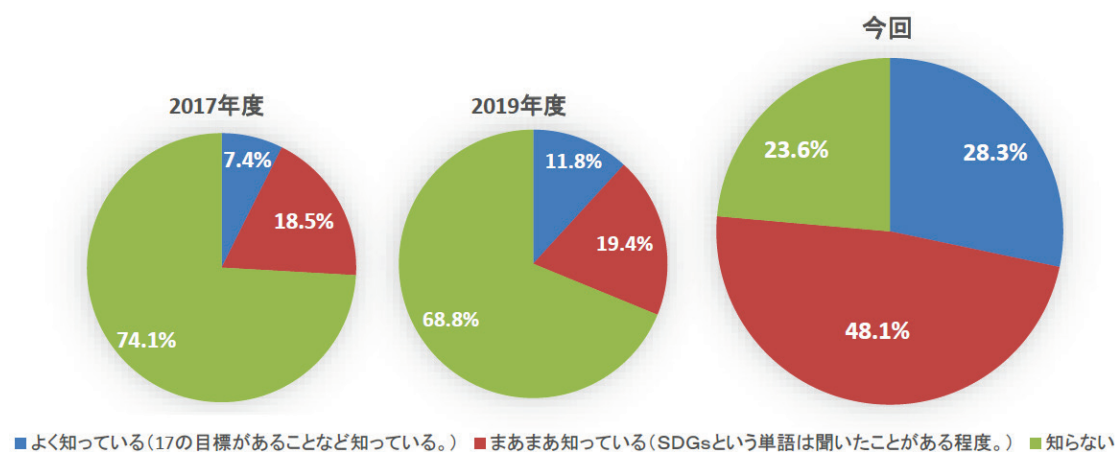


SDGs への認知度は近年、時間とともに上昇していることが各種調査で知られている(図表 1-3、図表 1-4、図表 1-5、図表 1-6、図表 1-7)。

### ●SDGs認知率（2020年 - 2022年）

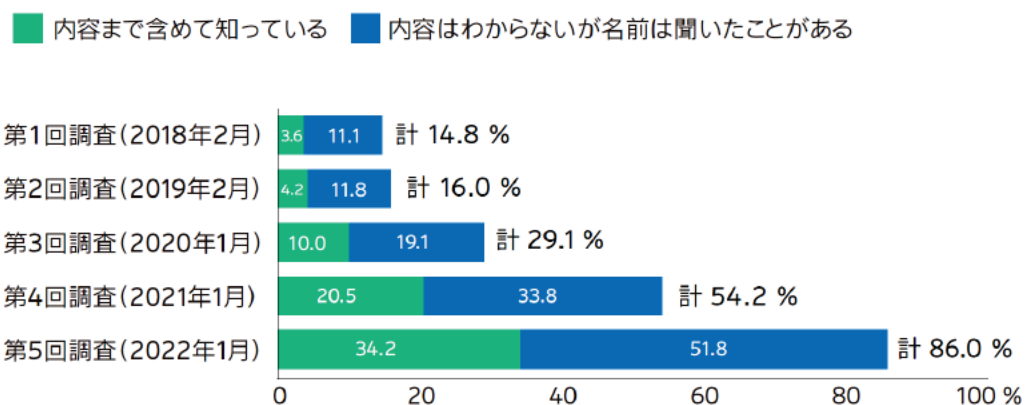


図表 1-3 SDGs 認知率(2020 年—2022 年)<sup>[1]</sup>

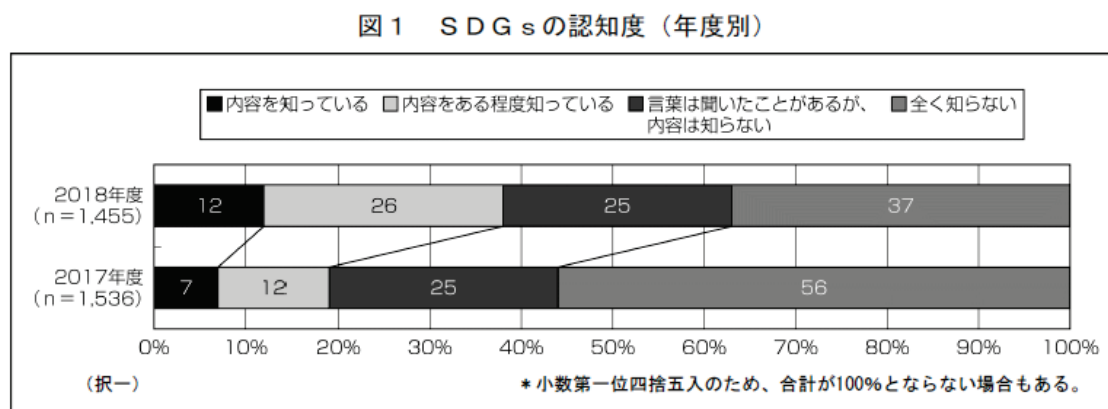


図表 1-4 「SDGs」という言葉を知っていますか<sup>[2]</sup>

図表1：SDGsの認知率（時系列）



図表 1-5 SDGs の認知率(時系列)<sup>[3]</sup>



図表 1-6 SDGs の認知度(年度別)<sup>[4]</sup>

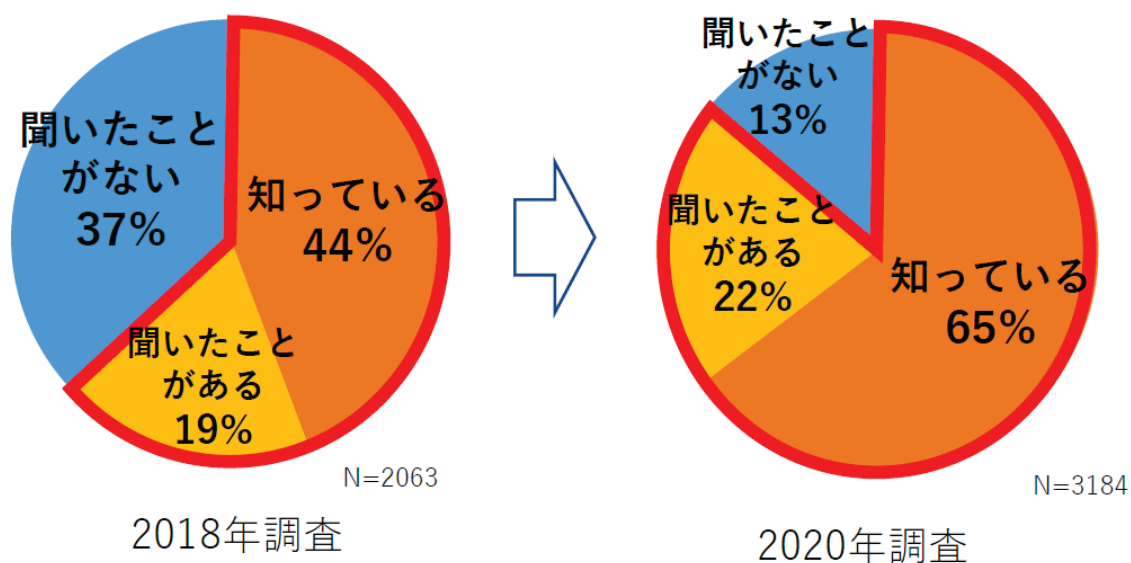
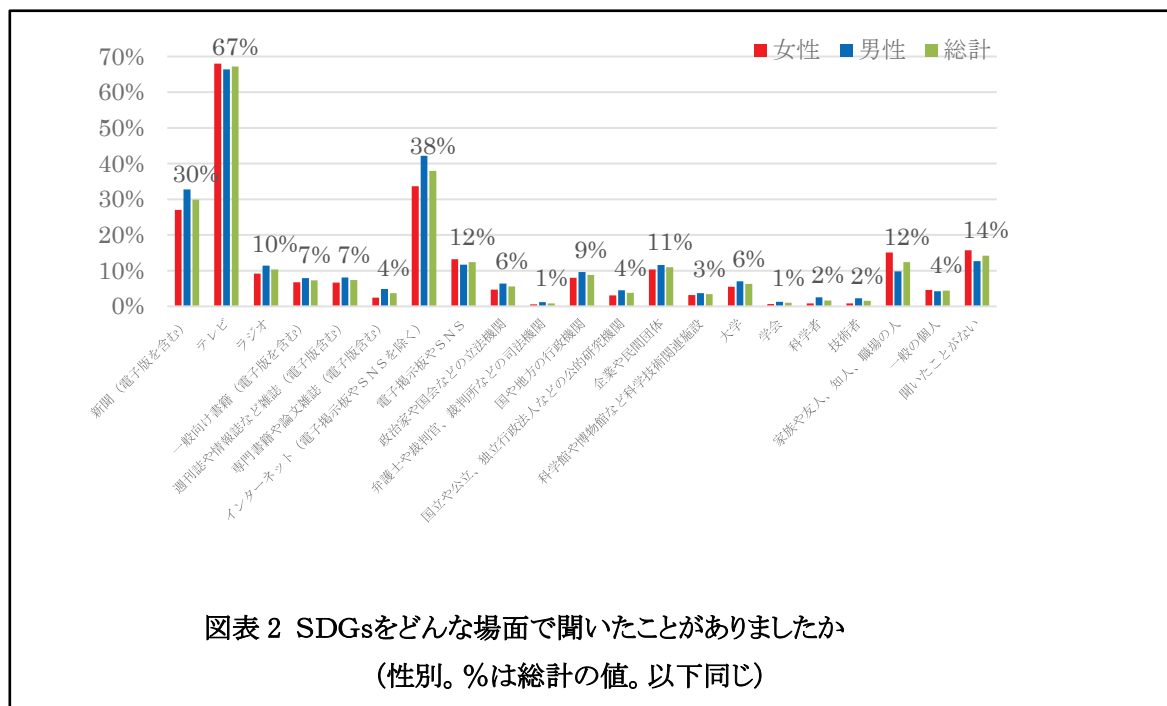


図1. SDGs認知度

図表 1-7 SDGs 認知度<sup>[6]</sup>

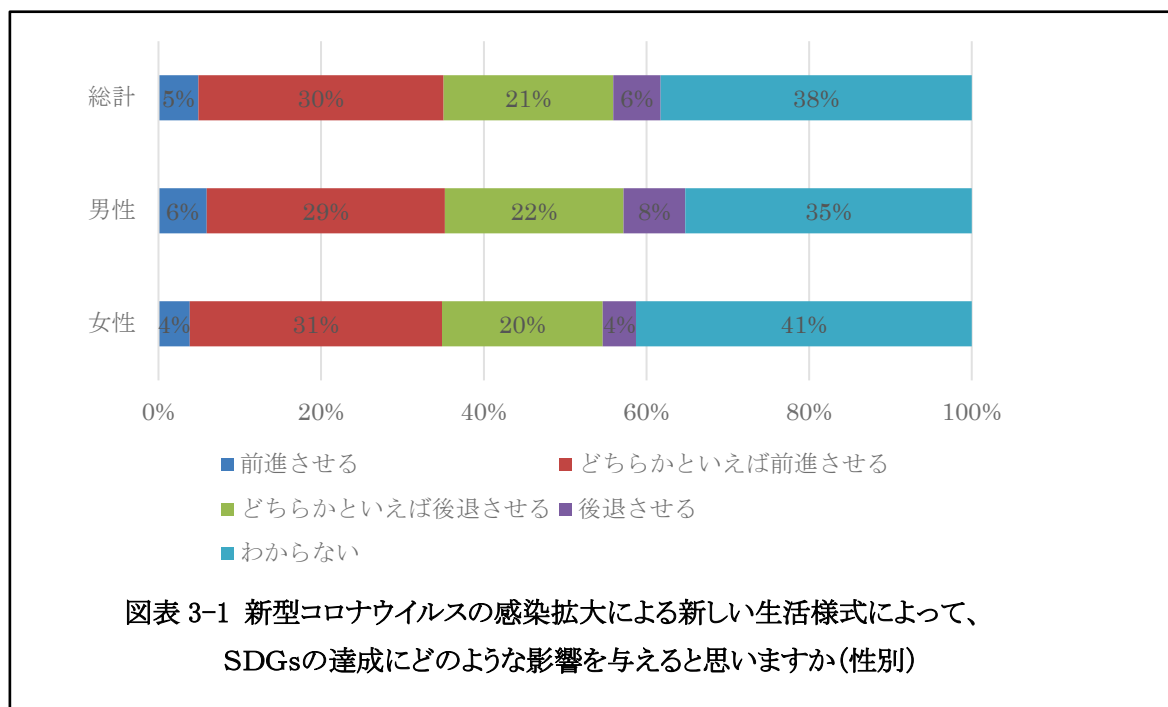
## ②SDGs の把握手段

SDGsをどんな場面で聞いたことがあるか訊いたところ、こちらも「性別」(図表 2)では男性はインターネットや新聞などが高く、女性はテレビや家族や友人、知人、職場の人で多くなっている。

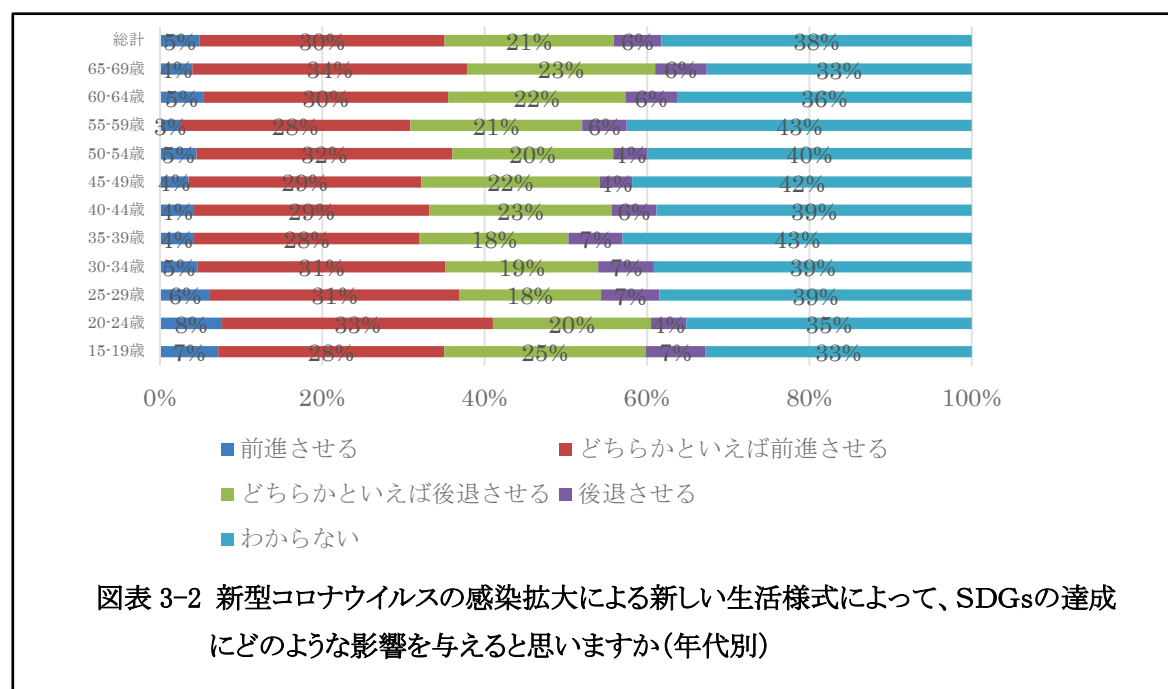


### ③新型コロナウイルス感染拡大がSDGsの達成に与える影響

新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式によって、SDGsの達成にどのような影響を与えると思うかについて聞いたところ、「性別」(図表 3-1)では男性((どちらかといえば)前進させる 35%)は女性((どちらかといえば)前進させる 35%)と比べて差はない。



また、年代別に見ても(図表 3-2)特に構造に差は見られない。



また、東大調査の結果(図表 3-3)とも矛盾していないと考えられる。

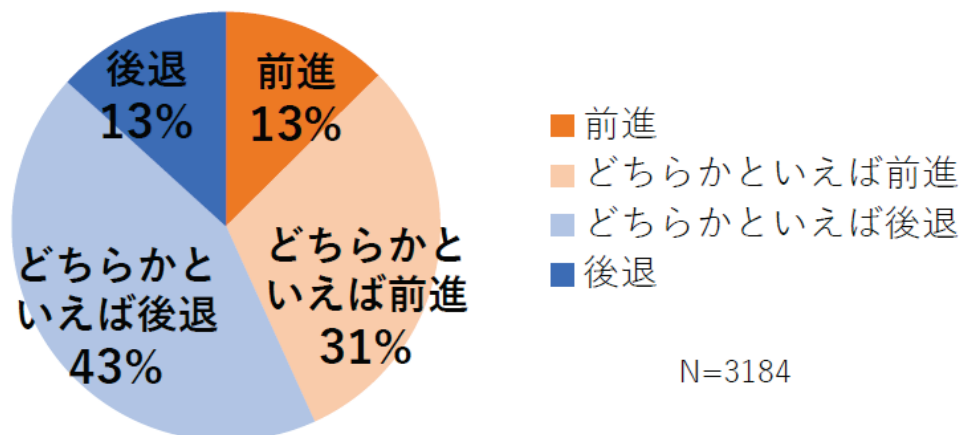
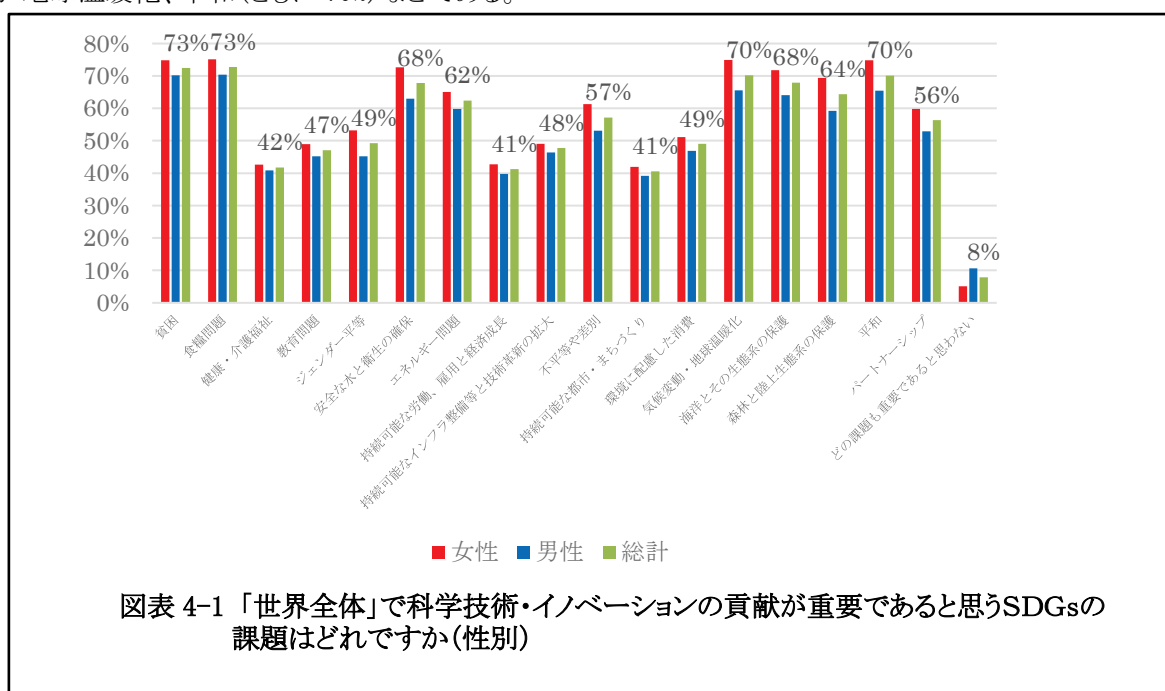


図8. 新型コロナによるSDGsへの影響の認識

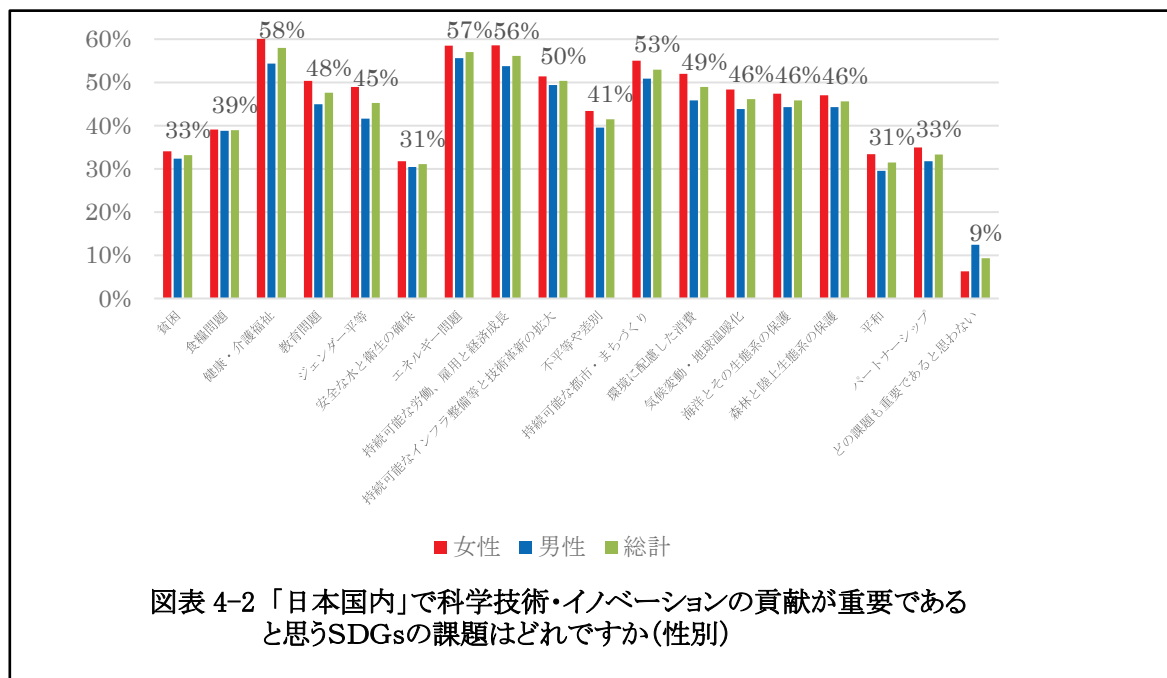
図表 3-3 新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式によって、SDGsの達成にどのような影響を与えていると思いますか<sup>[6]</sup>

④「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールでの科学技術・イノベーションのSDGs への貢献に関する意識

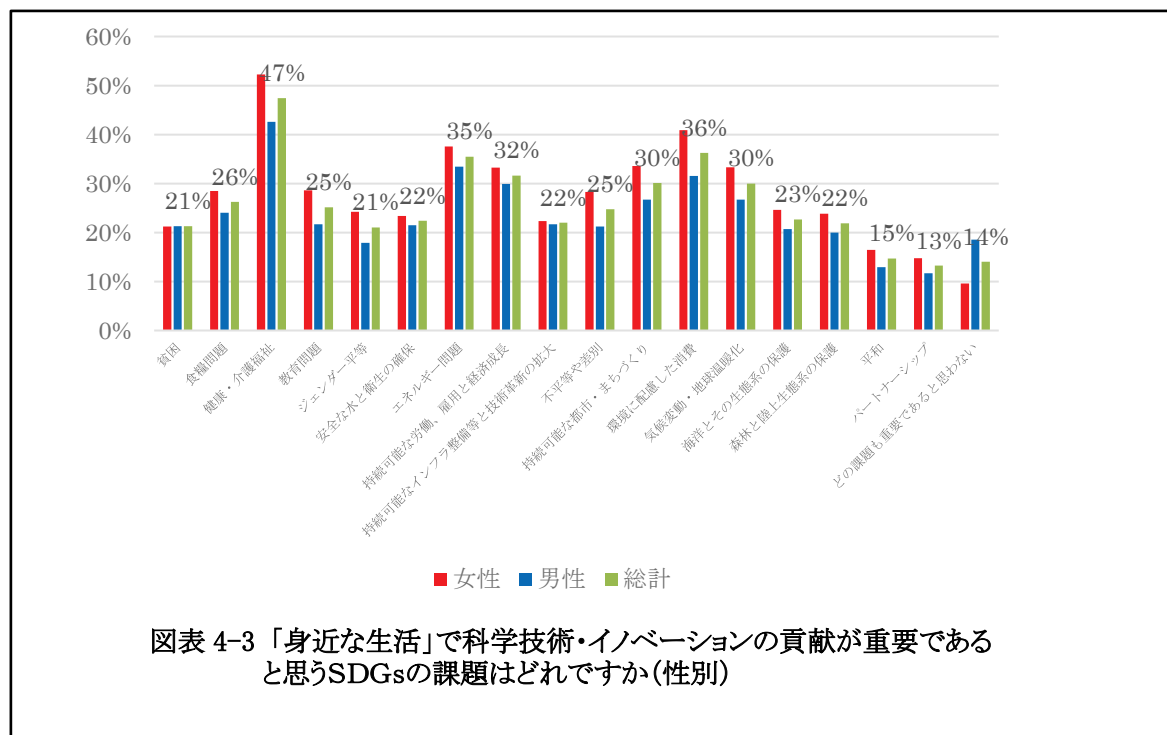
「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、「科学技術・イノベーションの貢献が重要であると思うSDGsの課題はどれですか」について訊いたところ、「世界全体」の「性別」(図表 4-1)では女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは貧困、食糧問題(ともに 73%)、次いで気候変動・地球温暖化、平和(ともに 70%)などである。



「日本国内」の「性別」(図表 4-2)でも女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは健康・介護福祉(58%)、次いでエネルギー問題(57%)である。

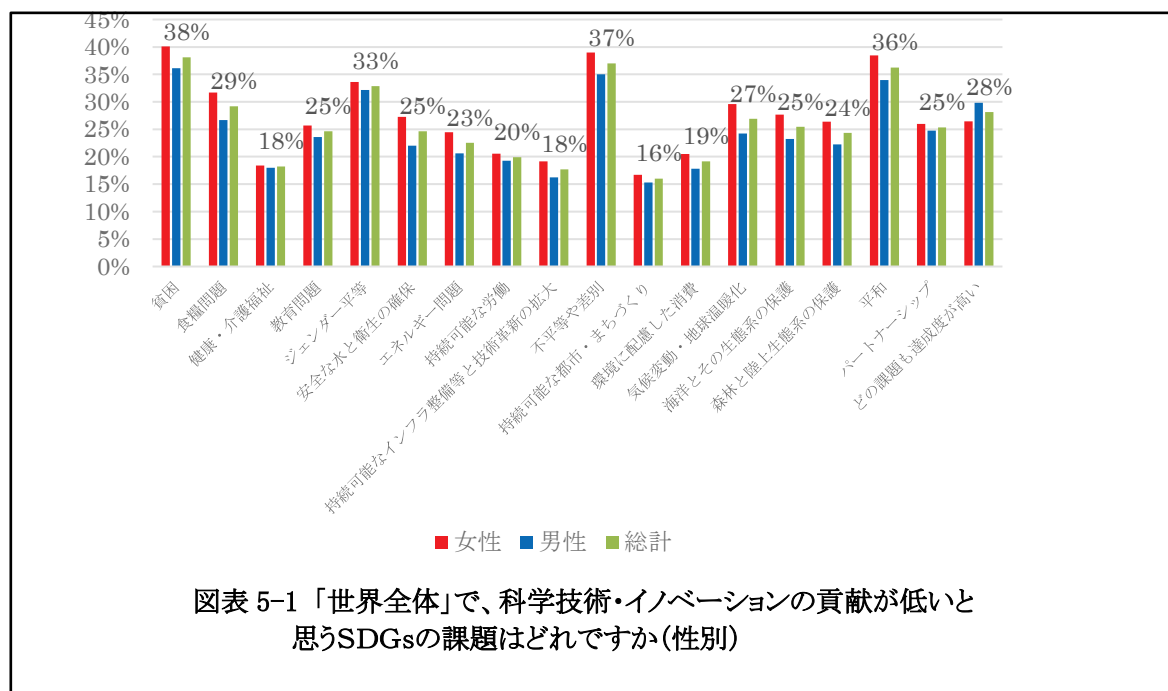


「身近な生活」の「性別」(図表 4-3)でも女性は全ての項目で男性を上回っており、男性より科学技術・イノベーションの貢献に対する意識が強い。特に高いのは健康・介護福祉(47%)、次いで環境に配慮した消費(36%)である。

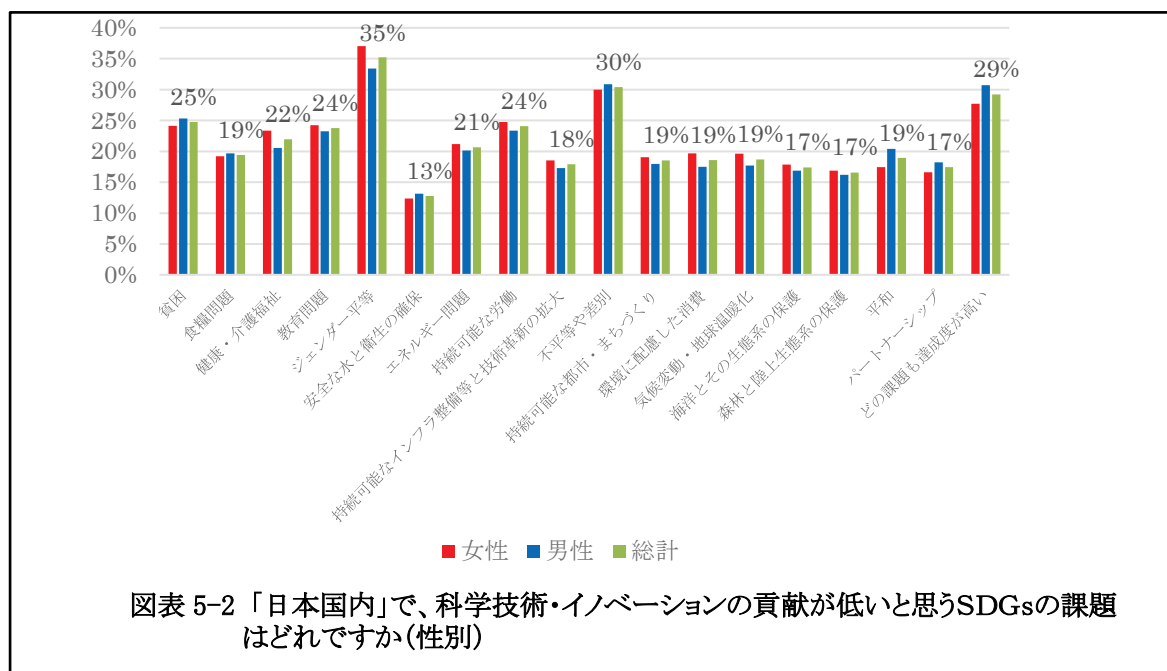




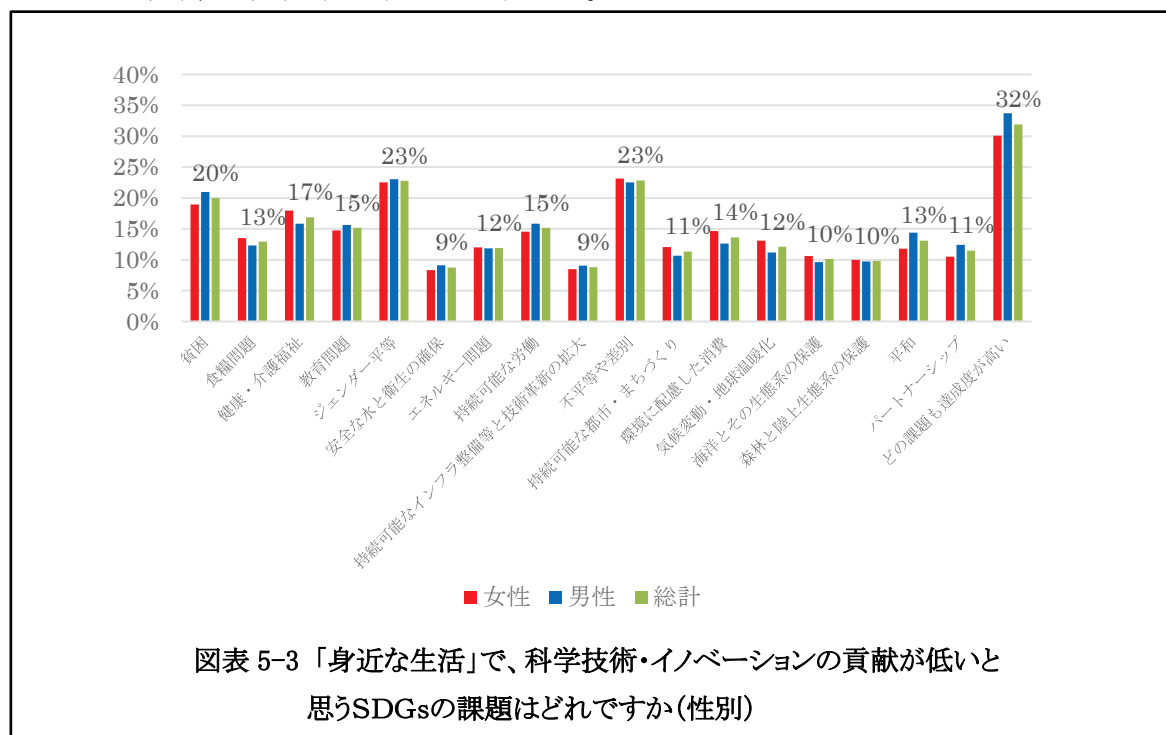
「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、「科学技術・イノベーション」の貢献が低いと思うSDGsの課題はどれですか」について訊いたところ、「世界全体」の「性別」(図表 5-1)では女性は全ての項目で男性を上回っている。特に高いのは貧困(38%)、次いで不平等や差別(37%)である。



「日本国内」の「性別」(図表 5-2)では特に高いのはジェンダー平等(35%)、次いで不平等や差別(30%)である。

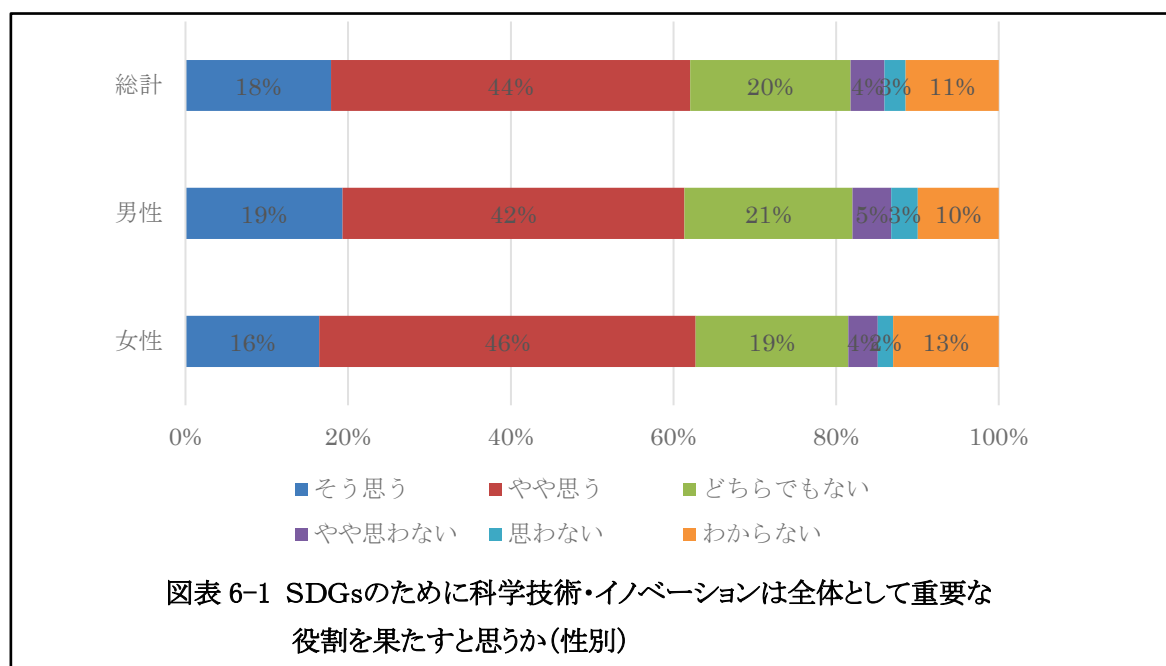


「身近な生活」の「性別」(図表 5-3)では特に高いのはどの課題も達成度が高い(32%)、次いでジェンダー平等、不平等や差別(ともに 23%)である。

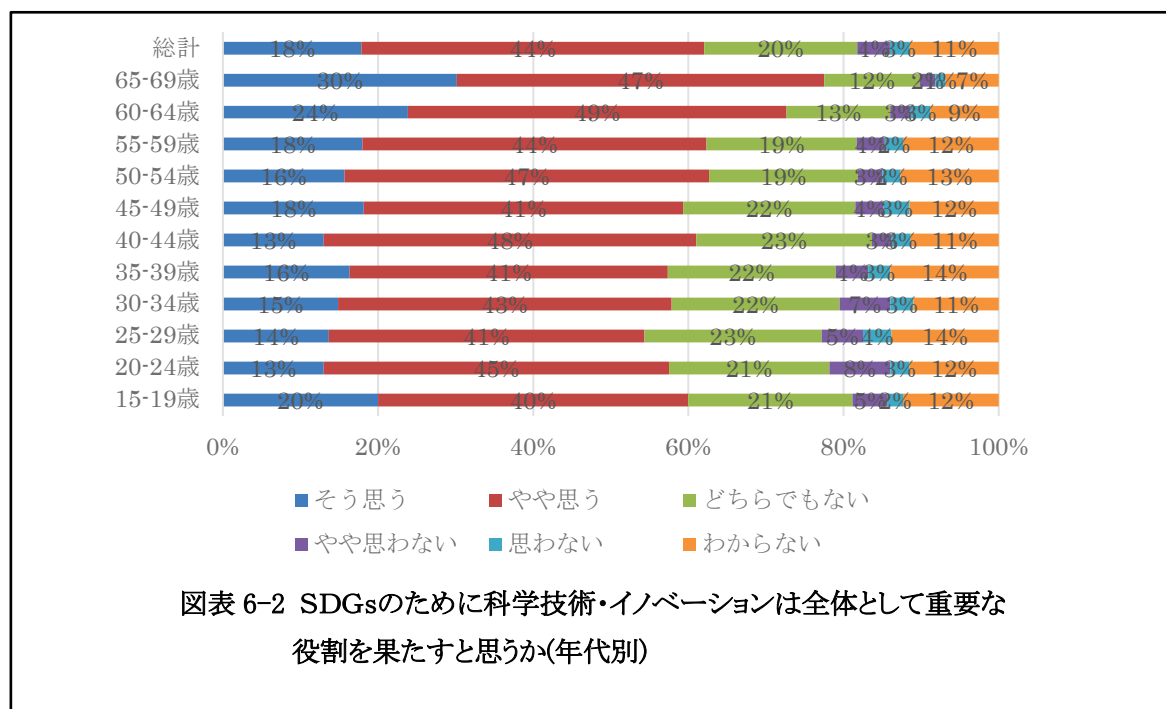


#### ⑤SDG における科学技術・イノベーションの枠割に関する意識

「SDGsのために科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと思うか」について訊いたところ、性別では図表 6-1 となり、女性((やや)思う 62%)が男性((やや)思う 61%)よりも僅かに大きい。

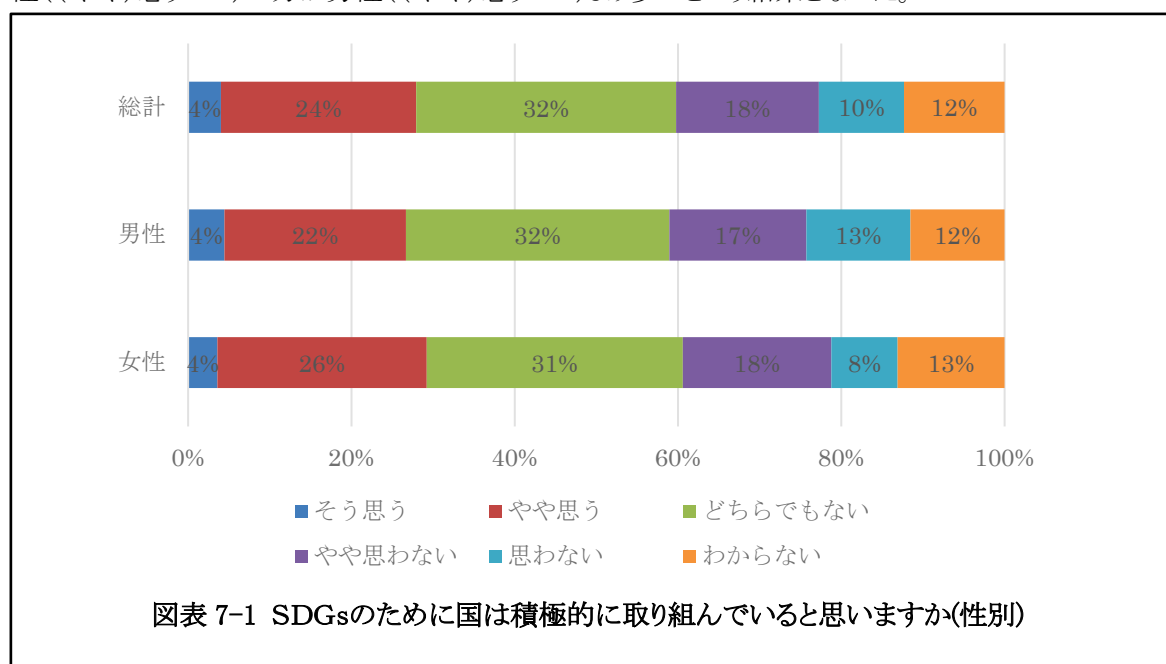


年代別で見る(図表 6-2)と 60 歳以上のシニア世代で科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと強く思われている。

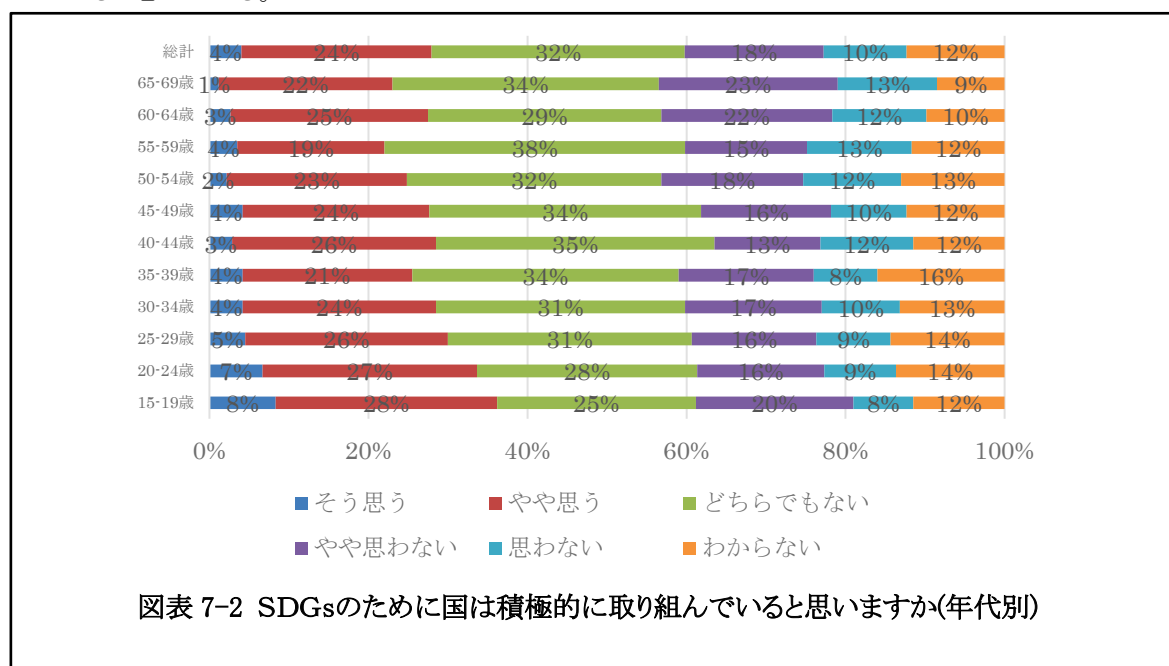


#### ⑥SDGs への国の取組に関する意識

加えて、「SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思うか」を訊いたところ(図表 7-1)、女性((やや)思う 30%)の方が男性((やや)思う 26%)より多いという結果となった。

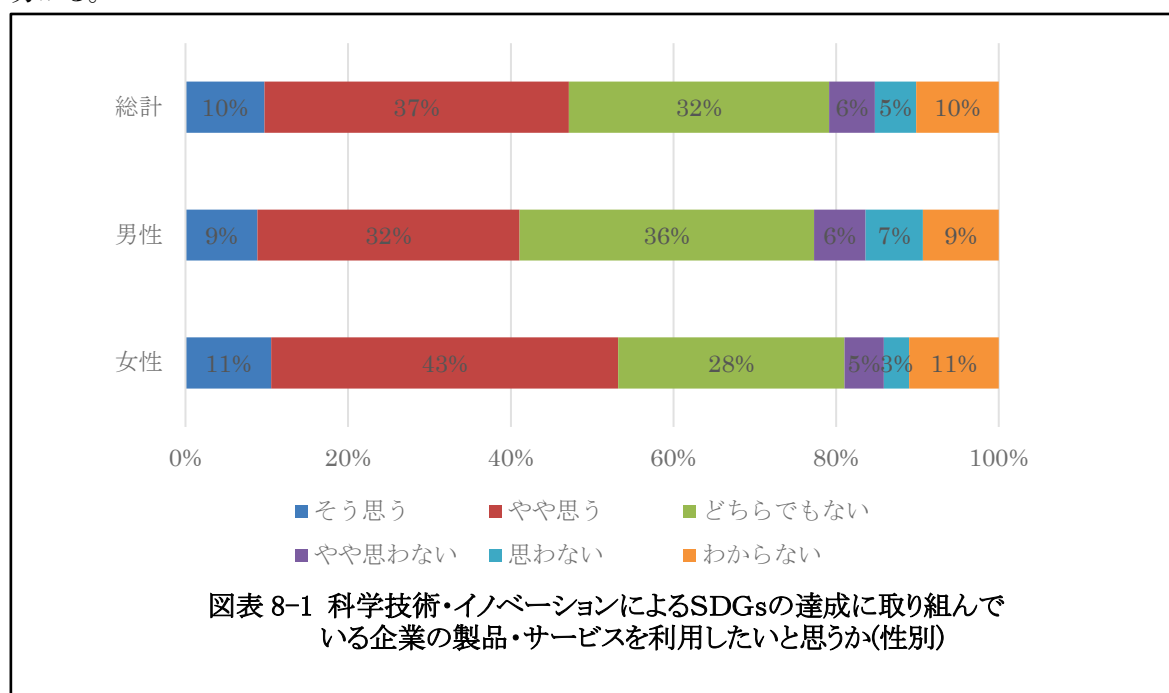


年代別に見ると図表 7-2 となり、24 歳以下の若い世代で、SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思っている。

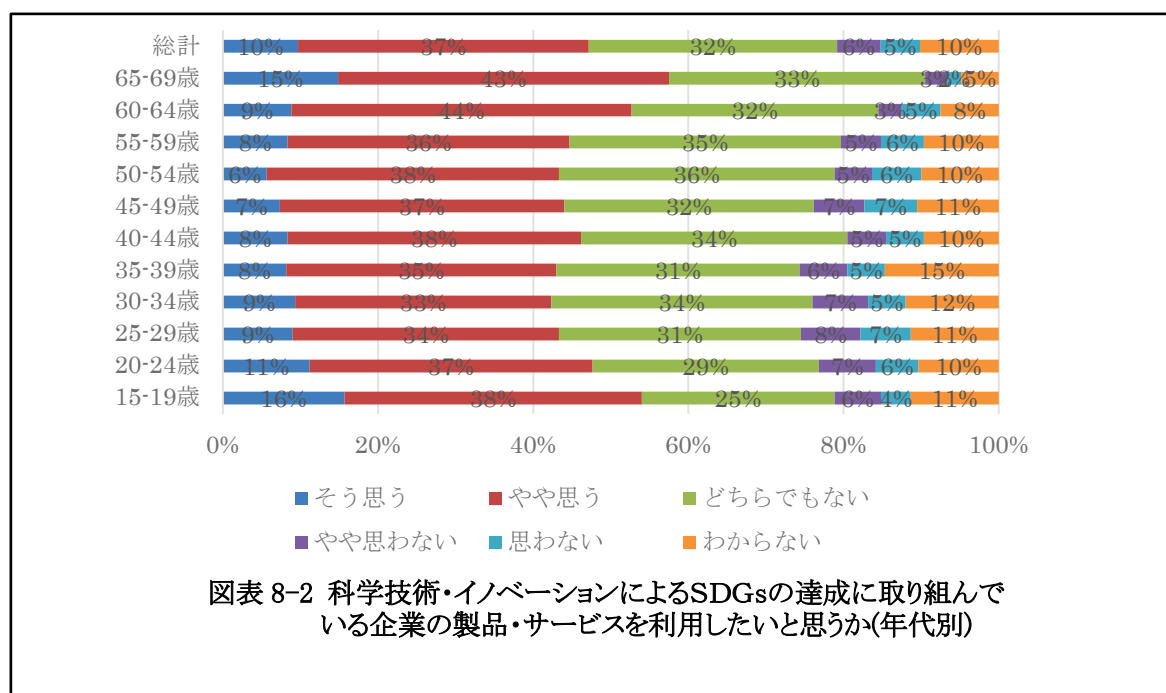


#### ⑦科学技術・イノベーションによる SDGs の達成に取り組む企業の製品・サービスに対する意識

一方、「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成に取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思うかどうか」を聞いたところ、性別では図表 8-1 となり、女性((やや)思う 54%)は男性((やや)思う 41%)よりも遥かに高く、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

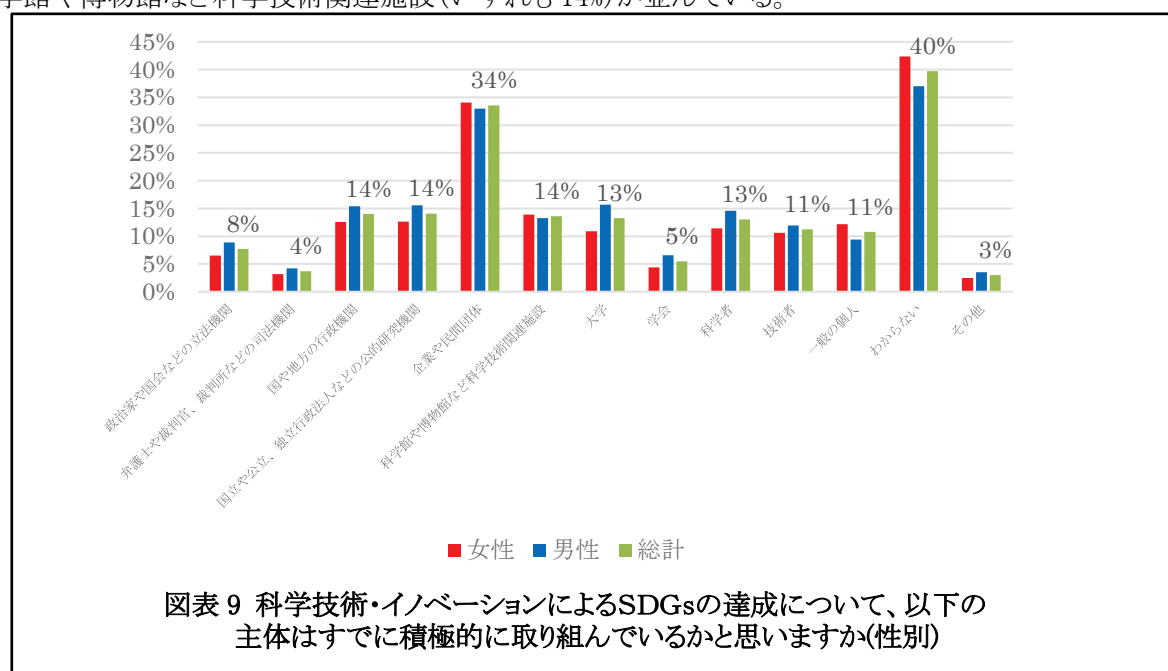


年代別に見ると図表 8-2 となり、24 歳以下の若年層、60 歳以上のシニア世代に加えて、40-44 歳の中間層でも高くなっている。



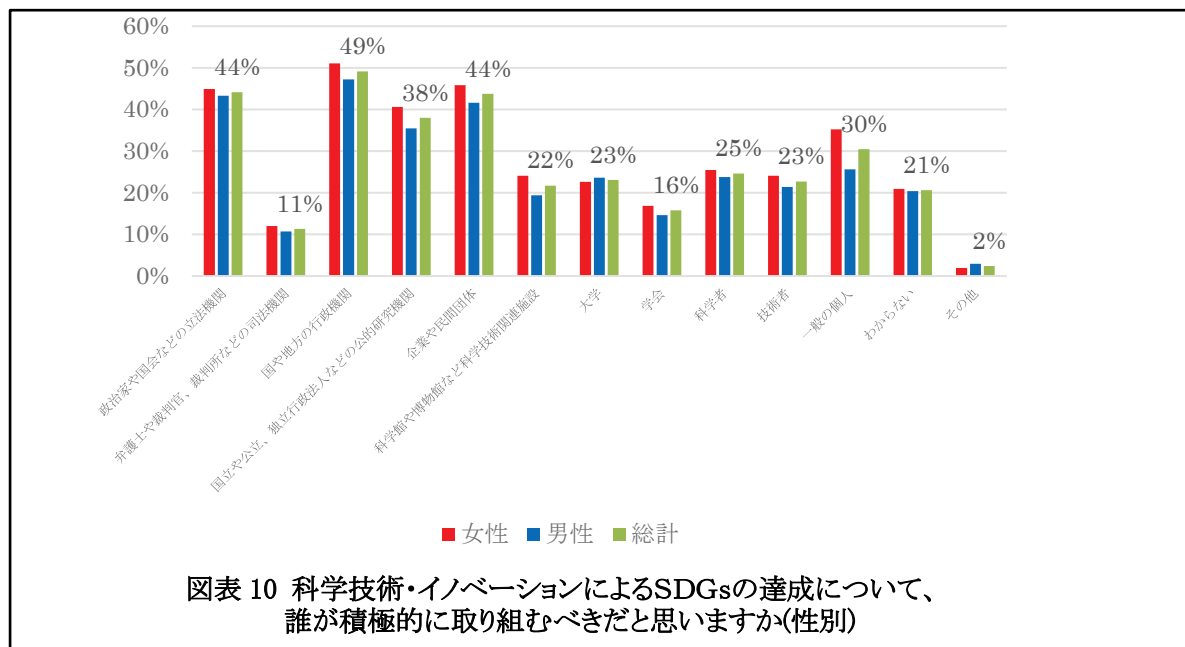
#### ⑧主体別の科学技術・イノベーションによる SDGs 達成への取組状況に対する意識

「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、以下の主体はすでに積極的に取り組んでいると思いますか」について訊いたところ、図表 9 となり、わからない(40%)が最多となっているが、次点で企業や民間団体(34%)となっており、企業等の活動が国民の眼に多く映っている。企業に次いで、国や地方の行政機関、国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関、科学館や博物館など科学技術関連施設(いずれも 14%)が並んでいる。



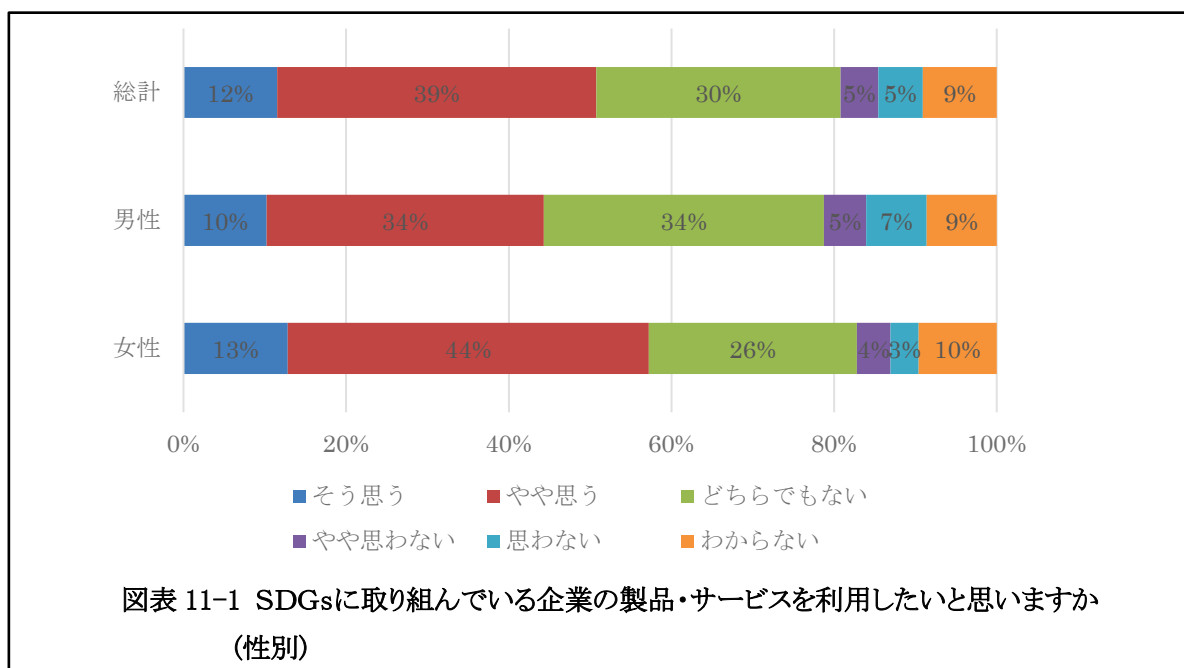
⑨科学技術・イノベーションによる SDGs 達成に積極的に取り組むべき主体に関する意識

「科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、誰が積極的に取り組むべきだと思いますか」について訊いたところ、性別では図表 10 となった。この結果、国や地方の行政機関が 49%とトップとなり、次いで政治家や国会等の立法機関、企業や民間団体(ともに 44%)などとなっている。

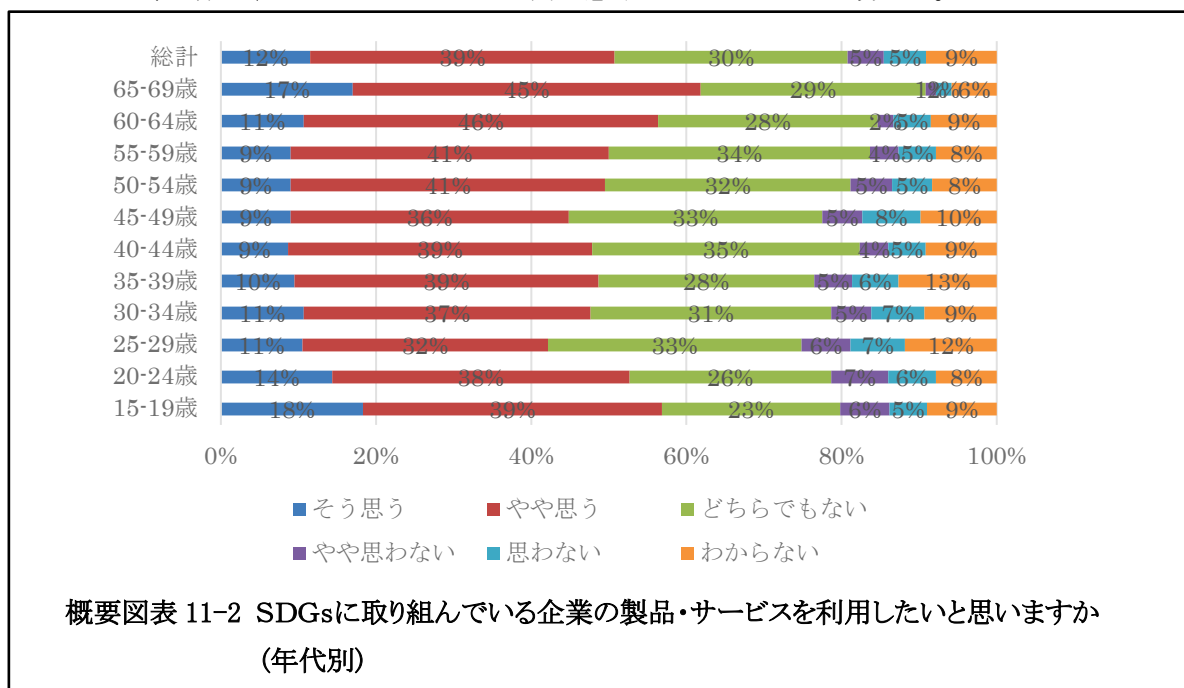


⑩SDGs に取り組む企業の製品・サービスに対する意識

「SDGsに取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか」を訊いたところ、性別では図表 11-1 となり、女性((やや)思う 57%)は男性((やや)思う 44%)よりも遥かに高く、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

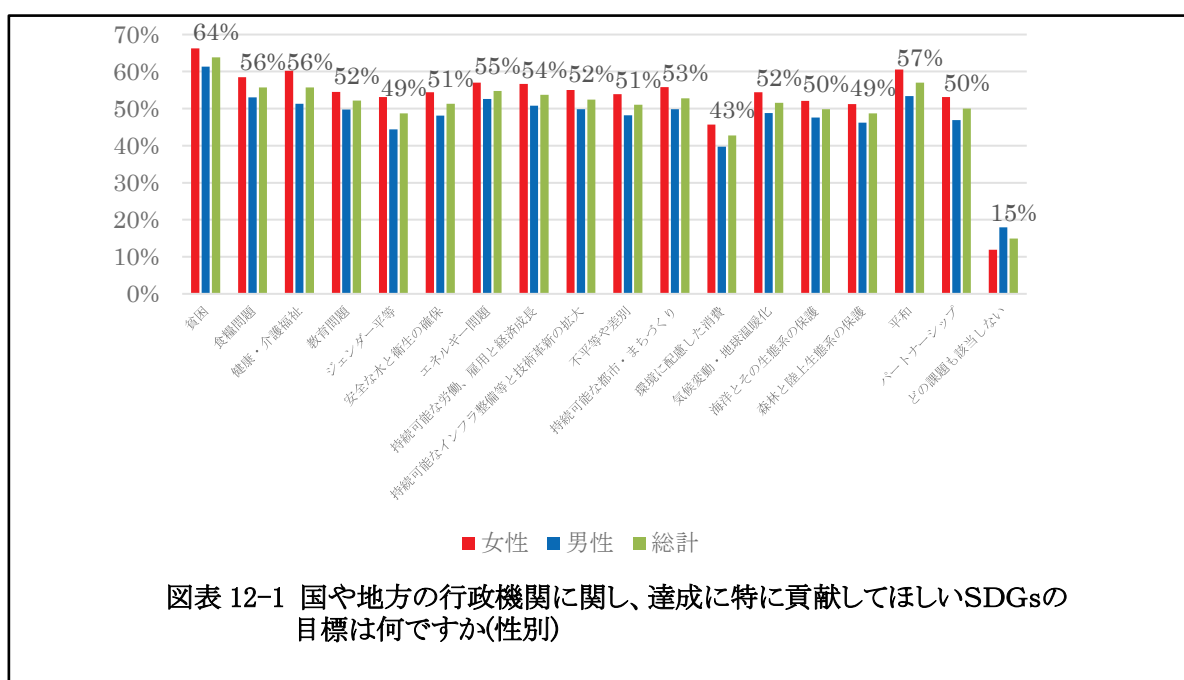


年代別に見ると図表 11-2 となり、24 歳以下の若年層、60 歳以上のシニア世代において高い値となっており、企業の製品・サービスについて高い意識を持っていることが分かる。

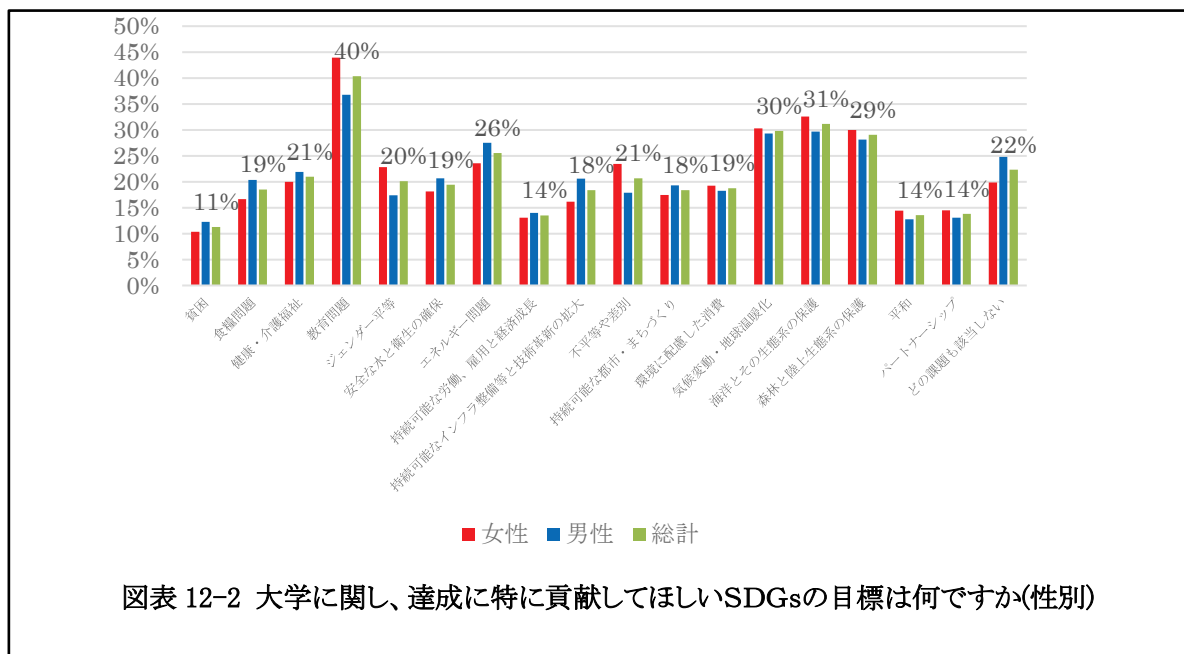


#### ⑪各主体に関し、特に貢献してほしいSDGsの目標に対する意識

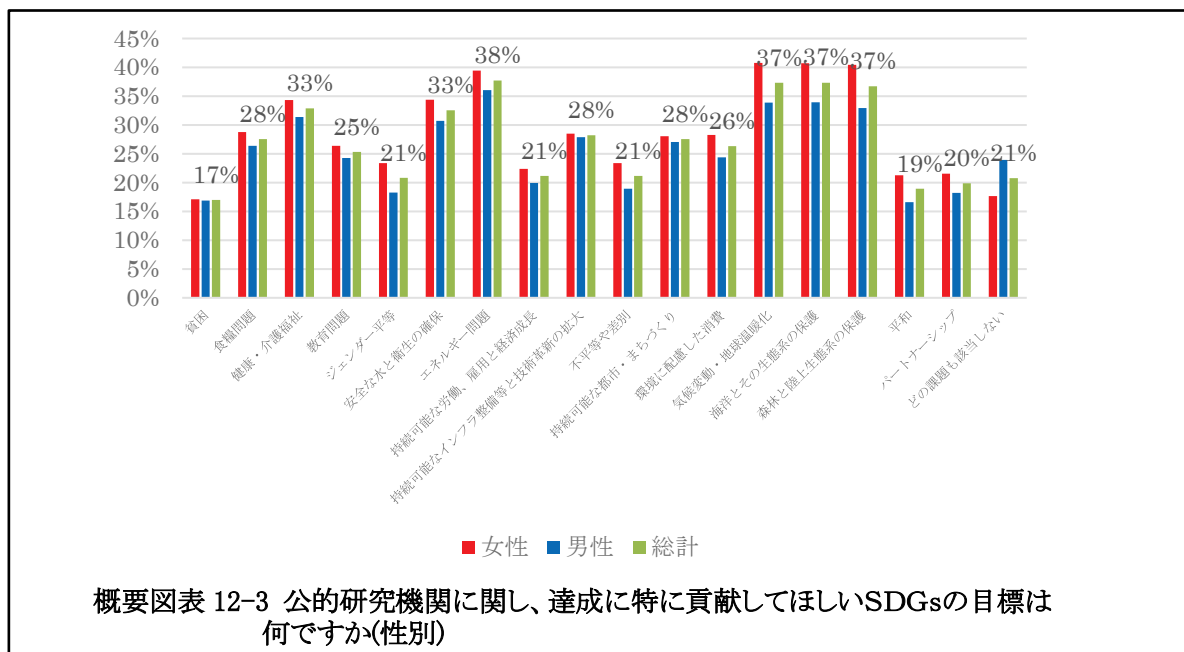
「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）」の4つの主体で考えたときに、「達成に特に貢献してほしいSDGsの目標は何ですか」について訊いたところ、国や地方の行政機関については図表 12-1 となり、貧困（64%）、次いで平和（57%）となっており、他の課題も多く上がっており、国や地方の行政機関への期待は大きく、全般的な支援が求められていると考えられる。



一方、大学については図表 12-2 となり、教育問題(40%)、次いで海洋とその生態系の保護(31%)などとなっている。中長期的な課題・視野について SDGs の課題から出てきている。日本全体の研究者で SDGs の課題に取り組めそうである。



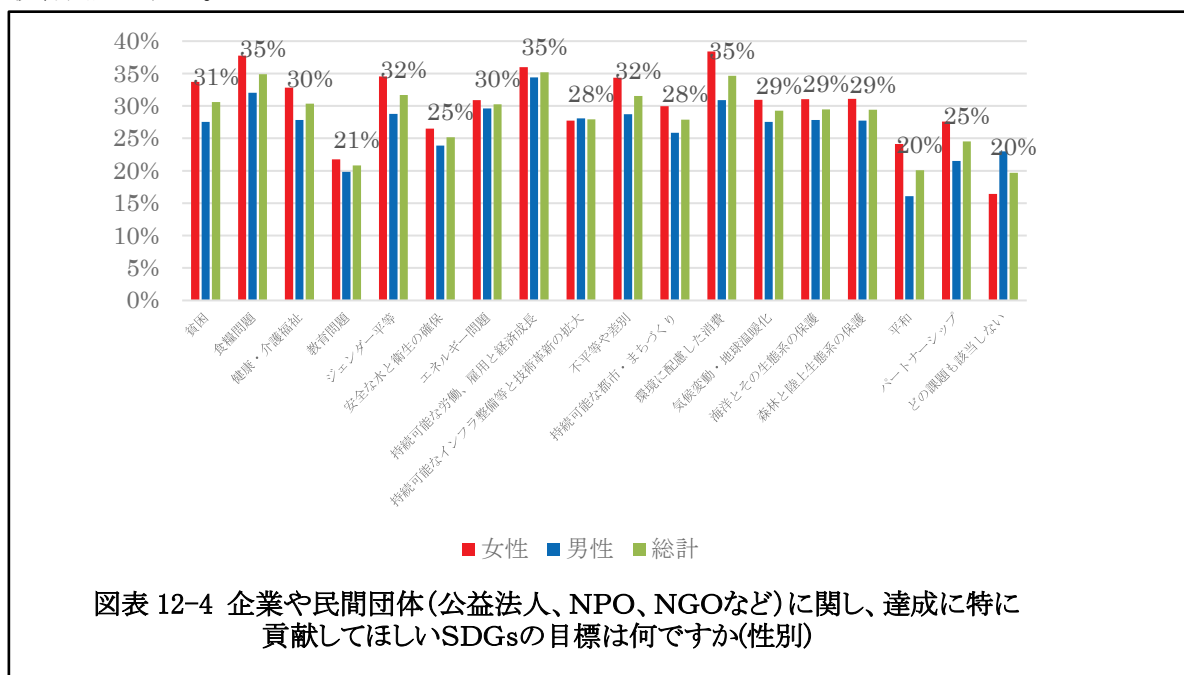
また、公的研究機関に関してはエネルギー問題(38%)に次いで、気候変動・地球温暖化、海洋とその生態系の保護、森林と陸上生態系の保護(ともに 37%)などとなっている。科学技術政策的に重要な文脈となっている。



加えて、企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)に対しては、食糧問題、持続可能な労

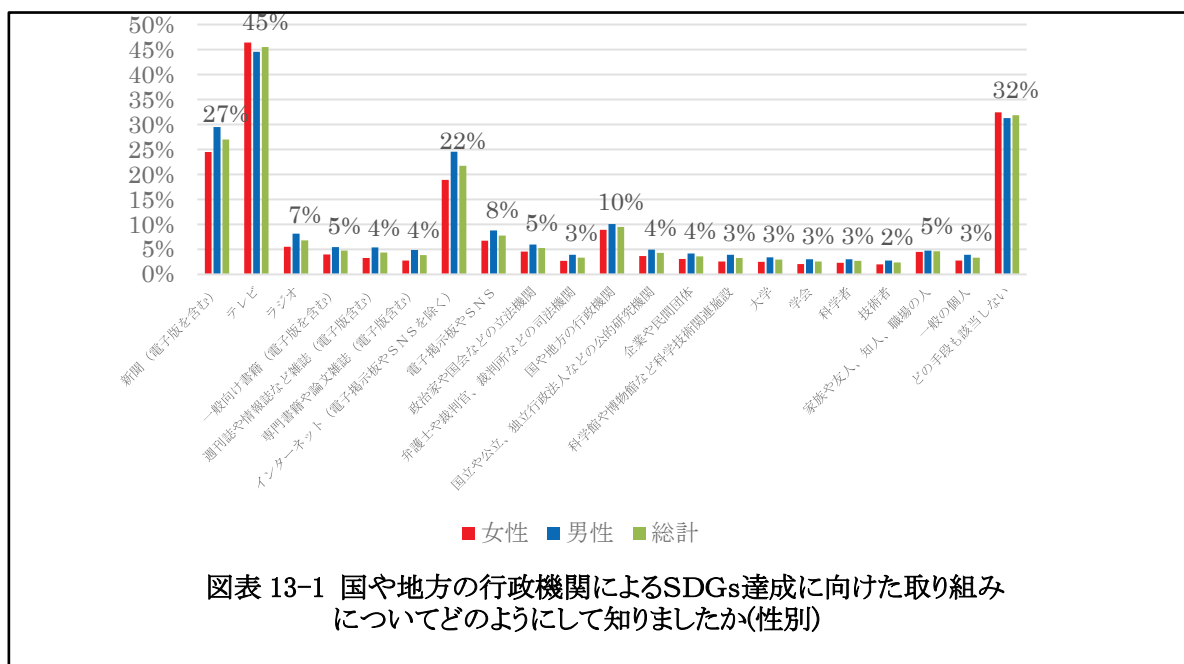


働、雇用と経済成長、環境に配慮した消費(ともに 35%)などとなっている。大学との対比において教育問題が低い。

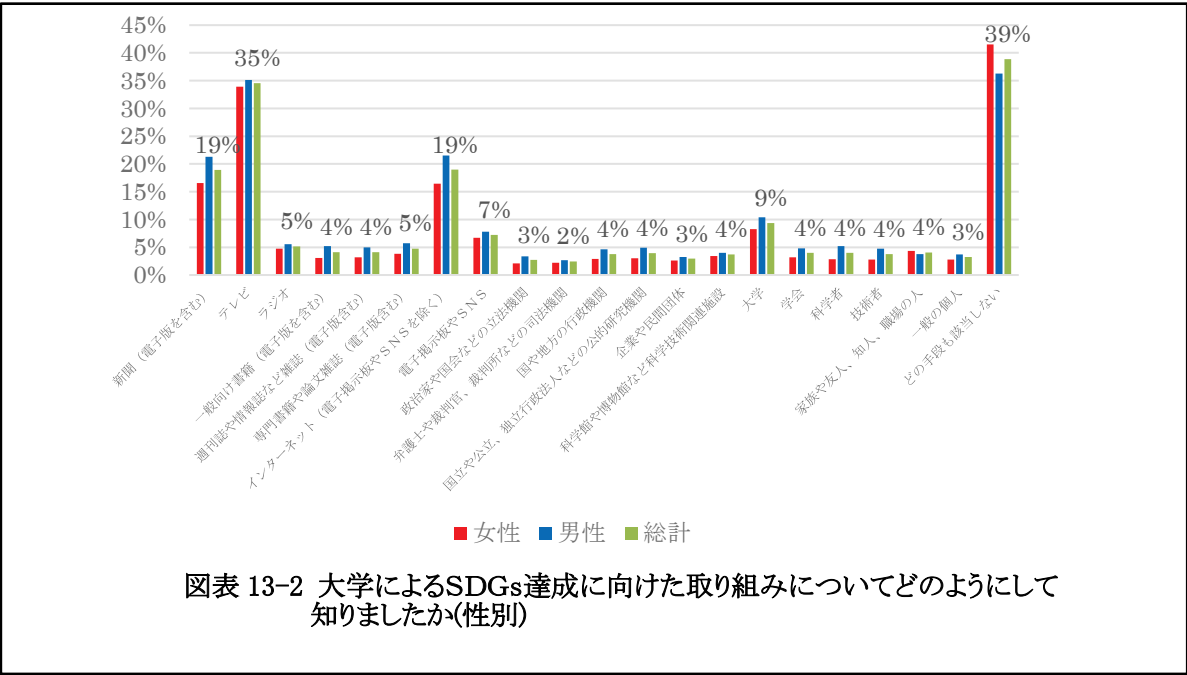


#### ⑫各主体による SDGs 達成に向けた取組の把握手段

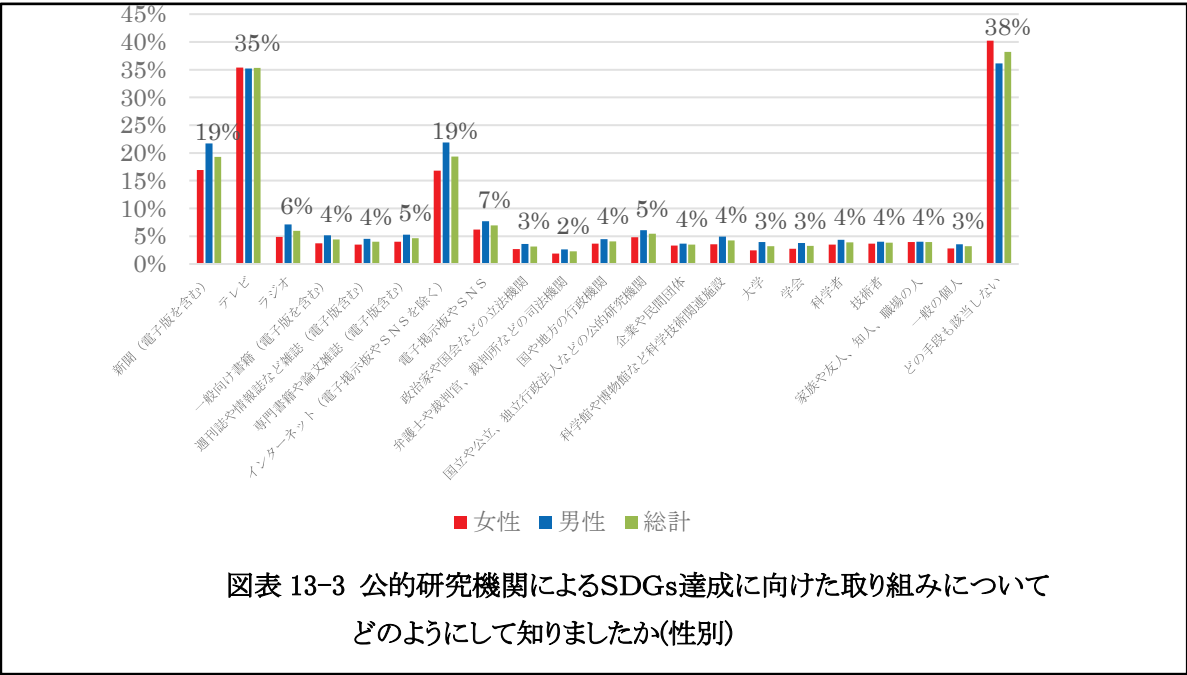
「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)」の4つの主体で考えたときに、それらによる「SDGs達成に向けた取り組みについてどのようにして知りましたか」について訊いたところ、国や地方の行政機関については図表 13-1 となりテレビが 45%となり圧倒的に高い一方、どの手段も該当しない(32%)がそれに次いで多くなっており、次いで新聞(電子版を含む、27%)などとなっている。



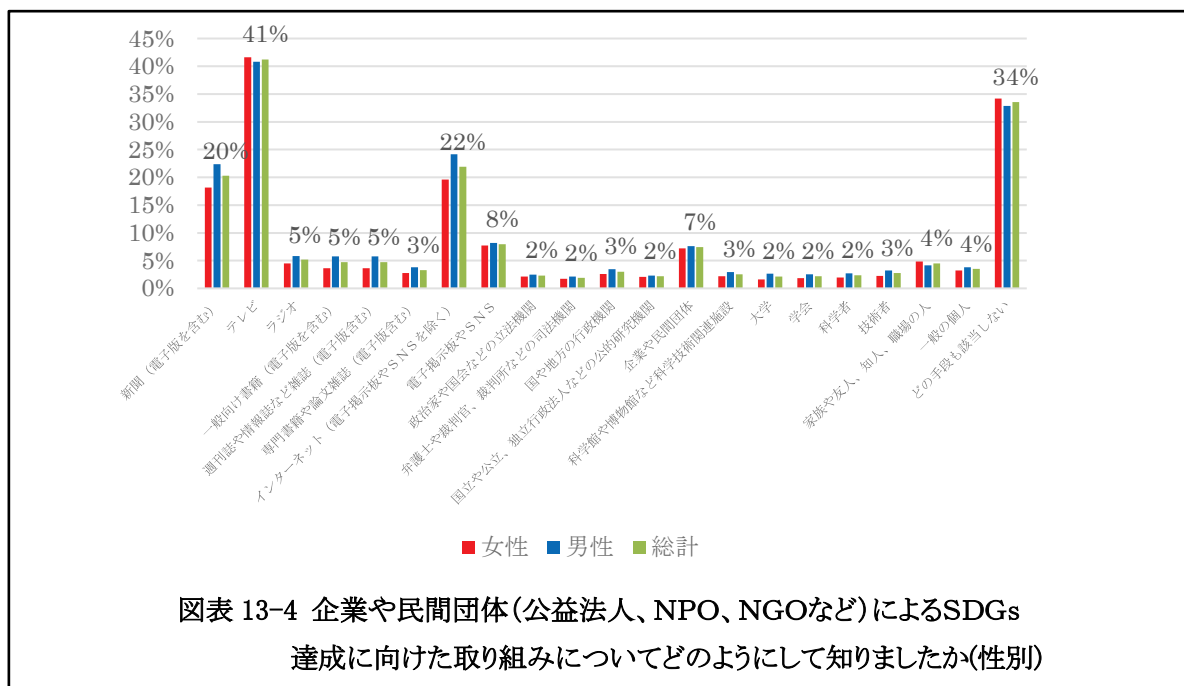
大学については、どの手段も該当しない(39%)と最も高く、次いでテレビが 35%、新聞(電子版を含む)、インターネット(電子掲示板や SNS を除く)でともに 19%などとなっている。



公的研究機関については、どの手段も該当しない(38%)と最も高く、次いでテレビが 35%、新聞(電子版を含む)、インターネット(電子掲示板や SNS を除く)でともに 19%などとなっている。



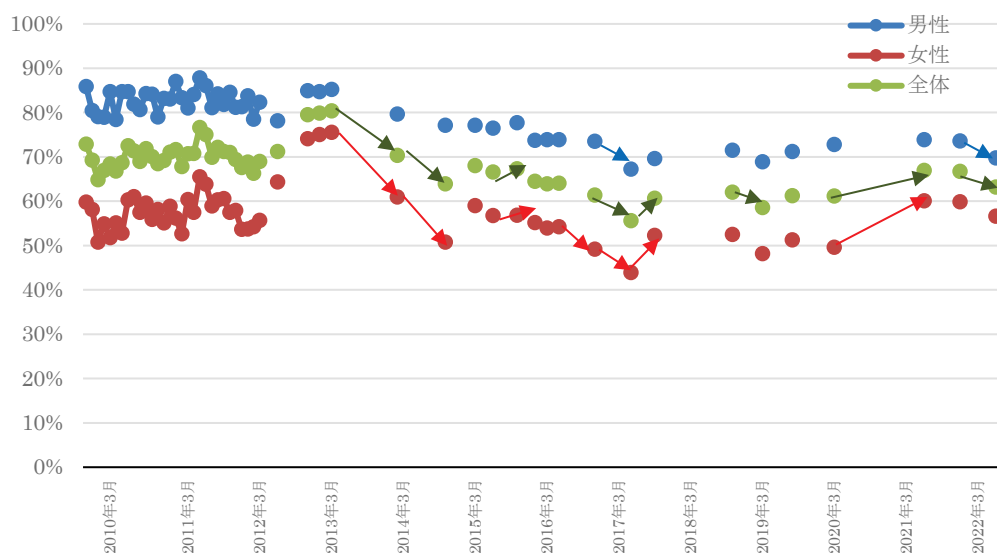
企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)によるSDGs達成に向けた取り組みについてはテレビが41%と最多となっており、次いでインターネット(電子掲示板やSNSを除く)が22%などとなっている。



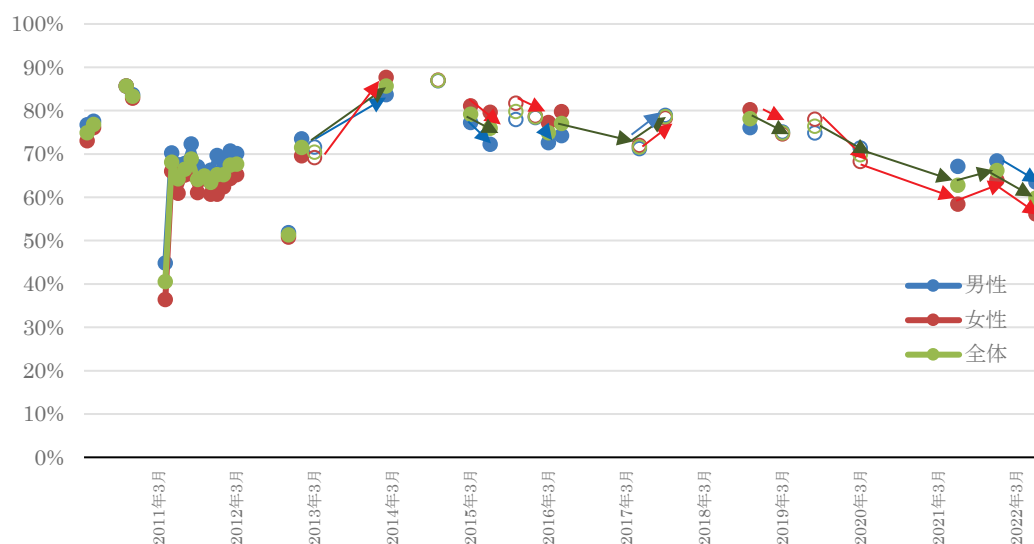
## (2)SDGs 以外の科学技術政策に関する意識

### ①科学技術に対する関心・科学者への信頼度

科学技術関心度(図表 14)、科学者の信頼度(図表 15)はともに低下傾向にある。



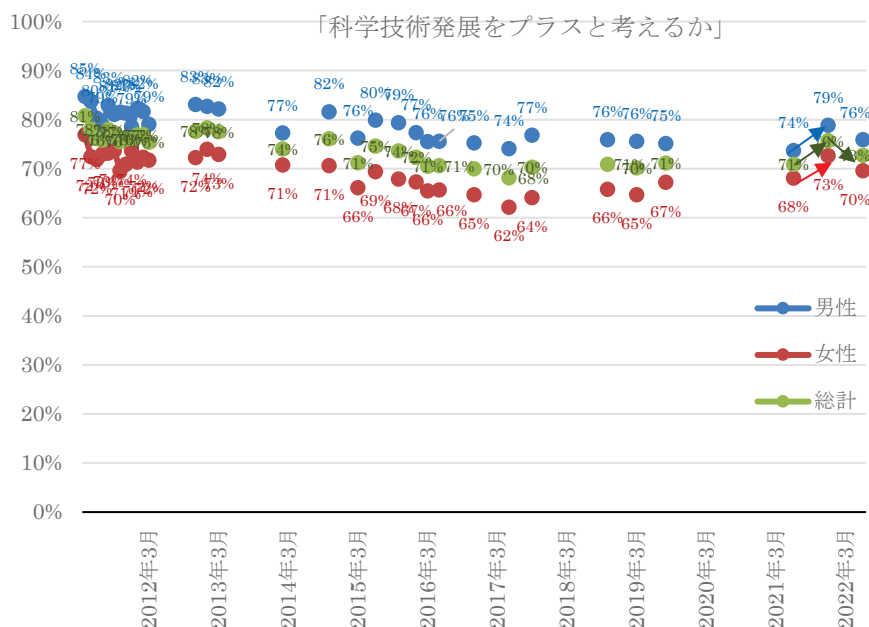
図表 14 科学技術関心度の性別変化(傾向の有無の判定はカイ二乗独立性検定による。有意性水準は 1%に設定。以下同じ)



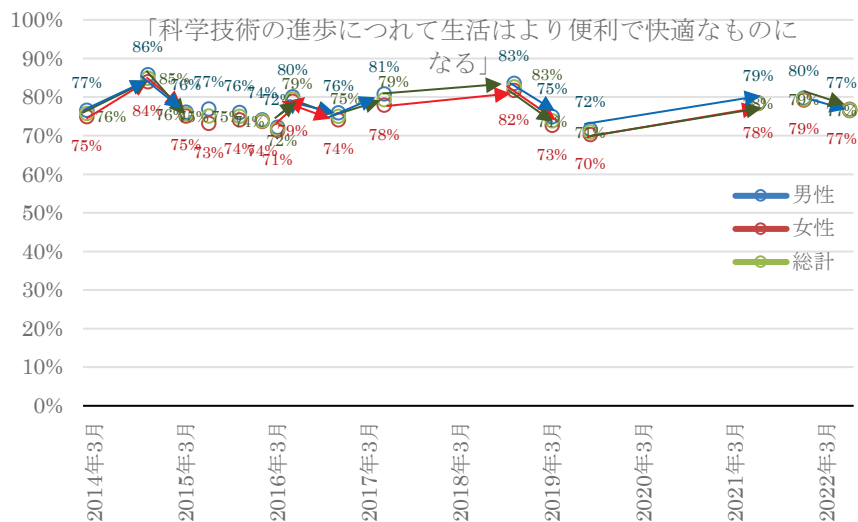
図表 15 科学者の信頼度の性別変化

## ②科学技術に対する評価

科学技術発展をプラスと回答した人の割合(図表 16)、「科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる」(図表 17)では総計の減少傾向が見られる。



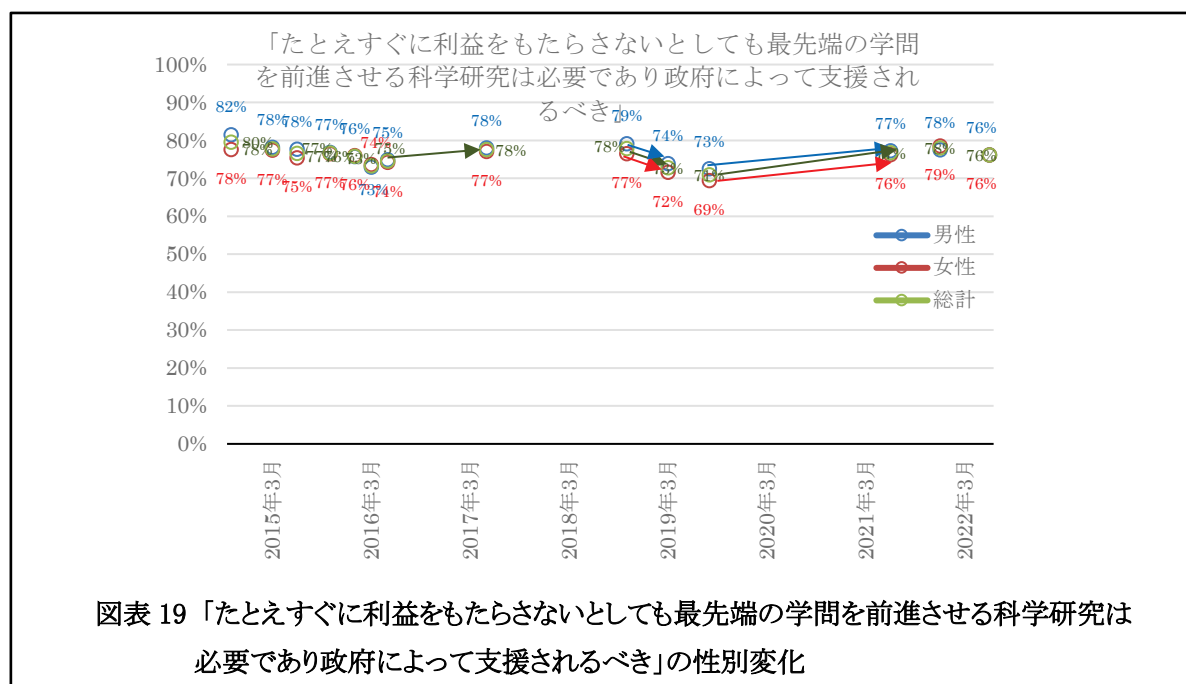
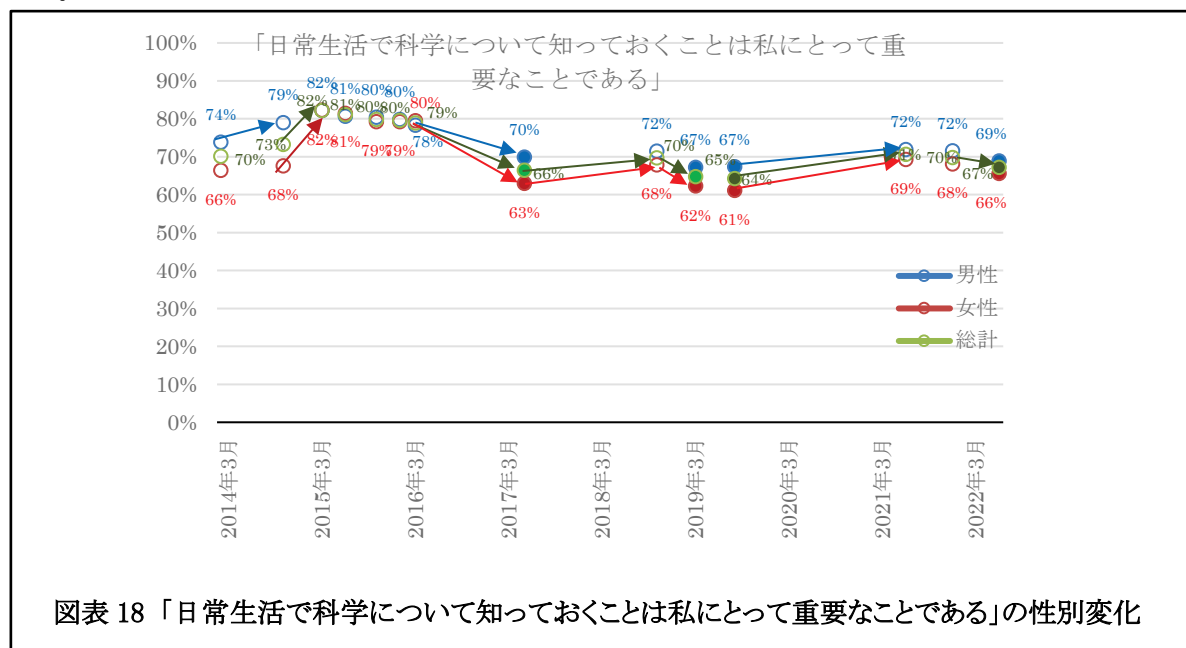
図表 16 科学技術発展をプラスと回答した人の割合の性別変化



図表 17 「科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる」の性別変化

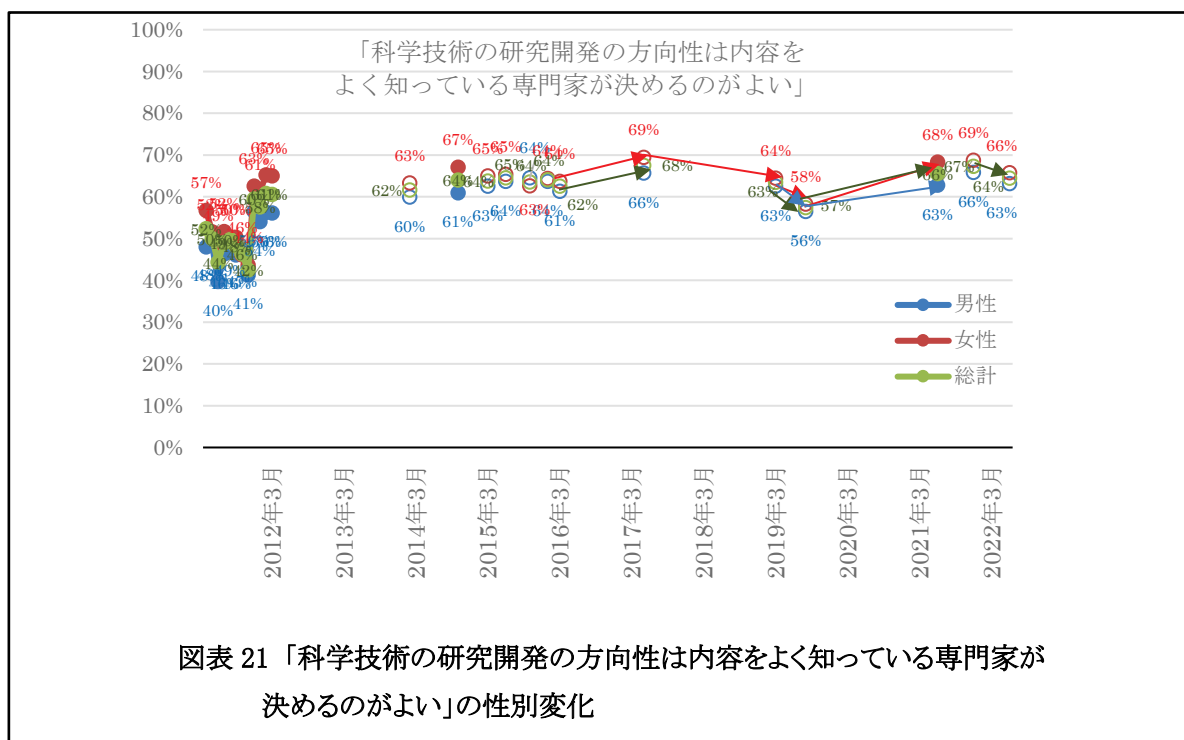
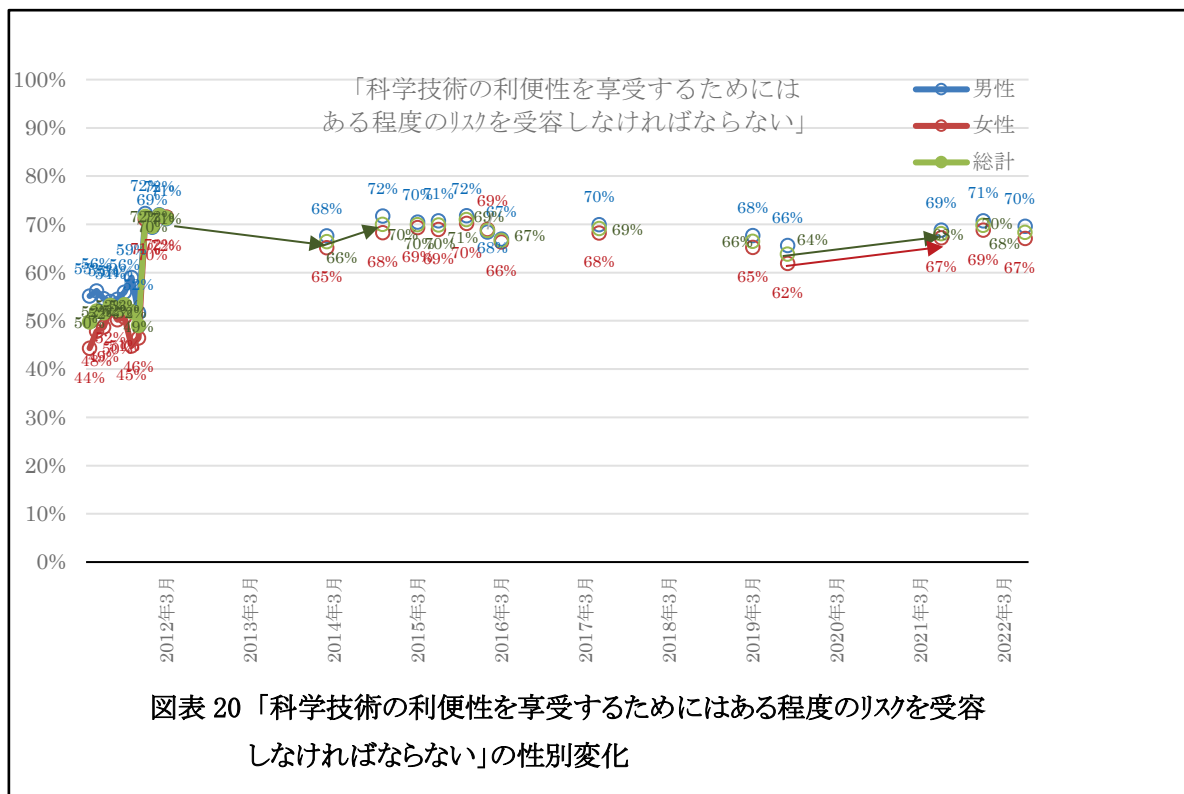
また、「日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである」(図表 18)では総計が減少しており、「たとえすぐに利益をもたらさなくても最先端の学問を前進させる科学研

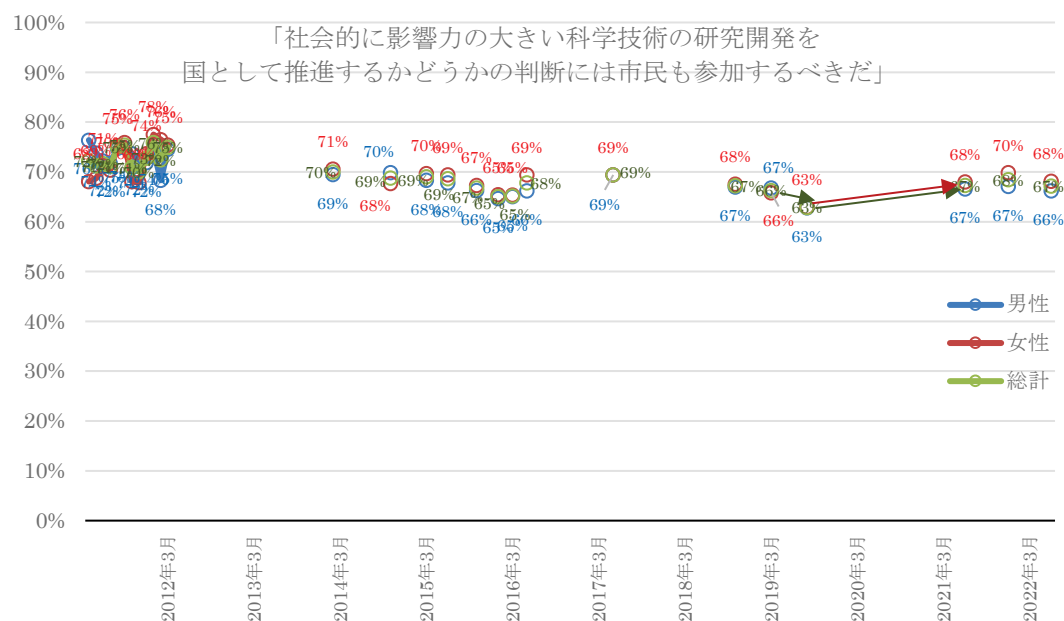
究は必要であり政府によって支援されるべき」(図表 19)では男女ともに変化は見られない傾向にある。



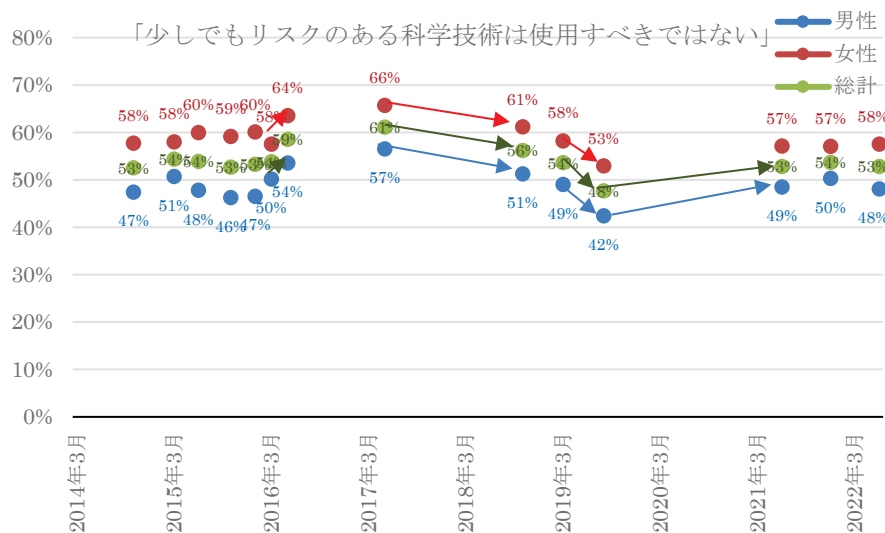
### ③ 科学技術に対する意見の変遷

さらに、科学技術に対する意見の変遷を見ると(図表 20 から図表 24 まで)、「科学技術の研究開発の方向性は内容をよく知っている専門家が決めるのがよい」で総計が減少している(図表 21)。



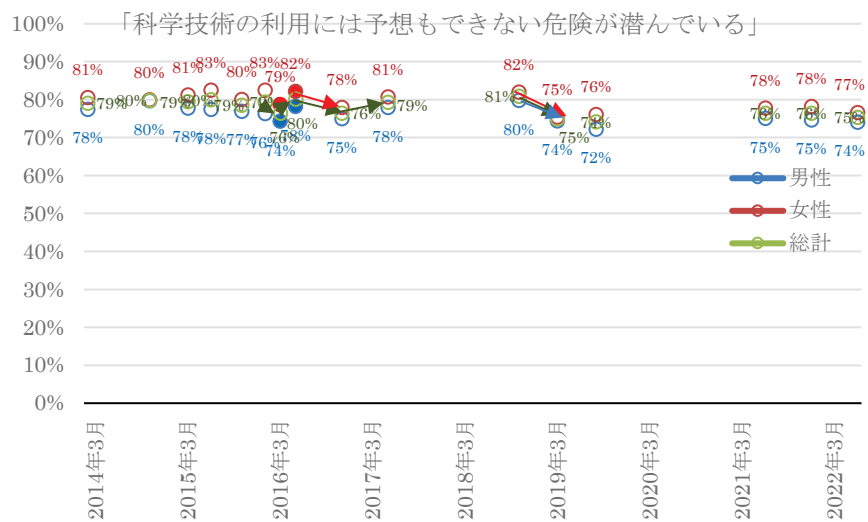


図表 22 「社会的に影響力の大きい科学技術の研究開発を国として推進するかどうかの判断には市民も参加するべきだ」の性別変化



図表 23 「少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない」の性別変化





図表 24 「科学技術の利用には予想もできない危険が潜んでいる」の性別変化

#### ④科学技術に対する関心の性別変化

科学技術に対する関心の性別の経年変化を見ると(図表 25 から図表 44 まで)、

男性:減少(「地球温暖化や気候変動対策に関心がある」(図表 26))

女性:統計的に有意な時間変化なし

全体:減少(「地球温暖化や気候変動対策に関心がある」(図表 26)、「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」(図表 34)、「自然環境の保全に関心がある」(図表 36)、「新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に関心がある」(図表 39))

などとなっており、全体的に減少傾向が見られた。

また、女性より男性の方の観測値が高いものは、

- ・「科学技術イノベーションによる経済、景気、国際競争力の向上に関心がある」(図表 25)、
- ・「資源・エネルギー問題対策に関心がある」(図表 27)、
- ・「新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)に関心がある」(図表 37)、
- ・「新しい科学的発見(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など)に関心がある」(図表 38)、
- ・「新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に関心がある」(図表 39)、
- ・「宇宙探査開発に関心がある」(図表 40)、
- ・「海洋探査開発に関心がある」(図表 41)、
- ・「原子力開発に関心がある」(図表 42)、
- ・「情報通信技術(インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータなどの技術)(図表 43)に関心がある」、
- ・「数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)に関心がある(図表 44)」

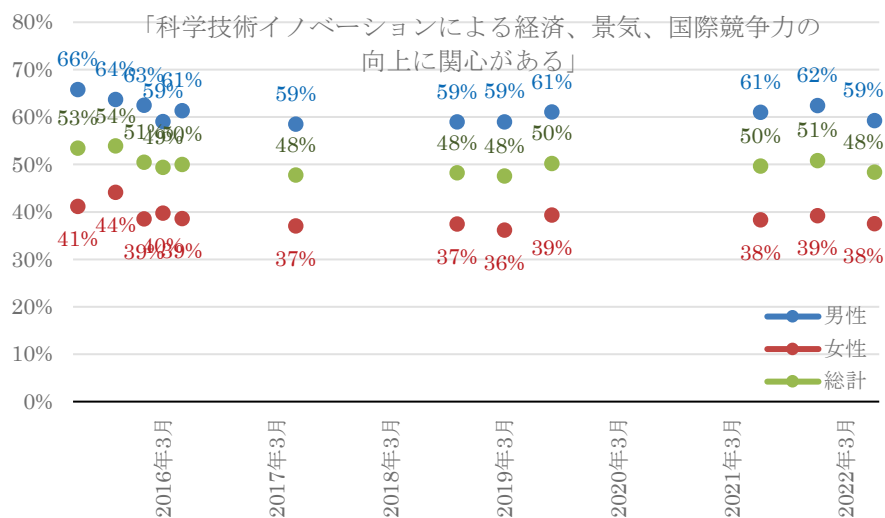
である。

一方、男性より女性の方の観測値が高いものは、

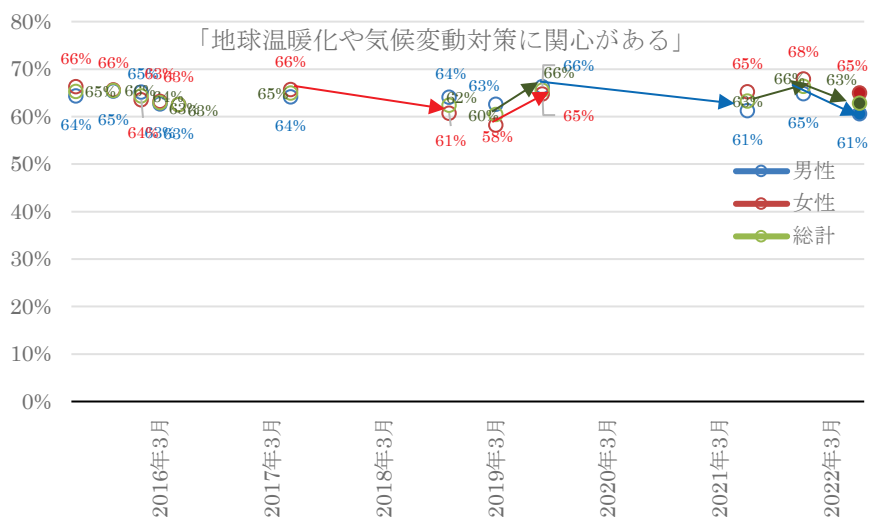
- ・「自然災害に対する防災・減災に関心がある」(図表 29)、
- ・「少子高齢化社会対策に関心がある」(図表 30)、
- ・「食の安全確保に関心がある」(図表 31)、
- ・「教育に関心がある」(図表 32)、
- ・「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」(図表 34)、
- ・「生活環境の保全に関心がある」(図表 35)、
- ・「自然環境の保全に関心がある」(図表 36)

である。

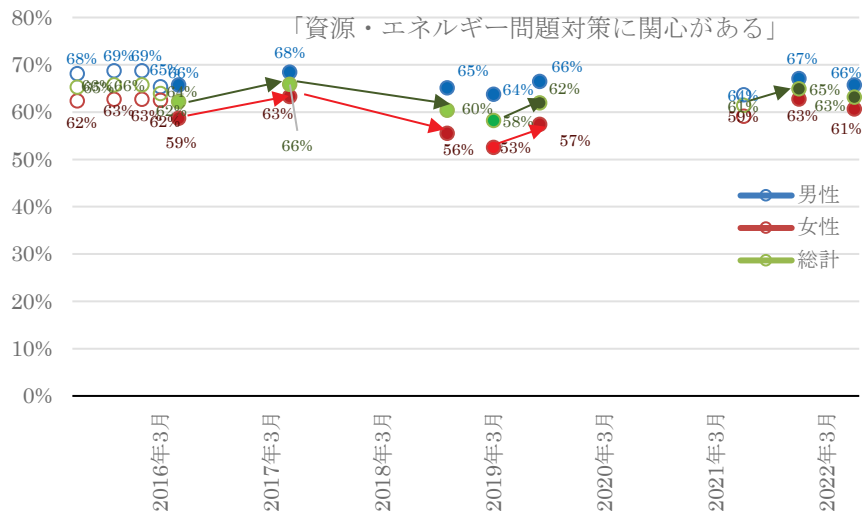
女性の方の観測値が高いものは、より社会的な課題が多く見られた。一方、男性の方の観測値が高いものは、より挑戦的でフロンティアな課題が多く見られた。



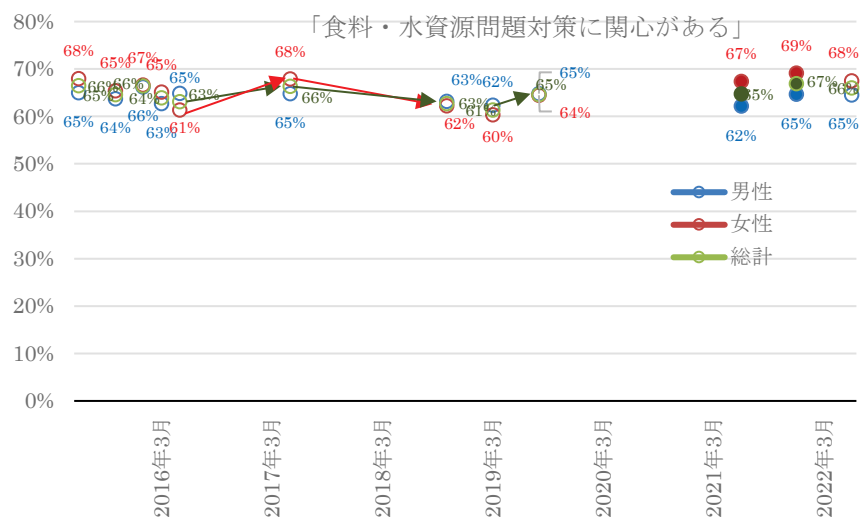
図表 25 「科学技術イノベーションによる経済、景気、国際競争力の向上に関心がある」の性別変化



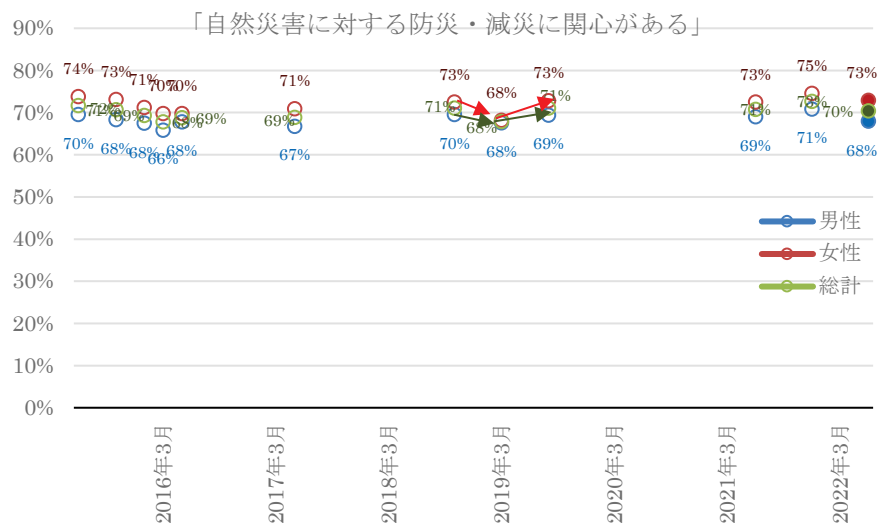
図表 26 「地球温暖化や気候変動対策に関心がある」の性別変化



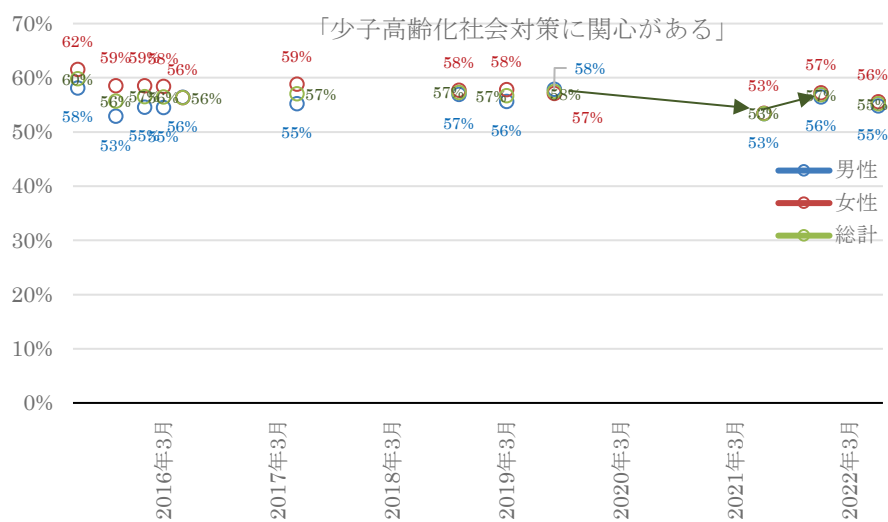
図表 27 「資源・エネルギー問題対策に関心がある」の性別変化



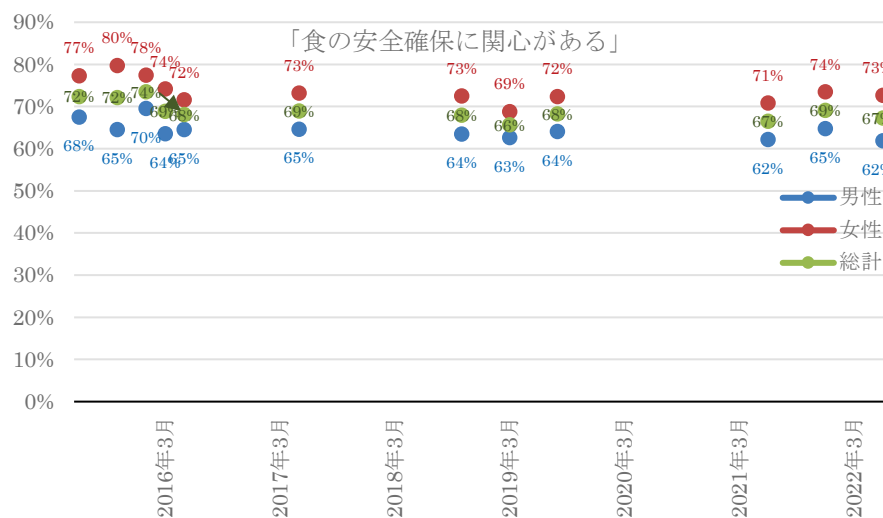
図表 28 「食料・水資源問題対策に関心がある」の性別変化



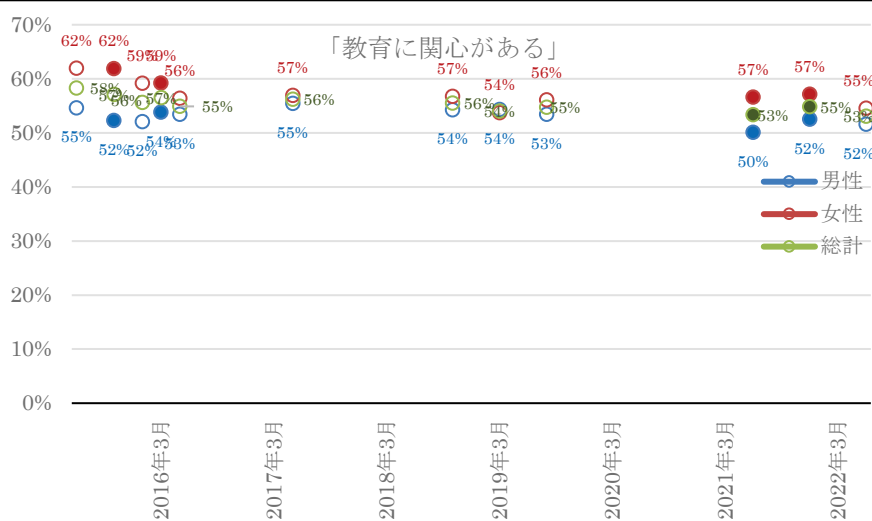
図表 29 「自然災害に対する防災・減災に関心がある」の性別変化



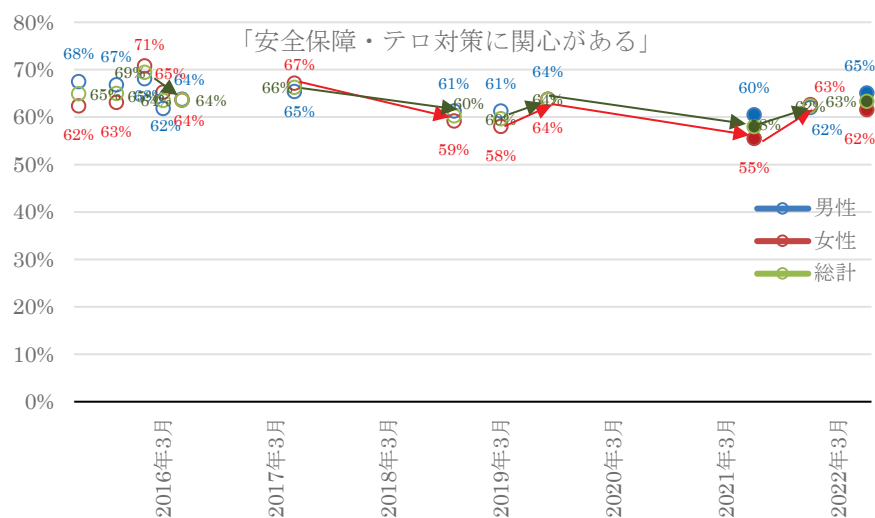
図表 30 「少子高齢化社会対策に関心がある」の性別変化



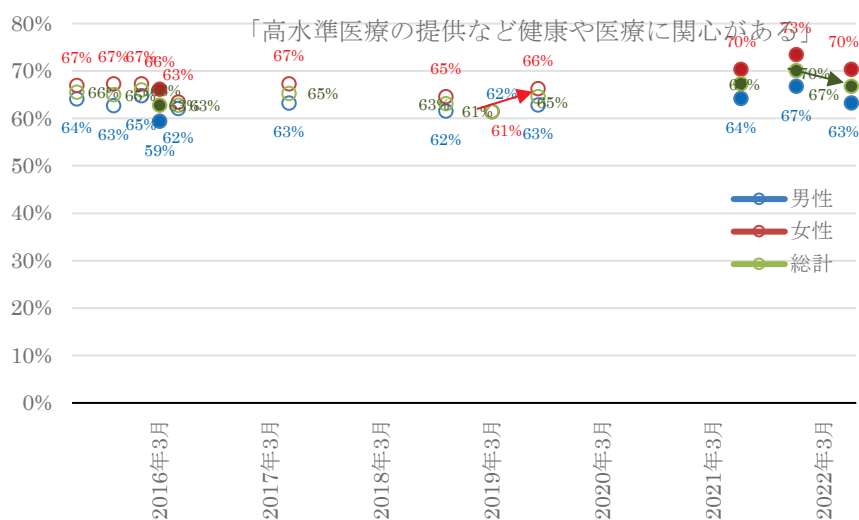
図表 31 「食の安全確保に関心がある」の性別変化



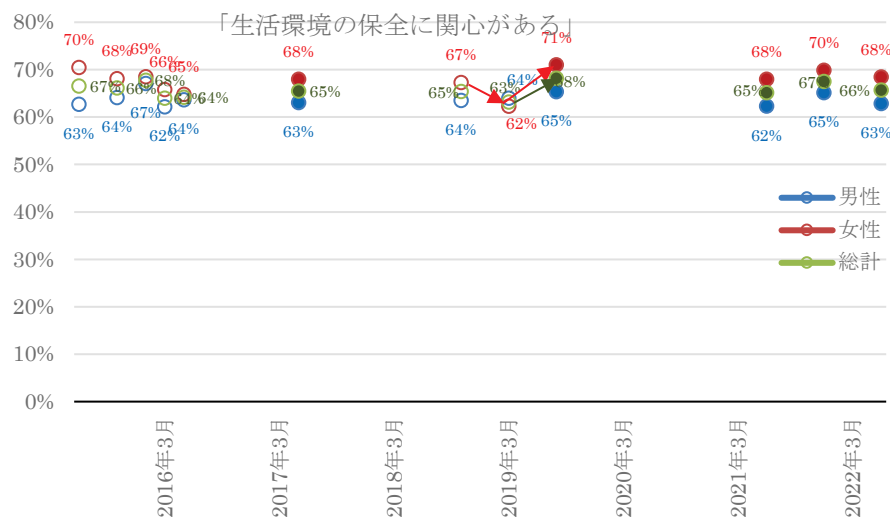
図表 32 「教育に関心がある」の性別変化



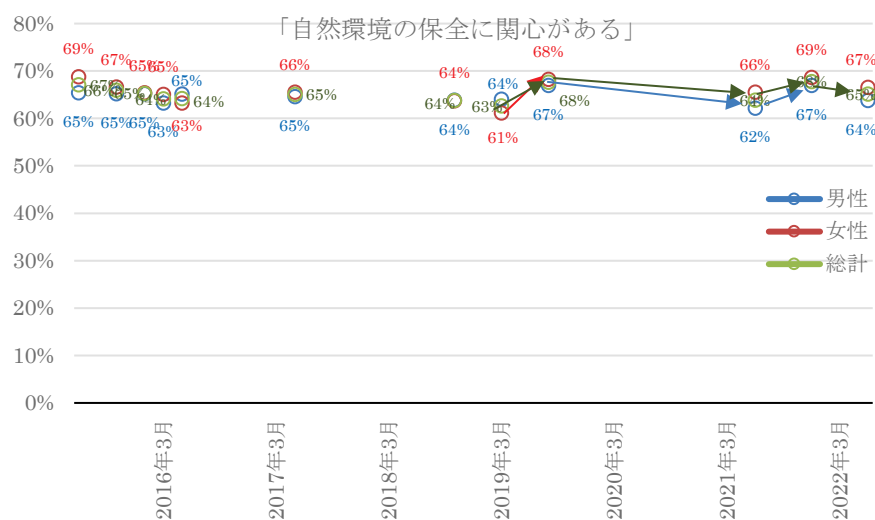
図表 33 「安全保障・テロ対策に関心がある」の性別変化



図表 34 「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」の性別変化

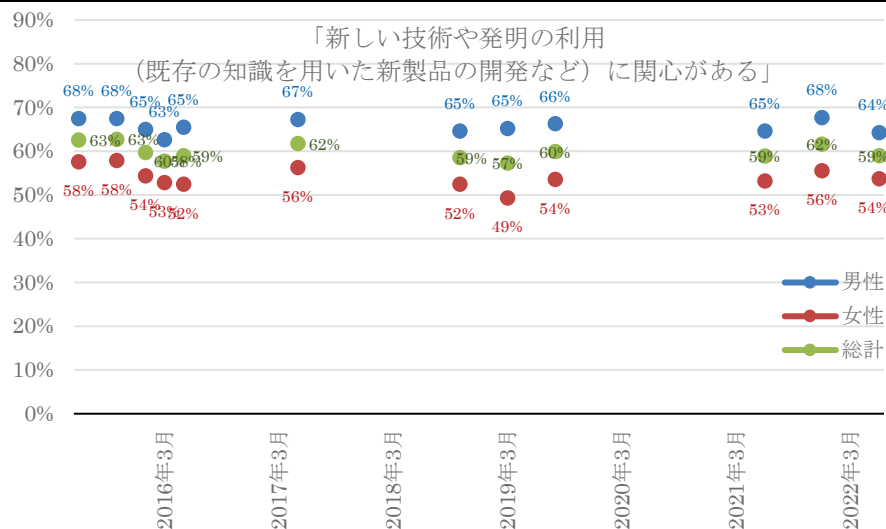


図表 35 「生活環境の保全に関心がある」の性別変化

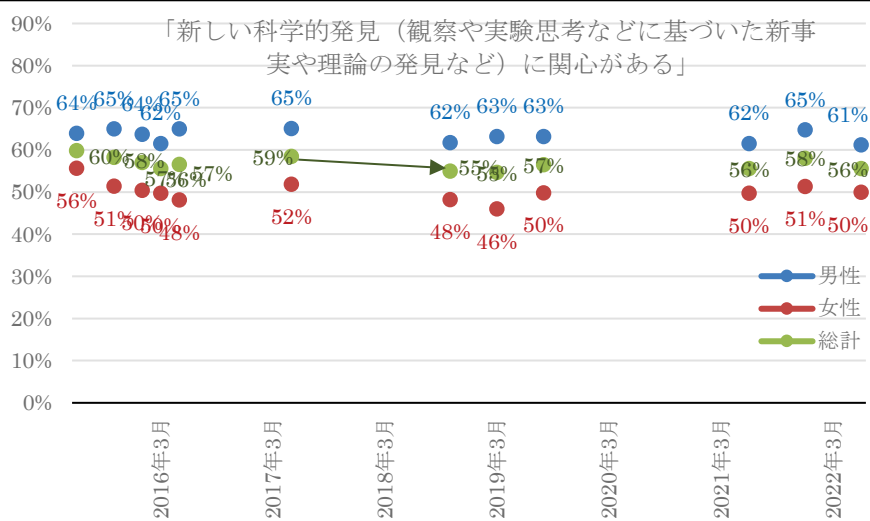


図表 36 「自然環境の保全に関心がある」の性別変化

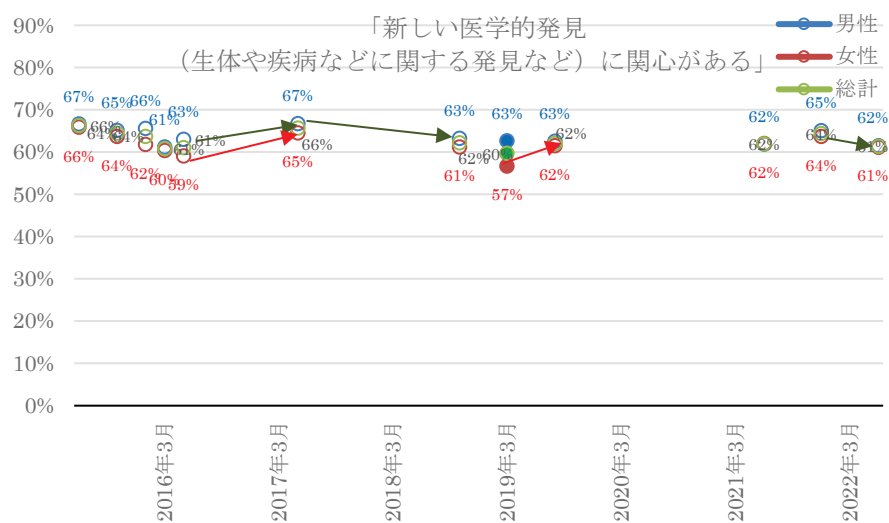




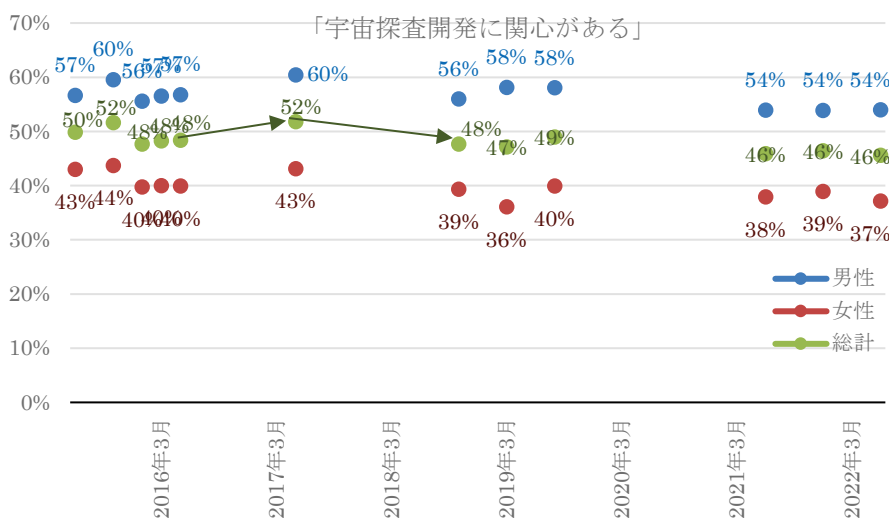
図表 37 「新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)に関心がある」の性別変化



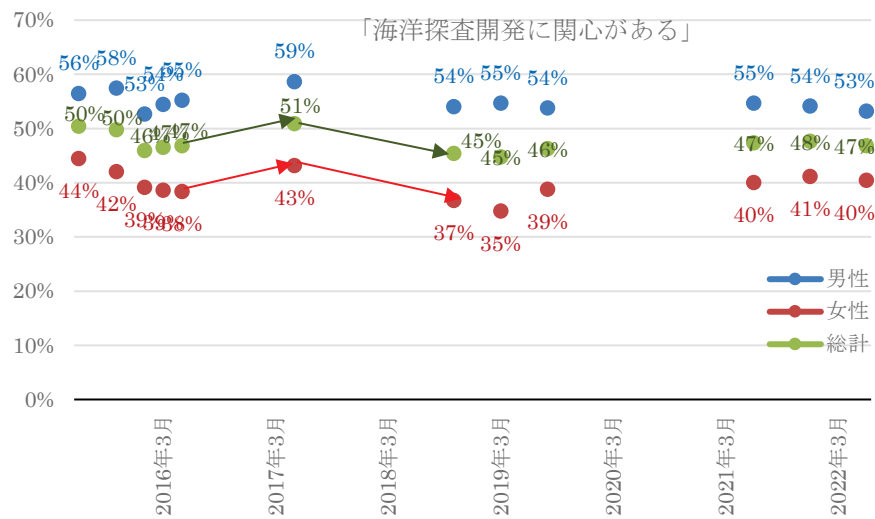
図表 38 「新しい科学的発見(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など)に関心がある」の性別変化



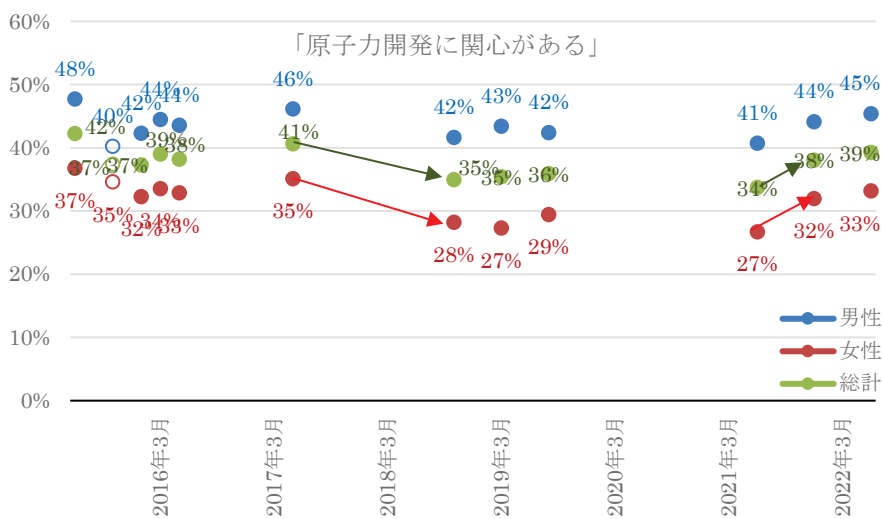
図表 39 「新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に関心がある」  
の性別変化



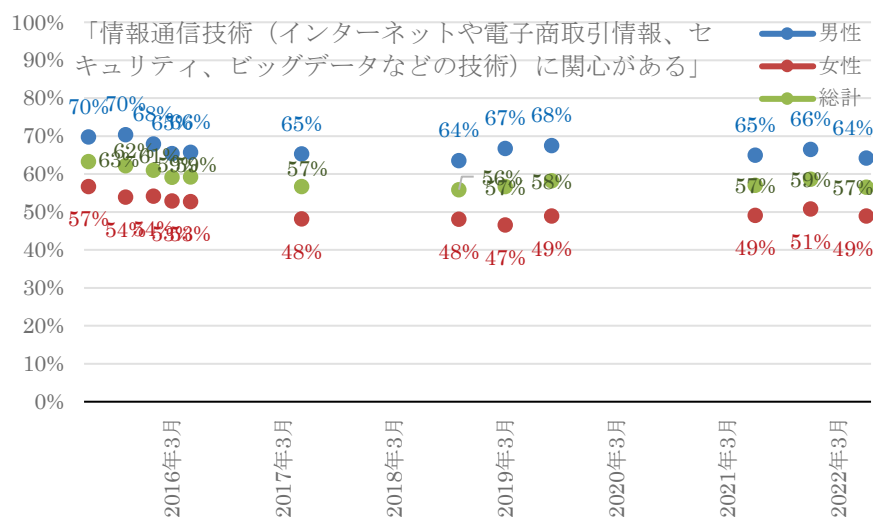
図表 40 「宇宙探査開発に関心がある」の性別変化



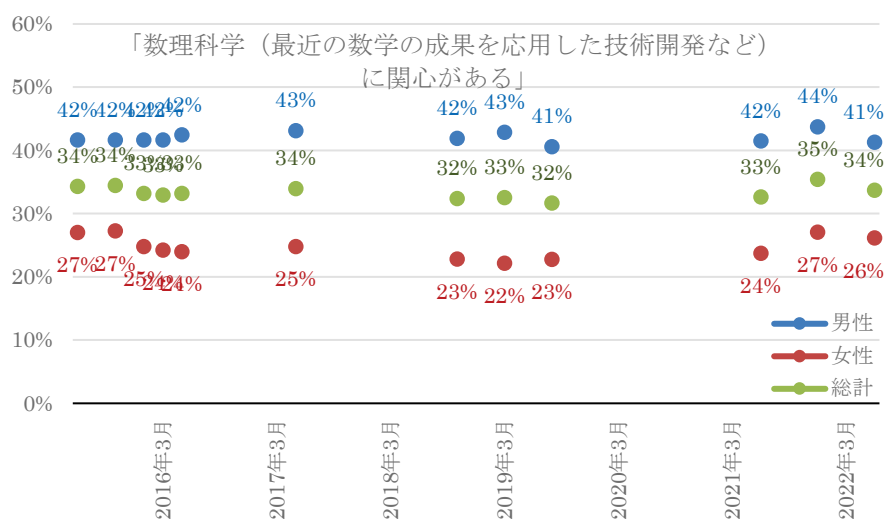
図表 41 「海洋探査開発に関心がある」の性別変化



図表 42 「原子力開発に関心がある」の性別変化



図表 43 「情報通信技術（インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータなどの技術）に関心がある」の性別変化



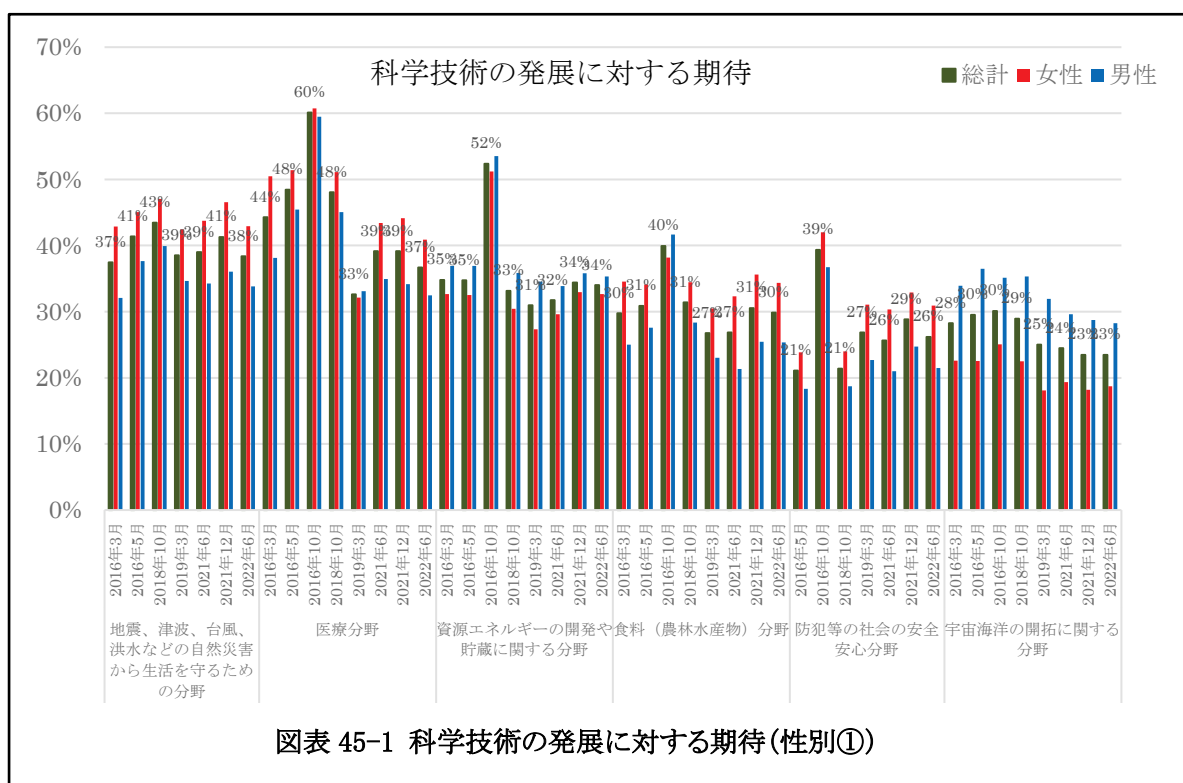
図表 44 「数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）に関心がある」の性別変化

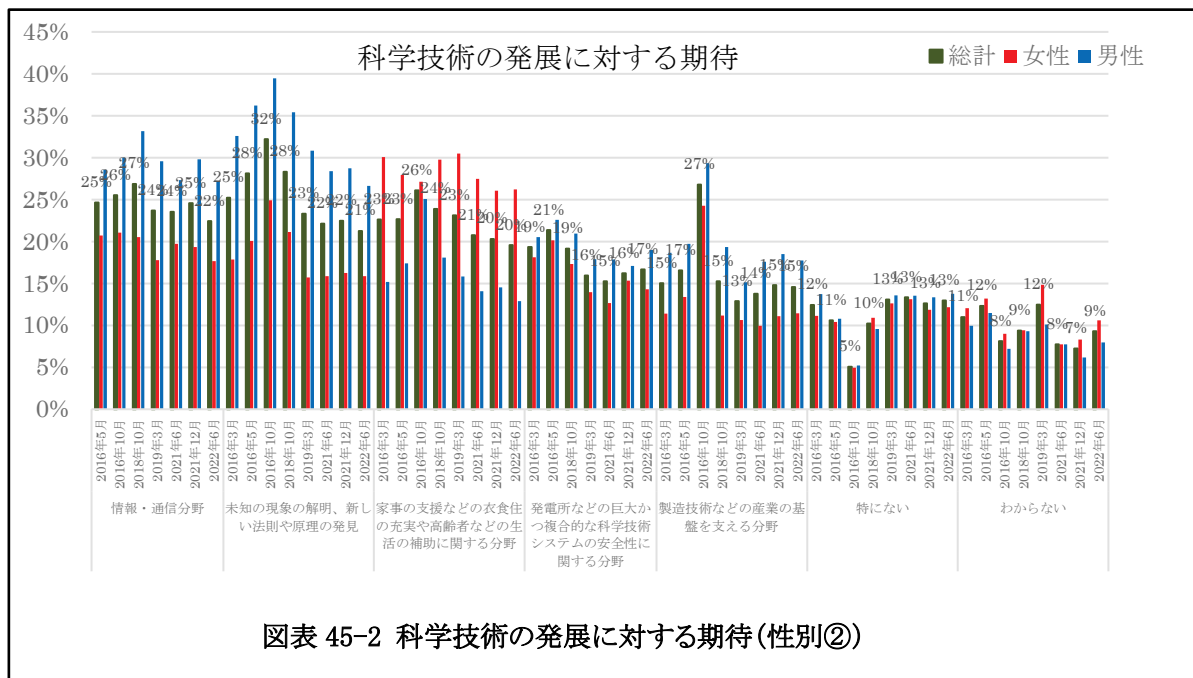
## ⑤ 科学技術の発展に対する期待と不安

次に、科学技術の発展に対する期待を調べる(図表 45-1、図表 45-2。ここでは、横軸の項目は、2022 年 6 月調査時点の観測値(回答で得られた値)が高い順に項目を並び替えている(以降同じ))。「地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野」への期待が最も高く、次いで「医療分野」などとなっている。

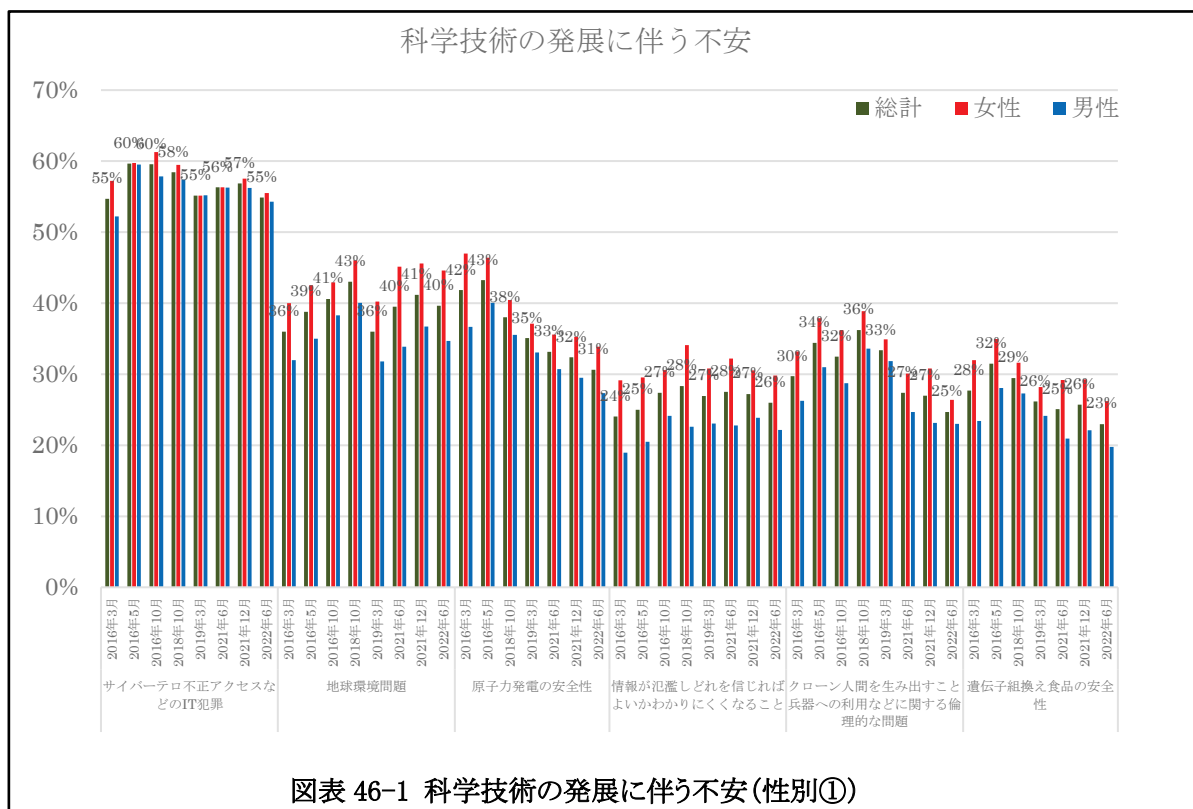
性別で見ると、「地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野」も「医療分野」、「食料(農林水産物)分野」、「防犯等の社会の安全安心分野」、「家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野」、「わからない」、も女性の期待が高いことが分かる。

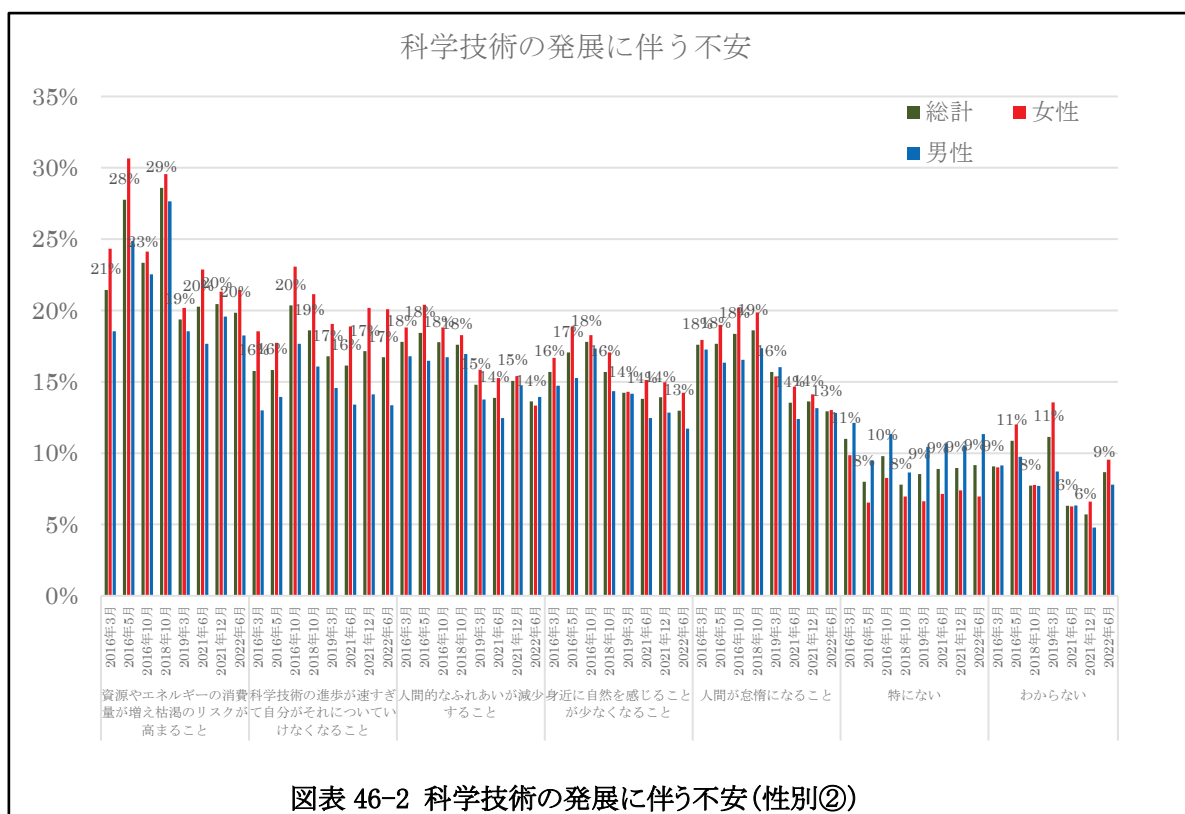
逆に男性の期待が高いのは、「資源エネルギーの開発や貯蔵に関する分野」、「宇宙海洋の開拓に関する分野」、「情報・通信分野」、「未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見」、「発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野」、「特にない」、となっている。





さらに、科学技術の発展に伴う不安を調べる(図表 46-1、図表 46-2)。「サイバーテロ不正アクセスなどの IT 犯罪」への不安が最も高く、次いで「地球環境問題」などとなっている。性別で見ると、いずれの場合も、女性の不安が高いことが分かる。逆に男性の不安が高いのは、「特にない」となっている。

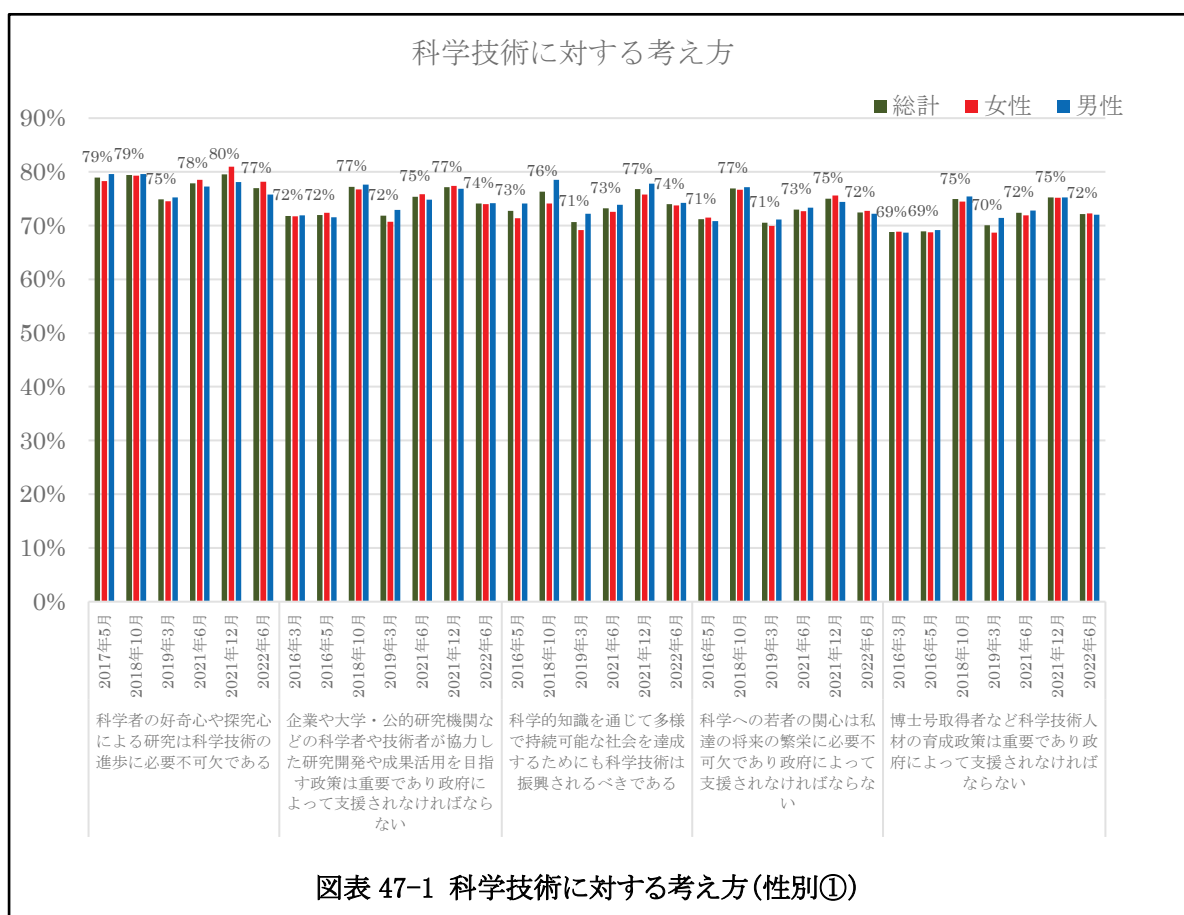




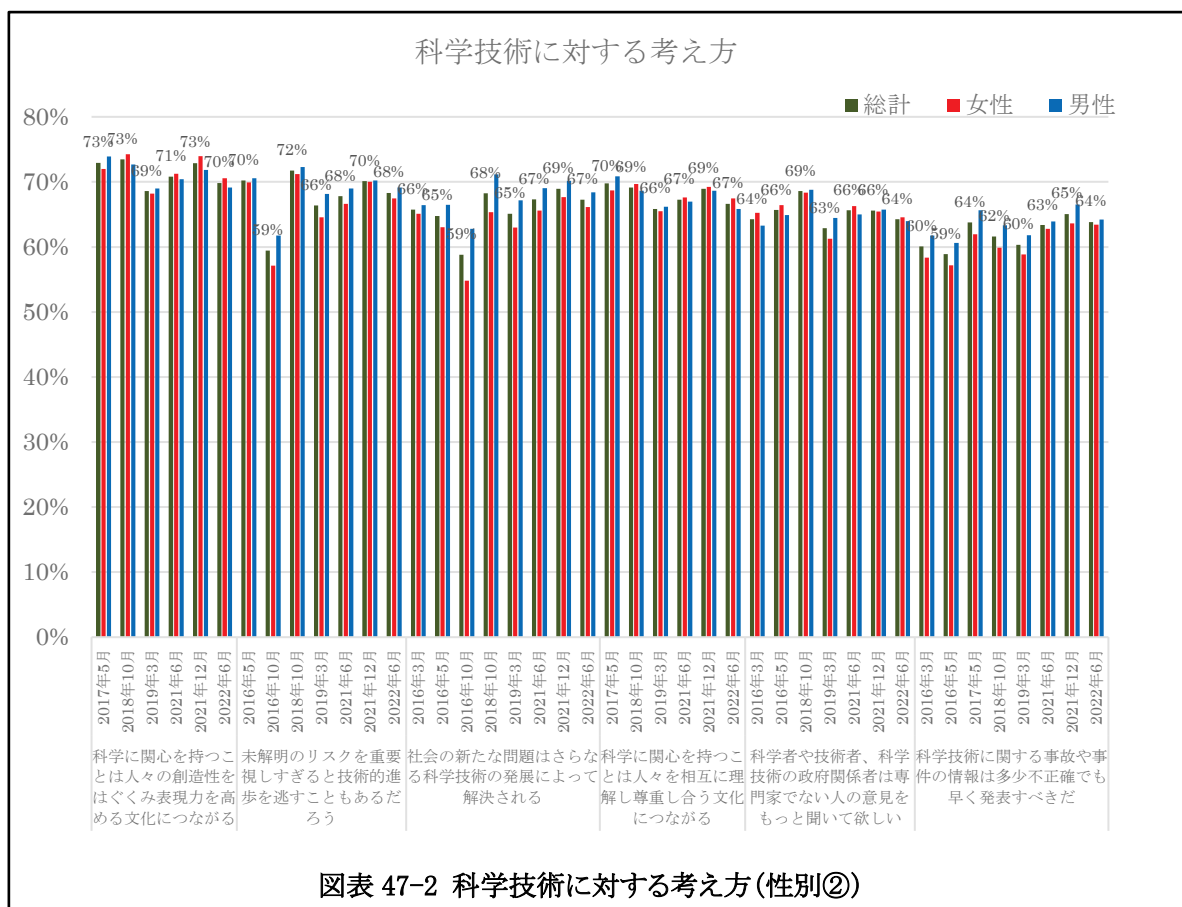
## ⑥ 科学技術に関する考え方

最後に、科学技術に対する考え方を調べる(図表 47-1、図表 47-2)。「科学者の好奇心や探求心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である」が最も高く、次いで「企業や大学・公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり政府によって支援されなければならない」などとなっている。

性別で見ると、女性が一貫して男性より高い数値はあまり見当たらないが、逆に男性が高いのは、「科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである」、「未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう」、「社会の新たな問題はさらなる科学技術の発展によって解決される」、「科学技術に関する事故や事件の情報は多少不正確でも早く発表すべきだ」、となっている。







#### 4. おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

#### 5. 参考文献

- [1] インテージリサーチ、「SDGs 認知率は8割、2年間で約3倍に」、2022年2月9日。
- [2] 損害保険ジャパン株式会社、「SDGs・社会課題に関する意識調査」、2021年8月2日、調査は2021年7月。
- [3] 株式会社電通、第5回「SDGsに関する生活者調査」、2022年4月7日。
- [4] 一般財団法人 経済広報センター、「SDGsに関する意識調査」結果報告、2019年3月。
- [5] 東京大学 TSCP 学生委員会、「東大生の SDGs 意識調査 2020」結果報告書、2021年2月。



# 質 問 票



(インターネット調査質問票その1)

F1

あなたの性別をお答えください。

- ☐ 男性
- ☐ 女性

F2

あなたのお年は満でいくつですか。

歳

F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

--- ▼

F4

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)は、次のどれに当てはまりますか。  
なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校、または専修学校高等課程
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 短期大学
- ☐ 専門学校、または専修学校専門課程
- ☐ 大学
- ☐ 専門職学位
- ☐ 大学院修士課程
- ☐ 大学院博士課程
- ☐ その他

F5

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。

なお、F4で「中学校」又は「高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「該当しない」をお選びください。

- ☐ 人文・社会科学系  
(政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など)
- ☐ 自然科学・工学系  
(数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など)
- ☐ スポーツ・文化芸術系(体育、音楽、美術、造形、デザインなど)
- ☐ その他
- ☐ 該当しない

#### 職種の分類

分類における注意事項又は具体的な職種の事例

(1) 農林漁業

農林漁業従事による収入を生計の主としている者

(2) 自営の商工サービス業

家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者

(3) 自由業

俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者

(4) 管理的職業

管理職の公務員(議会議員を含む)、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者

(5) 科学技術的職業

科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者

(6) その他専門的・技術的職業

保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者

(7) 事務的職業

総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者

(8) 労務的職業

生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者

(9) 販売的職業

百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者

(10) サービス的職業

家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者

(11) 保安的職業

自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者

(12) 家事

主婦、主として家事を務めている夫等

(13) 学生

学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)

(14) 無職

就職の希望を有している者

(15) 無職(退職等)

定年退職等により、就職の希望を有していない者

(16) その他

上記に該当しない者

F7

あなたの現在の職業(学生等を含む)は、次のどの分類に当てはまりますか。

- ☐ 農林漁業
- ☐ 自営の商工サービス業
- ☐ 自由業
- ☐ 管理的職業

- ☐ 科学技術的職業
- ☐ その他専門的・技術的職業
- ☐ 事務的職業
- ☐ 労務的職業
- ☐ 販売的職業
- ☐ サービス的職業
- ☐ 保安的職業
- ☐ 家事
- ☐ 学生
- ☐ 無職
- ☐ 無職(退職等)
- ☐ その他

F8

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。

次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- ☐ 同居している小学生未満の子どもがいる
- ☐ 同居している小学生の子どもがいる
- ☐ 同居している中学生の子どもがいる
- ☐ 同居している高校生(専修学校高等課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学生(高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学院生の子どもがいる
- ☐ 同居している社会人の子どもがいる
- ☐ 上記以外の同居している子どもがいる
- ☐ 同居している子どもはいない
- ☐ 子どもはいない



F9

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。  
この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。  
回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

郵便番号はこちら<<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>>から検索して入力してください。

-

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞  
きしたり、読んだり、利用したりしますか。  
それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		ほ ぼ 毎 日 の よ う に	週 に 3 〜 4 日 程 度	週 に 1 〜 2 日 程 度	月 に 1 〜 2 日 程 度	左 記 未 満	見 聞 き し な い / 読 ま な い / 利 用 し な い
1	新聞(印刷版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	新聞(電子版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	インターネット(新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	SNS(FacebookやTwitter、LINEなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	電子メール(ウェブメールを含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	一般向け書籍(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	週刊誌や情報誌など雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	専門書籍や論文雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。  
それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
1	科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	地球温暖化や気候変動対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	資源・エネルギー問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	食料・水資源問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自然災害に対する防災・減災	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	少子高齢化社会対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	食の安全確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	安全保障・テロ対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	予防措置や医療の提供など健康や医療	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

11	生活環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	自然環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	新しい医学的発見(新たな疾病や治療薬などに関する発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	宇宙探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	海洋探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	原子力開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。  
この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつかあげてください。(いくつでも)

- ☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見
- ☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野
- ☐ 地球環境の保全に関する分野
- ☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野
- ☐ 医療分野など生命に関する科学技術
- ☐ 食料(農林水産物)分野
- ☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野
- ☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野
- ☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野
- ☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野
- ☐ 情報・通信分野
- ☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野
- ☐ その他
- ☐ 特にない
- ☐ わからない

Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。  
ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- ☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪
- ☐ 遺伝子組換え食品の安全性
- ☐ 原子力発電の安全性
- ☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること
- ☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題
- ☐ 身近に自然を感じる事が少なくなる事
- ☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること
- ☐ 人間的なふれあいが減少すること
- ☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
- ☐ 人間が怠惰になること
- ☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなる事
- ☐ 人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること
- ☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部のしか恩恵を受けられないこと
- ☐ その他
- ☐ 特に不安を感じない
- ☐ わからない

Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ 関心がない
- ☐ どちらかというと関心がない
- ☐ どちらかというと関心がある
- ☐ 関心がある

Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ わからない
- ☐ 信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できる
- ☐ 信頼できる

Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。  
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ マイナス面が多い
- ☐ どちらかというマイナス面が多い
- ☐ 両方同じくらいである
- ☐ どちらかというプラス面が多い
- ☐ プラス面が多い

Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。  
あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1	科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

13	資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

この質問票における持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

「科学技術・イノベーション」の定義は、「科学、技術及びイノベーションのこと」であり、特に「イノベーション」について、科学技術・イノベーション基本法では『イノベーションの創出』を『科学的な発見又は発明、新商品又は新役務の開発その他の創造的活動を通じて新たな価値を生み出し、これを普及することにより、経済社会の大きな変化を創出することをいう』と定義しています。

Q9

SDGsに関して、あなたは御存知ですか。  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 内容を知っている
- ☐ 内容をある程度知っている
- ☐ 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
- ☐ 全く知らない

Q10

SDGsをどんな場面で聞いたことがありましたか。  
当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- ☐ 新聞(電子版を含む)
- ☐ テレビ
- ☐ ラジオ
- ☐ 一般向け書籍(電子版を含む)
- ☐ 週刊誌や情報誌など雑誌(電子版含む)
- ☐ 専門書籍や論文雑誌(電子版含む)
- ☐ インターネット(電子掲示板やSNSを除く)
- ☐ 電子掲示板やSNS(Facebook、Twitter、LINEなど)
- ☐ 政治家(国会議員や地方議会議員など)や国会などの立法機関
- ☐ 弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関
- ☐ 国や地方の行政機関
- ☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関
- ☐ 企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)
- ☐ 科学館や博物館など科学技術関連施設
- ☐ 大学
- ☐ 学会
- ☐ 科学者
- ☐ 技術者
- ☐ 家族や友人、知人、職場の人
- ☐ 一般の個人
- ☐ 聞いたことがない



Q11

新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式によって、SDGsの達成にどのような影響を与えていると思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 前進させる
- ☐ どちらかといえば前進させる
- ☐ どちらかといえば後退させる
- ☐ 後退させる
- ☐ わからない

Q12

「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、科学技術・イノベーションの貢献が重要であると思うSDGsの課題はどれですか？

当てはまるものを全てお選びください。(それぞれいくつでも)

 回答方向		1	2	3
		世界全体	日本国内	身近な生活
	1 NO POVERTY  貧困	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 ZERO HUNGER  食糧問題 飢餓・食料の安定確保など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING  健康・介護福祉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 QUALITY EDUCATION  教育問題 教育格差など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 GENDER EQUALITY ジェンダー平等 女性の社会進出など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

				
<b>6</b> CLEAN WATER AND SANITATION 	安全な水と衛生の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>7</b> AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 	エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>8</b> DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 	持続可能な労働、雇用と経済成長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>9</b> INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 	持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>10</b> REDUCED INEQUALITIES 	不平等や差別	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>11</b> SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 	持続可能な都市・まちづくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>12</b> RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 	環境に配慮した消費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

				
<b>13</b> CLIMATE ACTION 	気候変動・地球温暖化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>14</b> LIFE BELOW WATER 	海洋とその生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>15</b> LIFE ON LAND 	森林と陸上生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>16</b> PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS 	平和 戦争・紛争・テロ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>17</b> PARTNERSHIPS FOR THE GOALS 	パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	どの課題も重要であると思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q13

「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、科学技術・イノベーションの貢献が低いと思うSDGsの課題はどれですか？

当てはまるものを全てお選びください。(それぞれいくつでも)

 回答方向		1	2	3
		世界全体	日本国内	身近な生活
	1 NO POVERTY  貧困	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 ZERO HUNGER  食糧問題 飢餓・食料の安定確保など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING  健康・介護福祉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 QUALITY EDUCATION  教育問題 教育格差など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 GENDER EQUALITY ジェンダー平等 女性の社会進出など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

				
<b>6</b> CLEAN WATER AND SANITATION 	安全な水と衛生の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>7</b> AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 	エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>8</b> DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 	持続可能な労働、雇用と経済成長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>9</b> INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 	持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>10</b> REDUCED INEQUALITIES 	不平等や差別	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>11</b> SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 	持続可能な都市・まちづくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>12</b> RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 	環境に配慮した消費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	気候変動・地球温暖化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	海洋とその生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	森林と陸上生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	平和 戦争・紛争・テロ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	どの課題も達成度が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q14

SDGsのために科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと思いますか？  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ そう思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらでもない
- ☐ やや思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない

Q15

SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思いますか？  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ そう思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらでもない
- ☐ やや思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない

Q16

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成に取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか？  
当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ そう思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらでもない
- ☐ やや思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない



Q17

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、以下の主体はすでに積極的に取り組んでいるかと思いますか？

当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- ☐ 政治家(国会議員や地方議会議員など)や国会などの立法機関
- ☐ 弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関
- ☐ 国や地方の行政機関
- ☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関
- ☐ 企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)
- ☐ 科学館や博物館など科学技術関連施設
- ☐ 大学
- ☐ 学会
- ☐ 科学者
- ☐ 技術者
- ☐ 一般の個人
- ☐ わからない
- ☐ その他

Q18

SDGsに取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか？

当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ そう思う
- ☐ やや思う
- ☐ どちらでもない
- ☐ やや思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない

Q19

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、誰が積極的に取り組むべきだと思いますか？

当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- ☐ 政治家(国会議員や地方議会議員など)や国会などの立法機関
- ☐ 弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関
- ☐ 国や地方の行政機関
- ☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関
- ☐ 企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)
- ☐ 科学館や博物館など科学技術関連施設
- ☐ 大学
- ☐ 学会
- ☐ 科学者
- ☐ 技術者
- ☐ 一般の個人
- ☐ わからない
- ☐ その他

Q20

「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)」の4つの主体で考えたときに、達成に特に貢献してほしいSDGsの目標は何ですか?当てはまるものを全てお選びください。*(それぞれいくつでも)*

		1	2	3	4
		国や地方の行政機関	大学	公的研究機関	企業や民間団体 (公益法人、NPO、NGOなど)
 回答方向					
 1 NO POVERTY	貧困	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 2 ZERO HUNGER	食糧問題 飢餓・食料の安定確保など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING	健康・介護福祉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 4 QUALITY EDUCATION	教育問題 教育格差など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

					
<b>5</b> GENDER EQUALITY 	ジェンダー平等 女性の社会進出など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>6</b> CLEAN WATER AND SANITATION 	安全な水と衛生の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>7</b> AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 	エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>8</b> DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 	持続可能な労働、雇用と経済成長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>9</b> INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 	持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>10</b> REDUCED INEQUALITIES 	不平等や差別	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>11</b> SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 	持続可能な都市・まちづくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

					
<div>12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION</div> <div></div>	環境に配慮した消費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div>13 CLIMATE ACTION</div> <div></div>	気候変動・地球温暖化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div>14 LIFE BELOW WATER</div> <div></div>	海洋とその生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div>15 LIFE ON LAND</div> <div></div>	森林と陸上生態系の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div>16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS</div> <div></div>	平和 戦争・紛争・テロ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<div>17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS</div> <div></div>	パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	どの課題も該当しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q21

「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)」の4つの主体で考えたときに、それらによるSDGs達成に向けた取り組みについてどのようにして知りましたか?

当てはまるものを全てお選びください。(それぞれいくつでも)

	1	2	3	4
	国 や 地 方 の 行 政 機 関	大 学	公 的 研 究 機 関	企 業 や 民 間 団 体 ( 公 益 法 人 、 N P O 、 N G O な ど )
新聞(電子版を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ラジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般向け書籍(電子版を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
週刊誌や情報誌など雑誌(電子版含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門書籍や論文雑誌(電子版含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット(電子掲示板やSNSを除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電子掲示板やSNS(Facebook、Twitter、LINEなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治家(国会議員や地方議会議員など)や国会などの立法機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方の行政機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
企業や民間団体(公益法人、NPO、NGOなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
技術者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族や友人、知人、職場の人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般の個人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
どの手段も該当しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

#### Q22

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について御意見がございましたら、御自由に記入してください。





(インターネット調査質問票その2)

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きしたり、読んだり、利用したりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		ほぼ毎日 のように	週に3～4 日程度	週に1～2 日程度	月に1～2 日程度	左記未 満	見聞きしない／ 読まない／ 利用しない
新聞（印刷版）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新聞（電子版）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ラジオ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネット（新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SNS（FacebookやTwitter、LINEなど）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電子メール（ウェブメールを含む）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
一般向け書籍（電子版を含む）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版を含む）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門書籍や論文雑誌（電子版を含む）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない
科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地球温暖化や気候変動対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源・エネルギー問題対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
食料・水資源問題対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然災害に対する防災・減災	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少子高齢化社会対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食の安全確保	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全保障・テロ対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
予防措置や医療の提供など健康や医療	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

生活環境の保全	→	○	○	○	○
自然環境の保全	→	○	○	○	○
新しい技術や発明の利用（既存の知識を用いた新製品の開発など）	→	○	○	○	○
新しい科学的発見（観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など）	→	○	○	○	○
新しい医学的発見（新たな疾病や治療薬などに関する発見など）	→	○	○	○	○
宇宙探査・開発	→	○	○	○	○
海洋探査・開発	→	○	○	○	○
原子力開発	→	○	○	○	○
情報通信技術（インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術）	→	○	○	○	○
数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）	→	○	○	○	○

### Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつでもあげてください。

いくつでも

必須

☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見

☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野

☐ 地球環境の保全に関する分野

☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野

☐ 医療分野など生命に関する科学技術

☐ 食料（農林水産物）分野

☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野

☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野

☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野

☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野

☐ 情報・通信分野

☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野

☐ その他

ハジメテノコト

☐ 特にない

☐ わからない

#### Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。

いくつでも

必須

☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪

☐ 遺伝子組換え食品の安全性

☐ 原子力発電の安全性

☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること

☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題

☐ 身近に自然を感じる事が少なくなること

☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわからにくくなること

☐ 人間的なふれあいが減少すること

☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題



☐ 人間が怠惰になること

☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること

☐ 人工知能（AI）などの発達により、人間の仕事が奪われること

☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部の人しか恩恵を受けられないこと

☐ その他

入力してください

☐ 特に不安を感じない

☐ わからない

## Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 関心がある

☐ どちらかというに関心がある

☐ どちらかというに関心がない

☐ 関心がない



### Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 信頼できる

☐ どちらかという信頼できる

☐ どちらかという信頼できない

☐ 信頼できない

☐ わからない

### Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須



☐ プラス面が多い

☐ どちらかというとプラス面が多い

☐ 両方同じくらいである

☐ どちらかというとマイナス面が多い

☐ マイナス面が多い

## Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	→	○	○	○	○	○
博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	○	○	○	○	○
企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	○	○	○	○	○
少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	→	○	○	○	○	○
科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	→	○	○	○	○	○
科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	→	○	○	○	○	○
科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	→	○	○	○	○	○
社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	→	○	○	○	○	○
科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	→	○	○	○	○	○
資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	→	○	○	○	○	○
科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	→	○	○	○	○	○
未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	→	○	○	○	○	○
科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	→	○	○	○	○	○
科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	→	○	○	○	○	○
科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	→	○	○	○	○	○
科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	→	○	○	○	○	○
現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	○	○	○	○	○
10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	○	○	○	○	○
学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	→	○	○	○	○	○
科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	→	○	○	○	○	人
人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	→	○	○	○	○	○

この質問票における持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

「科学技術・イノベーション」の定義は、「科学、技術及びイノベーションのこと」であり、特に「イノベーション」について、科学技術・イノベーション基本法では『イノベーションの創出』を『科学的な発見又は発明、新商品又は新役務の開発その他の創造的活動を通じて新たな価値を生み出し、これを普及することにより、経済社会の大きな変化を創出することをいう』と定義しています。

#### Q9

SDGsに関して、あなたは御存知ですか。当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 内容を知っている

☐ 内容をある程度知っている

☐ 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない

☐ 全く知らない

#### Q10

SDGsをどんな場面で聞いたことがありましたか。当てはまるもの全てに印を付けて下さい。

いくつでも

必須



<input type="checkbox"/>	新聞（電子版を含む）
<input type="checkbox"/>	テレビ
<input type="checkbox"/>	ラジオ
<input type="checkbox"/>	一般向け書籍（電子版を含む）
<input type="checkbox"/>	週刊誌や情報誌など雑誌（電子版含む）
<input type="checkbox"/>	専門書籍や論文雑誌（電子版含む）
<input type="checkbox"/>	インターネット（電子掲示板やSNSを除く）
<input type="checkbox"/>	電子掲示板やSNS（Facebook、Twitter、LINEなど）
<input type="checkbox"/>	政治家（国会議員や地方議会議員など）や国会などの立法機関
<input type="checkbox"/>	弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関
<input type="checkbox"/>	国や地方の行政機関
<input type="checkbox"/>	国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関
<input type="checkbox"/>	企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）
<input type="checkbox"/>	科学館や博物館など科学技術関連施設
<input type="checkbox"/>	大学
<input type="checkbox"/>	学会
<input type="checkbox"/>	科学者

<input type="checkbox"/>	技術者
<input type="checkbox"/>	家族や友人、知人、職場の人
<input type="checkbox"/>	一般の個人
<input type="checkbox"/>	聞いたことがない

### Q11

新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式によって、SDGsの達成にどのような影響を与えていると思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

<input type="radio"/>	前進させる
<input type="radio"/>	どちらかといえば前進させる
<input type="radio"/>	どちらかといえば後退させる
<input type="radio"/>	後退させる
<input type="radio"/>	わからない

## Q12

「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、科学技術・イノベーションの貢献が重要であると思うSDGsの課題はどれですか？当てはまるもの全てに印を付けて下さい。

それぞれいくつでも

必須

	「世界全体」	「日本国内」	「身近な生活」
	↓	↓	↓
 <p>1) 貧困</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>2) 食糧問題 飢餓・食料の安定確保など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>3) 健康・介護福祉</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>4) 教育問題 教育格差など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>5) ジェンダー平等 女性の社会進出など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

			
6) 安全な水と衛生の確保			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 持続可能な労働、雇用と経済成長			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) 持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10) 不平等や差別			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11) 持続可能な都市・まちづくり			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12) 環境に配慮した消費			

			
13) 気候変動・地球温暖化			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14) 海洋とその生態系の保護			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15) 森林と陸上生態系の保護			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16) 平和 戦争・紛争・テロ			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17) パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易			
どの課題も重要であると思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### Q13

「世界全体」、「日本国内」、「身近な生活」の3つのスケールで考えたときに、科学技術・イノベーションの貢献が低いと思うSDGsの課題はどれですか？当てはまるものの全てに印を付けて下さい。



それぞれいくつでも

必須

	「世界全体」	「日本国内」	「身近な生活」
	↓	↓	↓
 <p>1) 貧困</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>2) 食糧問題 飢餓・食料の安定確保など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>3) 健康・介護福祉</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>4) 教育問題 教育格差など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>5) ジェンダー平等 女性の社会進出など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>6) 安全な水と衛生の確保</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



			
7) エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 持続可能な労働、雇用と経済成長			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) 持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10) 不平等や差別			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11) 持続可能な都市・まちづくり			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12) 環境に配慮した消費			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13) 気候変動・地球温暖化			

			
14) 海洋とその生態系の保護			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15) 森林と陸上生態系の保護			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16) 平和 戦争・紛争・テロ			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17) パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易			
どの課題も達成度が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## Q14

SDGsのために科学技術・イノベーションは全体として重要な役割を果たすと思いますか？当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須



☐ そう思う

☐ やや思う

☐ どちらでもない

☐ やや思わない

☐ 思わない

☐ わからない

### Q15

SDGsのために国は積極的に取り組んでいると思いますか？当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ そう思う

☐ やや思う

☐ どちらでもない

☐ やや思わない

☐ 思わない

☐ わからない



### Q16

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成に取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか？当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ そう思う

☐ やや思う

☐ どちらでもない

☐ やや思わない

☐ 思わない

☐ わからない

### Q17

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、以下の主体はすでに積極的に取り組んでいるかと思いませんか？当てはまるもの全てに印を付けて下さい。



いくつでも

必須

☐ 政治家（国会議員や地方議会議員など）や国会などの立法機関

☐ 弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関

☐ 国や地方の行政機関

☐ 国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関

☐ 企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）

☐ 科学館や博物館など科学技術関連施設

☐ 大学

☐ 学会

☐ 科学者

☐ 技術者

☐ 一般の個人

☐ わからない

☐ その他

### Q18

SDGsに取り組んでいる企業の製品・サービスを利用したいと思いますか？当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ そう思う

☐ やや思う

☐ どちらでもない

☐ やや思わない

☐ 思わない

☐ わからない

### Q19

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について、誰が積極的に取り組むべきだと思いますか？当てはまるもの全てに印を付けて下さい。

いくつでも

必須

☐ 政治家（国会議員や地方議会議員など）や国会などの立法機関

☐



<input type="checkbox"/>	弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関
<input type="checkbox"/>	国や地方の行政機関
<input type="checkbox"/>	国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関
<input type="checkbox"/>	企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）
<input type="checkbox"/>	科学館や博物館など科学技術関連施設
<input type="checkbox"/>	大学
<input type="checkbox"/>	学会
<input type="checkbox"/>	科学者
<input type="checkbox"/>	技術者
<input type="checkbox"/>	一般の個人
<input type="checkbox"/>	わからない
<input type="checkbox"/>	その他

## Q20

「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）」の4つの主体で考えたときに、達成に特に貢献してほしいSDGsの目標は何ですか？当てはまるもの全てに印を付けて下さい。

それぞれいくつでも

必須



	国や地方の行政機関	大学	公的研究機関	企業や民間団体 (公益法人、NPO、NGOなど)
	↓	↓	↓	↓
 <p>1) 貧困</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>2) 食糧問題 飢餓・食料の安定確保など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>3) 健康・介護福祉</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>4) 教育問題 教育格差など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>5) ジェンダー平等 女性の社会進出など</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 <p>6) 安全な水と衛生の確保</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



				
7) エネルギー問題 再エネ・省エネ・安定供給など				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 持続可能な労働、雇用と経済成長				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) 持続可能なインフラ整備、産業化と技術革新の拡大				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10) 不平等や差別				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11) 持続可能な都市・まちづくり				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12) 環境に配慮した消費				

				
13) 気候変動・地球温暖化				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14) 海洋とその生態系の保護				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15) 森林と陸上生態系の保護				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16) 平和 戦争・紛争・テロ				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17) パートナーシップ 各国間の公平な資金・技術の援助・貿易				
どの課題も該当しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## Q21

「国や地方の行政機関」、「大学」、「公的研究機関」、「企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）」の4つの主体で考えたときに、それらによるSDGs達成に向けた取り組みについてどのようにして知りましたか？当てはまるもの全てに印を付けて下さい。

それぞれいくつでも

必須

	国や地方の行政機関	大学	公的研究機関	企業や民間団体 (公益法人、NPO、NGOなど)
	↓	↓	↓	↓
新聞（電子版を含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ラジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般向け書籍（電子版を含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門書籍や論文雑誌（電子版含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット（電子掲示板やSNSを除く）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電子掲示板やSNS（Facebook、Twitter、LINEなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治家（国会議員や地方議会議員など）や国会などの立法機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
弁護士や裁判官、裁判所などの司法機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

国や地方の行政機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国立や公立、独立行政法人などの公的研究機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
企業や民間団体（公益法人、NPO、NGOなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
技術者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族や友人、知人、職場の人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般の個人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
どの手段も該当しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## Q22

科学技術・イノベーションによるSDGsの達成について御意見がございましたら、御自由に記入してください。



## F1

あなたの性別をお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 男性

☐ 女性

## F2

あなたのお年は満でいくつですか。

必須

歳

## F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

ひとつだけ

必須

選択してください



#### F4

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）は、次のどれに当てはまりますか。なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 中学校

☐ 高等学校、または専修学校高等課程

☐ 高等専門学校

☐ 短期大学

☐ 専門学校、または専修学校専門課程

☐ 大学

☐ 専門職学位

☐ 大学院修士課程

☐ 大学院博士課程

☐ その他

入力してください

## F5

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。なお、F4で「1. 中学校」又は「2. 高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「5. 該当しない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 人文・社会科学系（政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など）

☐ 自然科学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など）

☐ スポーツ・文化芸術系（体育、音楽、美術、造形、デザインなど）

☐ その他

入力してください

☐ 該当しない

## F6



あなたの現在の職業（学生等を含む）は、次のどの分類に当てはまりますか。

職種の分類	分類における注意事項又は具体的な職種の事例
(1)農林漁業	農林漁業従事による収入を生計の主としている者
(2)自営の商工サービス業	家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者
(3)自由業	俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者
(4)管理的職業	管理職の公務員（議会議員を含む）、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者
(5)科学技術的職業	科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦（士）、栄養士、教員（大学等の教員）、その他の科学技術的職業に従事する者
(6)その他専門的・技術的職業	保育士、弁護士、会計士、教員（小・中・高の教員）、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者
(7)事務的職業	総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者
(8)労務的職業	生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者
(9)販売的職業	百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者
(10)サービスの職業	家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者
(11)保安的職業	自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者
(12)家事	主婦、主として家事を務めている夫等
(13)学生	学業を主としている者（アルバイト等による収入のある学生を含む）
(14)無職	就職の希望を有している者
(15)無職（退職等）	定年退職等により、就職の希望を有していない者
(16)その他	上記に該当しない者

ひとつだけ

必須

☐ (1) 農林漁業

☐ (2) 自営の商工サービス業

☐ (3) 自由業





<input type="radio"/> (4) 管理的職業
<input type="radio"/> (5) 科学技術的職業
<input type="radio"/> (6) その他専門的・技術的職業
<input type="radio"/> (7) 事務的職業
<input type="radio"/> (8) 労務的職業
<input type="radio"/> (9) 販売的職業
<input type="radio"/> (10) サービス的職業
<input type="radio"/> (11) 保安的職業
<input type="radio"/> (12) 家事
<input type="radio"/> (13) 学生
<input type="radio"/> (14) 無職
<input type="radio"/> (15) 無職（退職等）
<input type="radio"/> (16) その他

## F7

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。



いくつでも

必須

☐ 同居している小学生未満の子どもがいる

☐ 同居している小学生の子どもがいる

☐ 同居している中学生の子どもがいる

☐ 同居している高校生（専修学校高等課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学生（高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学院生の子どもがいる

☐ 同居している社会人の子どもがいる

☐ 上記以外の同居している子どもがいる

☐ 同居している子どもはいない

☐ 子どもはいない

## F8

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

必須



郵便番号 左 (3桁)

郵便番号 右 (4桁)



DISCUSSION PAPER No.211

科学技術に関する国民意識調査－SDGs について－

2022 年 7 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所  
第1調査研究グループ  
細坪護拳、加納圭、須藤憲司

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階  
TEL: 03-3581-2395 FAX: 03-3503-3996

Public Attitudes to Science and Technology - About SDGs-

July 2022

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei, SUDO Kenji  
1st Policy-Oriented Research Group  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<http://doi.org/10.15108/dp211>



<https://www.nistep.go.jp>